

**Canon**

# *PowerShot D20*

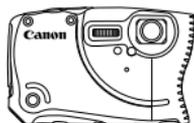
## カメラユーザーガイド

- ご使用前に必ず本書および、本書の「安全上のご注意」をお読みください。
- 本書をよく読んで、正しくお使いください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。
- CD-ROM内の電子マニュアル（PDF形式）もあわせてご覧ください（p.2）。

**日本語**

## カメラと付属品の確認

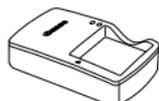
お使いになる前に、次のものが入っていることを確認してください。  
万が一、不足のものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



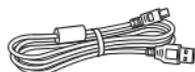
カメラ



バッテリーパック NB-6L  
(端子カバーつき)



バッテリーチャージャー  
CB-2LY



インターフェースケーブル  
IFC-400PCU



リストストラップ  
WS-DC8



ストラップマウント



カメラユーザーガイド  
(本書)



DIGITAL CAMERA  
Solution Disk



保証書



サポートガイド

- メモリーカードは付属されていません (p.3)。

### 電子マニュアルについて

CD-ROMには、「ImageBrowser EX ガイド」(付属のソフトウェアについての電子マニュアル)が入っています (p.28)。



- 電子マニュアル (PDF形式) をご覧になるには、Adobe Readerが必要です。

## 使えるカード（市販品）について

以下のカードが容量に制限なくお使いになれます。

- SD（エスディー）メモリーカード\*
- SDHC（エスディーエイチシー）メモリーカード\*
- SDXC（エスディーエックスシー）メモリーカード\* 
- Eye-Fi（アイファイ）カード

\* SD規格に準拠したカードです。カードによっては、正しく動作しないことがあります。

### ▼ Eye-Fiカードについて

本製品は、Eye-Fiカードの機能（無線送信を含む）を保証するものではありません。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。また、Eye-Fiカードの使用には、多くの国や地域で認可が必要であり、認可を取得していないものの使用は認められていません。使用が認められているかご不明の場合は、カードメーカーにご確認ください。

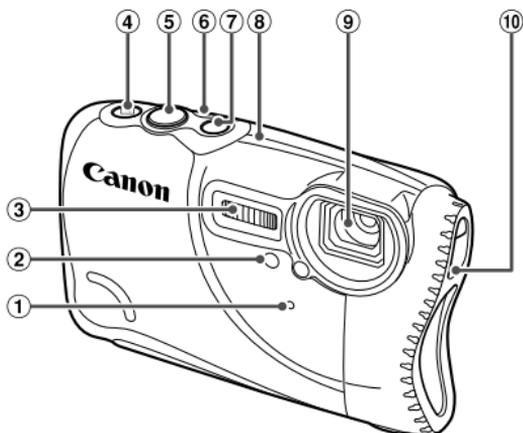


- カードをカードリーダーやパソコンなどの市販機器で使うときは、お使いになる機器（パソコンではOSやバージョンを含む）の対応状況をご確認ください。

## お使いになる前にお読みください

- 必ず事前に試し撮りをし、撮影後は画像を再生して画像が正常に記録されていることを確認してください。万が一カメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みができなかったときの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- このカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限していることがありますのでご注意ください。
- このカメラの保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、別紙の修理受付センターへご相談ください。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。
- 液晶モニターに保護シートが貼られているときは、はがしてからご使用ください。
- このカメラは、長い時間お使いになっていると、カメラの温度が高くなる場合があります。これは故障ではありません。

## 各部のなまえと記載について



- ① マイク
- ② ランプ（前面）
- ③ ストロボ
- ④ ▶（再生）ボタン
- ⑤ シャッターボタン

- ⑥ ランプ（上面）
- ⑦ 電源ボタン
- ⑧ GPS信号受信部
- ⑨ レンズ
- ⑩ ショルダーストラップ/カラビナストラップ取り付け部

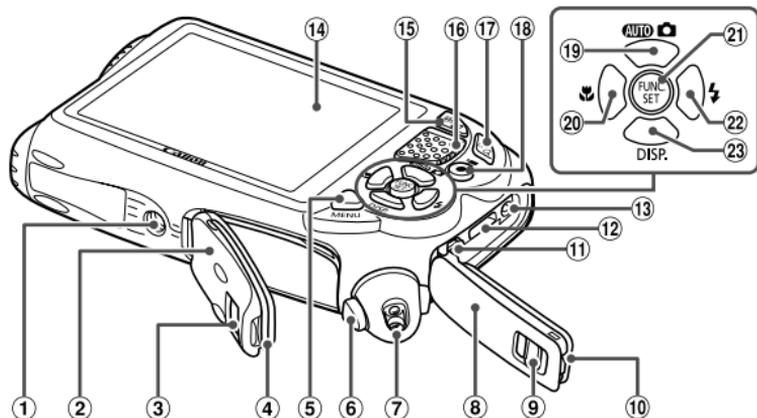
- ❗：知っておいていただきたい重要事項を示しています。
- 🖋️：上手に使うためのヒントや補足事項を示しています。
- (p.xx)：参照ページを示しています。xxはページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。
- このカメラで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。
- タイトルの上にあるタブは、その機能が静止画や動画で使えるかどうかを示しています。

### 静止画

：静止画を撮るときや見るときに使える機能を示しています。

### 動画

：動画を撮るときや見るときに使える機能を示しています。



- |                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| ① 三脚ねじ穴                               | ⑮ ズームボタン<br>撮影時： (広角)<br>再生時： (インデックス) |
| ② カード/バッテリー収納部ふた                      | ⑯ スピーカー                                |
| ③ カード/バッテリー収納部スイッチ                    | ⑰ ズームボタン<br>撮影時： (望遠)<br>再生時：Q (拡大)    |
| ④ 防水パッキン                              | ⑱ 動画ボタン                                |
| ⑤ MENU (メニュー) ボタン                     | ⑲ モード切り換え/上ボタン                         |
| ⑥ 解除ボタン                               | ⑳  (マクロ) /左ボタン                         |
| ⑦ ストラップマウント                           | ㉑ FUNC./SET (ファンクション/セット) ボタン          |
| ⑧ 端子部ふた                               | ㉒  (ストロボ) /右ボタン                        |
| ⑨ 端子部スイッチ                             | ㉓ DISP. (ディスプレイ) /下ボタン                 |
| ⑩ 防水パッキン                              |  |
| ⑪ A/V OUT (映像/音声出力)・DIGITAL (デジタル) 端子 |  |
| ⑫ HDMI端子™                             |  |
| ⑬ DC IN (電源入力) 端子                     |  |
| ⑭ 画面 (液晶モニター)                         |  |

- カメラのボタンは、ボタンに表記されている絵文字を使って示しています。
- 次のボタンは、絵文字で示しています。
  - ▲ 背面 ⑲ 上ボタン
  - ◀ 背面 ⑳ 左ボタン
  - Ⓜ 背面 ㉑ FUNC./SET (ファンクション/セット) ボタン
  - ▶ 背面 ㉒ 右ボタン
  - ▼ 背面 ㉓ 下ボタン
- 撮影モード、画面に表示される絵文字や文言は、[ ] つきで示しています。

# 目次

カメラと付属品の確認 .....	2
使えるカード（市販品）について ...	3
お使いになる前にお読みください ...	3
各部のなまえと記載について .....	4
目次 .....	6
やりたいこと目次 .....	8
安全上のご注意 .....	10
防水・防塵・耐衝撃性能に ついてのご注意 .....	13
準備する .....	15
使ってみる .....	23
ソフトウェアと電子マニュアルを 使う .....	28
システムマップ .....	34
主な仕様 .....	36

## 1 カメラを知る ..... 41

電源の入れかた／切りかた .....	42
シャッターボタンの押しかた .....	43
撮影時の画面表示の 切り換えかた .....	44
FUNC.（ファンク）の表示と 操作方法 .....	45
MENU（メニュー）の表示と 操作方法 .....	46
ランプの表示 .....	47
時計機能 .....	47

## 2 GPS機能を使う ..... 49

GPS機能を使う .....	50
----------------	----

## 3 AUTOモード （こだわりオート） ..... 59

AUTOモードで撮る （こだわりオート） .....	60
-------------------------------	----

よく使う機能や便利な機能 を使う .....	68
自分好みの画像を撮るための 機能を使う .....	73
撮影の手助けとなる機能を使う ...	78
自分好みに機能を変える .....	81

## 4 いろいろな撮影モード ..... 83

いろいろなシーンで撮る .....	84
効果をつけて撮る .....	88
特殊なモードでいろいろな画像を 撮る .....	96
いろいろな動画を撮る .....	102

## 5 Pモード ..... 105

プログラムAEで撮る （Pモード） .....	106
明るさ（露出）に関する機能 を使う .....	107
色や連続撮影に関する機能 を使う .....	110
撮影範囲やピント合わせに 関する機能を使う .....	114
ストロボに関する機能を使う .....	122

## 6 再生モード ..... 125

見る .....	126
画像を探したり、特定の 画像だけを見る .....	132
いろいろな方法で画像を見る .....	135
保護する .....	138
消す .....	142
回転する .....	144
分類する .....	146
静止画を編集する .....	150

動画を編集する .....	155	印刷する .....	181
<b>7 設定メニュー .....</b>	<b>157</b>	Eye-Fiカードを使う .....	194
カメラの基本機能を変える .....	158	<b>9 付録.....</b>	<b>197</b>
<b>8 アクセサリー .....</b>	<b>167</b>	故障かな?と思ったら .....	198
付属アクセサリーの上手な 使いかた .....	168	画面に表示されるメッセージ 一覧 .....	202
別売アクセサリー .....	169	画面の表示内容一覧 .....	204
別売アクセサリーの使いかた .....	172	機能/メニュー 一覧 .....	208
		日ごろの取り扱いについて .....	216
		索引 .....	217



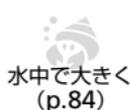
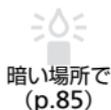
## 撮る

- カメラまかせで写真を撮りたい（オートモード）..... 60

### 人を上手に撮りたい



### いろいろなシーンにあわせて撮りたい



### 効果をつけて撮りたい



- 人の顔を上手に撮りたい..... 60、85、117
- ストロボ禁止の場所で撮りたい（ストロボ発光禁止）..... 71
- 自分も一緒に写りたい（セルフタイマー撮影）..... 69、99
- 日時を入れて撮りたい..... 72
- 写真と一緒に動画を記録したい..... 96



## 見る

- 画像を見たい..... 126
- 自動再生で見たい（スライドショー）..... 135
- テレビで見たい..... 172
- パソコンで見たい..... 29
- 画像を素早く探したい..... 132
- 画像を消したい..... 142



## 動画を撮る／見る

- 動画を撮りたい..... 60、102
- 動画を見たい..... 126
- 動きの速い被写体を撮影しスローモーションで見たい..... 102



## 印刷する

- 写真を印刷したい..... 181



## 残す

- 画像をパソコンに保存したい..... 29

## 安全上のご注意

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
- 別売アクセサリーをお持ちのときは、付属の使用説明書もあわせてご確認ください。



### 警告

死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

- ストロボを人の目に近づけて発光しない。

視力障害の原因となります。特に、乳幼児を撮影するときは1 m以上離れてください。

- お子様や幼児の手の届くところで保管しない。

ストラップ：誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

- 指定外の電源は使わない。
- 分解、改造したり、加熱しない。
- 落とすなどして強い衝撃を与えない。
- 落下などで破損したときは、内部には触れない。
- 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。
- 内部に液体や異物などを入れない。

感電、火災の原因となります。

万が一、液体や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、その後必ずバッテリーを取り出してください。

バッテリーチャージャーが液体で濡れたときは、コンセントから抜いて、お買い上げになった販売店または修理受付センターにご相談ください。

- 指定外のバッテリーは使わない。
- バッテリーは火に近づけたり、火の中に投げ込まない。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを乾いた布で拭き取る。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。また、電源プラグが傷んでいたり、差し込みが不十分なまま使わない。
- 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを付着させない。

バッテリーが破裂や液漏れし、けがや周囲を汚す原因となったり、火災、感電の原因となることがあります。万が一、電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。

- カメラの使用が禁止されている場所では、カメラの電源を切る。

カメラが発生する電磁波により、計器や機器に影響を与える恐れがあります。特に飛行機内や医療機関など、電子機器の使用が制限されている場所では十分注意してください。

- 付属のCD-ROMは、CD-ROM対応ドライブ以外では絶対に再生しない。  
音楽用CDプレーヤーで再生してヘッドフォンなどを使用したときは、大音量により聴力障害の原因となります。また、音楽用CDプレーヤーで使用したときは、スピーカーなどの破損の原因となります。
- 別売アクセサリーのショルダーストラップ、カラビナストラップは水中で使用しない。  
ストラップが首に巻き付くと、窒息することがあります。



## 注意

傷害を負う可能性がある内容です。

- ストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。  
けがやカメラの故障の原因となることがあります。
- 液晶モニターに強い衝撃を与えない。  
液晶モニターが割れると、破片でけがをすることがあります。
- ストロボを指や布などで覆ったまま、発光させない。  
やけどや故障の原因となることがあります。
- 次の場所で使用・保管しない。
  - 直射日光のあたるところ
  - 40℃を超える高温になる場所
  - 湿気やホコリの多いところ
 バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。  
カメラやバッテリーチャージャーが熱により変形することがあります。
- 長時間画面を見ていると、不快感を感じるがありますのでご注意ください。

## 注意

物的損害を負う可能性がある内容です。

- カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けない。  
撮像素子が損傷することがあります。
- 水深10 mを超える水中や、温泉では使用しない。  
故障、水漏れの原因となります。
- 砂浜や風の強い場所で使うときは、カメラの内部にホコリや砂が入らないようにする。  
故障の原因となることがあります。
- ストロボに汚れやホコリなどの異物がついたときは、綿棒などで取り除く。  
そのまま発光させると、発光熱により、付着物の発煙や故障の原因となることがあります。

- 使用しないときは、カメラからバッテリーを取り出して保管する。

カメラにバッテリーを入れたままにしておくと、液漏れにより故障の原因となることがあります。

- 使用しないときは、ふたを閉めて保管する。

ふたを開けたまま保管すると、水分やホコリにより、故障の原因となることがあります。

- バッテリーを廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。

他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となることがあります。

- バッテリーチャージャーは、使用しないときや充電が終わったときは、コンセントから外す。

- 布などをかけたまま充電しない。

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となることがあります。

- ベットの近くにバッテリーを置かない。

バッテリーに噛みついたとき、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、故障や火災の原因となることがあります。

- かばんにカメラを入れるときは、硬いものが液晶モニターにあたらないようにする。

- ストラップにアクセサリーをつけない。

硬いものが液晶モニターにあたると破損の原因になります。



## 防水・防塵・耐衝撃性能についてのご注意

このカメラでは、雨天時や海辺、スキー場での撮影のほか、水深 10 m 以内での水中撮影を楽しむことができます。ただし、温泉では使用できません。なお、取り扱い上の不注意により、万が一、水漏れ事故を起こしたときは、カメラやバッテリー、メモリーカードなどの損傷、および記録内容の補償はご容赦ください。また、防水・防塵・耐衝撃性能は当社の試験基準によるもので、無破損や無故障を保証するものではありません（防水性能、防塵性能、耐衝撃性能は p.36 をご覧ください。）。

### 使用する前のご注意

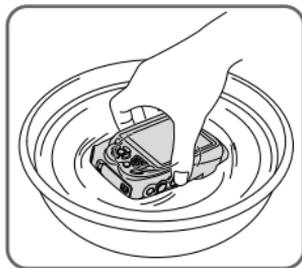
- カメラを撮影前に、カード／バッテリー収納部ふたと端子ふた（p.5）が確実に閉まっていることを確認してから使用してください（p.18、23）。2カ所のふたが確実に閉まっていないと、内部に水が入り故障の原因となります。
- ふたの裏側の防水パッキン（p.17）やその接触面に傷をつけたり、異物（砂やゴミ、頭髮など）を挟み込まないようにしてください。水濡れの原因となります。パッキンに傷があるときは、水中で使用しないでください。
- 海辺や海上でのふたの開閉は、できるだけ避けてください。メモリーカード、バッテリーの交換などは、湿気の少ない、潮風の当たらない場所で行ってください。
- カメラが水に濡れた状態でふたを開けないでください。カメラが濡れているときは、乾いたやわらかい布で水分を十分に拭き取ってください。

### 使用するときのご注意

- 水深 10 m を超える水中では使用しないでください。
- 水中ではカメラに衝撃を与えないでください。衝撃でふたが開いたり、防水性能が保てないことがあります。
- 当社試験基準による耐衝撃性能（p.36）がありますが、衝撃によってはカメラに傷がついたり、故障の原因となることがあります。高い所から落としたり、過度な衝撃を与えたりしないでください。
- このカメラをぶつけたり落下させたりなど、衝撃を与えたあとの防水性能は保証しません。

## 使用後のお手入れのご注意

- お使いになった後に水分や砂などがついていているときは、カメラを水洗いしてください。水分は汚れやさびの原因となったり、砂などがついたまま直接拭くと、表面に傷をつけることがあります。
- 水中および砂や泥などの異物が付着するようなところや、特に海中で使用した後は、なるべく早く真水（30℃以下の水道水など）で十分に洗ってください。  
異物や塩分などがついたままにしておくと、金属部分がさびたり、ボタンが動きにくくなる場合があります。
- 水洗いした後は、乾いたやわらかい布で水分を十分拭き取ってください。お手入れ後はボタンやふたがスムーズに動くことを確認してください。
- 防水パッキンに砂や異物がついたままにしたり、薬品やグリース等を使用したりしないでください。故障、水漏れの原因となります。



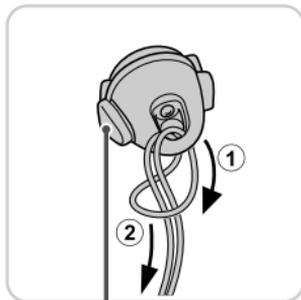
## 防水パッキンについて

- 防水パッキンの傷やひび割れは水漏れの原因となります。ただちに修理受付窓口へお持ちください。有償で新しい防水パッキンと交換します。

## 準備する

ここでは、撮影前の準備について説明します。

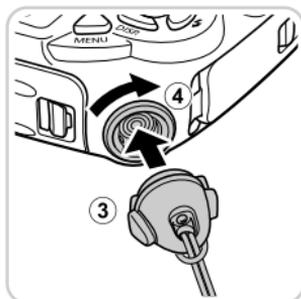
### ストラップを取り付ける



解除ボタン

#### ストラップを取り付ける

- 付属のストラップをストラップマウントに取り付けてから、カメラに差し込み、「カチッ」と音がするまで回して取り付けます。
- ストラップマウントを外すときは、解除ボタンを押しながら、取り付け時と反対方向に回します。



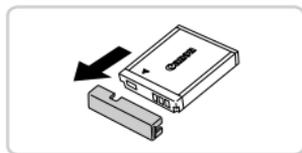
### カメラを構える



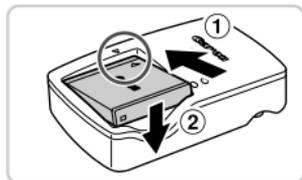
- カメラを落とさないように、ストラップを手首に通します。なお、このカメラは水中で沈みます。
- 撮影するときは、脇をしめてカメラが動かないようにしっかりと構え、ストロボに指がかからないようにしてください。

## バッテリーを充電する

カメラに付属のバッテリーチャージャー（充電器）を使って、バッテリーを充電します。お買い上げ時はバッテリーが充電されていませんので、必ず充電してからお使いください。



### 1 カバーを外す



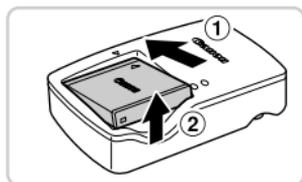
### 2 バッテリーを取り付ける

- バッテリーとバッテリーチャージャーの▲をあわせて、①の方向へ押しながら、②の方向へ取り付けます。



### 3 充電する

- プラグを①の方向へおこして、②コンセントに差し込みます。
- ▶ 充電がはじまり、ランプがオレンジ色に点灯します。
- ▶ 充電が完了すると、ランプが緑色に点灯します。



### 4 バッテリーを取り外す

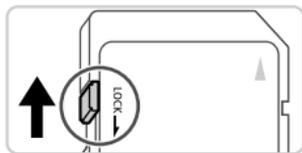
- バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、①の方向へ押しながら、②の方向へ取り外します。

❗ ● バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24時間以上連続して充電しないでください。

✎ ● 充電に必要な時間、フル充電したバッテリーで撮影できる枚数と時間については、「主な仕様」を参照してください (p.36)。

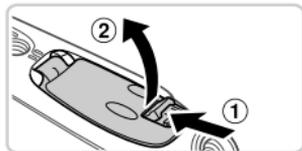
## バッテリーとカードを入れる

付属のバッテリーとカード（市販品）をカメラに入れます。  
 なお、新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）（p.161）することをおすすめします。



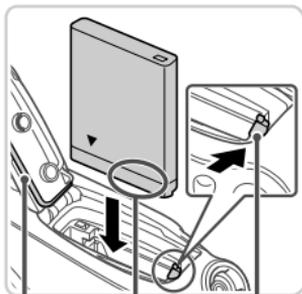
### 1 カードのスイッチを確認する

- スイッチがあるカードでは、スイッチが下（「LOCK」側）になっていると撮影できません。「カチッ」と音がするまでスイッチを上（動かします）。



### 2 ふたを開ける

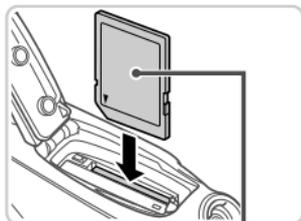
- ①の方向にスイッチを動かしたまま、②の方向へふたを開けます。



### 3 バッテリーを入れる

- バッテリーを図の向きにして、バッテリーロックを矢印の方向へ動かし、「カチッ」と音がしてロックされるまで差し込みます。
- 間違った向きでバッテリーを入れるとロックされません。必ずバッテリーがロックされる正しい向きで入れてください。
- 防水パッキンにバッテリーを当てて傷をつけないよう、注意してください。

端子部  
 防水パッキン  
 バッテリー  
 ロック



ラベル面

#### 4 カードを入れる

- カードを図の向きにして、「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- カードは、必ず正しい向きで入れてください。間違った向きで入れると、カメラの故障の原因となります。
- 防水パッキンにカードを当てて傷をつけないよう、注意してください。



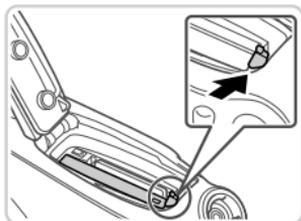
赤い印

#### 5 ふたを閉める

- ふたを押さえたまま矢印の方向へたおし、「カチッ」と音がするまで閉めます。
- スイッチが図の位置まで戻り、赤い印が見えていないことを確認します。

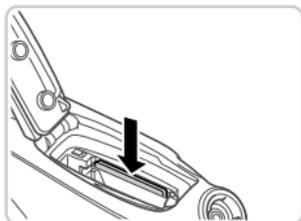
- ❗ 水中やカメラが水に濡れた状態で、ふたを開けないでください。なお、カメラが濡れているときは、乾いたやわらかい布で水分を十分に拭き取ってください。
- 防水パッキンやその接触面に傷をつけたり、異物（砂やゴミ、頭髮など）を挟み込まないようにしてください。水濡れの原因となります。
- 海辺や海上でのふたの開閉は、できるだけ避けてください。メモリーカード、バッテリーの交換などは、湿気が少なく、潮風の当たらない場所で行ってください。

## ▼ バッテリーとカードを取り出す



### バッテリーを取り出す

- ふたを開け、バッテリーロックを矢印の方向に動かします。
- ▶ バッテリーが出てきます。



### カードを取り出す

- 「カチッ」と音がするまでカードを押し込み、ゆっくり指を離します。
- ▶ カードが出てきます。

## 日付／時刻を設定する

はじめて電源を入れると、日付／時刻の設定画面が表示されます。撮影した画像には、ここで設定した日付／時刻をもとにした日時の情報が記録されます。必ず設定してください。



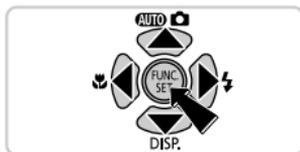
### 1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- ▶ [日付/時刻] 画面が表示されます。



## 2 日付／時刻を設定する

- ◀か▶を押して項目を選びます。
- ▲か▼を押して設定します。
- すべての項目を設定したら、**FUNC SET**を押します。

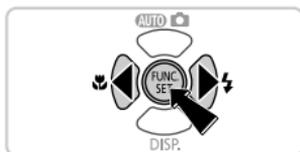


## 3 自宅のエリアを設定する

- ◀か▶を押して自宅のあるエリアを選びます。

## 4 設定を終える

- **FUNC SET**を押すと設定されて、確認画面が表示されたあと、設定画面が消えます。
- 電源ボタンを押すと電源が切れます。

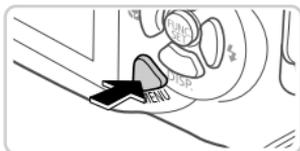


❗ ● 日付／時刻や自宅エリアを設定しないと、電源を入れるたびに [日付/時刻] 画面が表示されます。正しく設定してください。

 ● 手順2で [※] を選び、▲か▼を押して [※] にすると、サマータイム (1時間プラスされます) に設定されます。

## ▼ 日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。



### 1 メニューを表示する

- MENUボタンを押します。

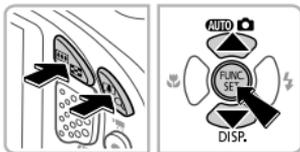


### 2 [日付/時刻] を選ぶ

- ズームボタンを押して、[↑↓]タブを選びます。
- ▲か▼を押して [日付/時刻] を選び、(FUNC SET) を押します。

### 3 日付／時刻を変える

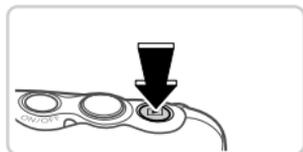
- p.20の手順2の操作で設定します。
- MENUボタンを押すと、メニュー画面が消えます。



- カメラには日付／時刻用電池（バックアップ電池）が内蔵されています。バッテリーを取り出してから約3週間は、設定した日付／時刻が保持されます。
- 日付／時刻用電池は、充電したバッテリーをカメラに入れるか、ACアダプターキット（別売）（p.169）を使うと、カメラの電源を入れなくても約4時間で充電されます。
- 日付／時刻用電池がなくなると、カメラの電源を入れたときに [日付 / 時刻] 画面が表示されます。p.19の手順で正しく設定してください。
- GPS機能で自動更新することもできます（p.57）。

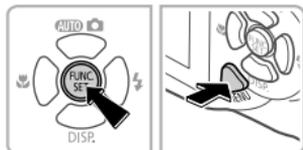
## 表示言語を選ぶ

画面に表示される言語を変えられます。お買い上げ時は日本語に設定されています。



### 1 再生モードにする

- ボタンを押します。



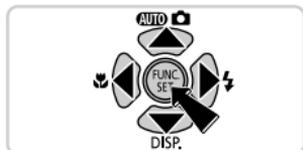
### 2 設定画面を表示する

- を押したまま、すぐにMENUボタンを押します。



### 3 言語を設定する

- を押して言語を選び、 を押します。
- ▶ 表示言語が設定され、設定画面が消えます。



- 手順2の操作でを押してから、MENUボタンを押すまでの間隔が長いと、時計表示になります。時計表示になったときはを押して時計表示を消して、もう一度手順2の操作を行います。
- 言語設定は、MENUボタンを押すと表示されるメニュー画面で、 タブの[言語 ]を選んで設定することもできます。

# 使ってみる

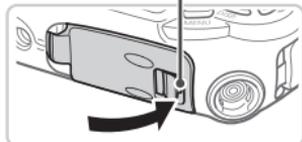
ここでは、電源を入れてから静止画や動画を撮影し、その画像を見るまでの手順について説明しています。

## 撮る (こだわりオート)

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。



赤い印



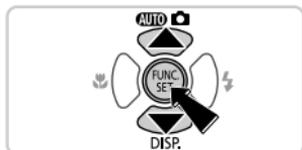
### 1 ふたが閉まっていることを確認する

- カード/バッテリー収納部ふたと端子ふたのスイッチ部分が図の位置まで戻り、赤い印が見えていないことを確認します。
- 2カ所のふたが確実に閉まっていないと、カメラが水で濡れたときに、内部に水が入り故障の原因となります。



### 2 電源を入れる

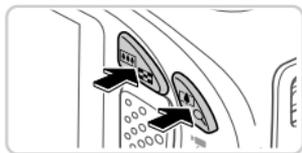
- 電源ボタンを押します。
- ▶ 起動画面が表示されます。



### 3 AUTOモードにする

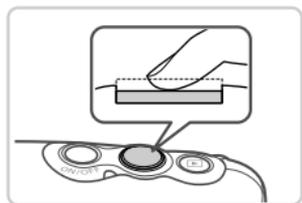
- ▲を押したあと、▲か▼を押して **AUTO** を選び、**FUNC SET** ボタンを押します。
- ▶ 画面の右上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます。
- ▶ 被写体が検出されたときは、フレームが表示されてピントを合わせます。





#### 4 撮りたいものの大きさを決める

- ズームボタンの [M] 側を押すと撮りたいものが大きくなり、[T] 側を押すと小さくなります。



#### 5 撮影する

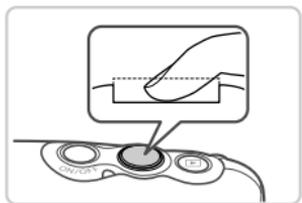
##### 静止画を撮る

##### ① ピントを合わせる

- シャッターボタンを浅く押して、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置にAFフレームが表示されます。

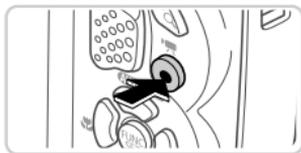


AFフレーム



##### ② 撮影する

- シャッターボタンを深く押し込みます。
- ▶ シャッター音が鳴り、撮影されます（暗いところでは自動的にストロボが光ります）。
- ▶ 撮影した画像は、約2秒間表示されます。
- 画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを押すと、次の撮影ができます。



## 動画を撮る

### ① 撮影をはじめる

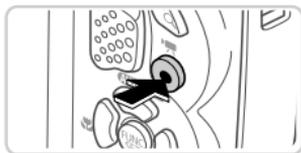
- 動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」と1回鳴って撮影が始まり、[●録画]と撮影時間が表示されます。
- ▶ 画面上下に黒い帯が表示されます。この部分は撮影できません。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を離します。

撮影時間



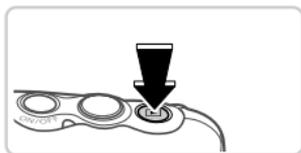
### ② 撮影を終える

- もう一度動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」と2回鳴り、撮影が終わります。
- ▶ カード容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終わります。



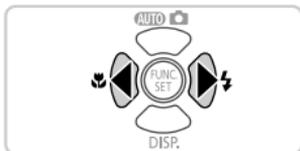
## 見る

撮影した画像を画面で見ることができます。



### 1 再生モードにする

-  ボタンを押します。
- ▶ 最後に撮影した画像が表示されます。



## 2 画像を選ぶ

- ◀を押すと前の画像が表示され、▶を押すと次の画像が表示されます。
- ◀か▶を1秒以上押すと左の画面が表示されます (スクロール再生)。この状態で◀か▶を押して画像を選びます。
- (FUNC. SET)を押すと1枚表示に戻ります。
- スクロール再生中に▲か▼を押すと、日付ごとにジャンプして画像を探せます。
- 動画では、[SET] が表示されます。動画を再生するときは手順3に進みます。

## 3 動画を再生する

- (FUNC. SET)を押したあと、▲か▼を押して [▶] を選び、もう一度 (FUNC. SET) を押します。
- ▶ 動画が再生され、再生が終わると [SET] が表示されます。
- 音量は▲か▼を押して調節します。



● 再生モードの状態ではシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。

## ▼ 消す

不要な画像を1枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。

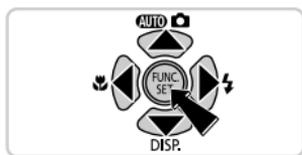
### 1 消したい画像を選ぶ

- ◀か▶を押して画像を選びます。



### 2 消す

- **FUNC SET**を押したあと、▲か▼を押して [画] を選び、もう一度 **FUNC SET**を押します。
- [消去しますか?] が表示されたら、◀か▶を押して [消去] を選び、**FUNC SET**を押します。
- ▶ 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、◀か▶を押して [キャンセル] を選び、**FUNC SET**を押します。



- 画像をまとめて消すこともできます (p.142)。

## ソフトウェアと電子マニュアルを使う

ここでは、付属CDに入っているソフトウェアや電子マニュアルの紹介のほか、インストール方法、画像をパソコンに取り込む方法について説明します。

### 付属のソフトウェアでできること

付属のCD内のソフトウェアをインストールすると、パソコンで次のようなことができます。

#### ImageBrowser EX (イメージブラウザー イーエックス)

- 画像の取り込みやカメラの各種設定
- 画像の閲覧をはじめ、検索や整理などの画像管理
- 画像の印刷や各種の編集
- オートアップデート機能による最新バージョンへの更新

#### ▼ オートアップデート機能について

付属のソフトウェアは、最新バージョンへの更新や新しい機能の追加などをインターネットを使って行います（一部のソフトウェアは除く）。そのため、インターネットにつながるパソコンへインストールしてお使いください。



- この機能をお使いいただくためには、インターネットに接続できる環境が必要なため、プロバイダーとの接続料金や通信料金が別途かかります。

### 電子マニュアル

付属のCD内のソフトウェアをインストールすると、次の電子マニュアルも一緒にインストールされます。

#### ImageBrowser EX ガイド

付属のソフトウェアを使うときに参照してください。  
ImageBrowser EXのヘルプ機能から参照することができます。

## パソコンに必要なシステム構成

付属のソフトウェアがお使いになれるパソコンは以下の通りです。また、電子マニュアルをご覧になるには、別途Adobe Readerが必要です。

### Windows

OS	Windows 7 SP1 Windows Vista SP2 Windows XP SP3
機種	上記OSがプリインストールされていて、USBポートが標準装備されていることと、インターネットに接続できること
CPU	静止画1.6 GHz 以上、動画Core 2 Duo 2.6 GHz以上
RAM	Windows 7 (64 bit) : 2 GB以上 Windows 7 (32 bit)、Windows Vista (64 bit、32 bit) : 静止画1 GB以上、動画2 GB以上 Windows XP : 静止画512 MB以上、動画2 GB以上
インターフェース	USB
ハードディスク 空き容量	440 MB以上*
ディスプレイ	1,024 x 768ドット以上

\* Windows XPでは、Microsoft .NET Framework 3.0 (最大500 MB) 以上のインストールが必要です。お使いの環境によっては、インストールに時間がかかることがあります。

### Macintosh

OS	Mac OS X v10.6
機種	上記OSがプリインストールされていて、USBポートが標準装備されていることと、インターネットに接続できること
CPU	静止画Core Duo 1.83 GHz 以上、動画Core 2 Duo 2.6 GHz以上
RAM	静止画1 GB以上、動画2 GB以上
インターフェース	USB
ハードディスク 空き容量	550 MB以上
ディスプレイ	1,024 x 768ドット以上



● 最新のOSを含む対応状況については弊社ホームページをご確認ください。

## ソフトウェアと電子マニュアルをインストールする

ここでは、Windows 7とMac OS X v10.6を使って説明をしています。  
 なお、ソフトウェアはオートアップデート機能により、最新バージョンへの更新や新しい機能の追加などが行われます（一部のソフトウェアは除く）ので、インターネットにつながるパソコンへインストールしてください。



### 1 CDをパソコンのドライブに入れる

- 付属のCD (DIGITAL CAMERA Solution Disk) (p.2)をパソコンのドライブに入れます。
- Macintoshでは、CDを入れるとデスクトップ上に表示されるCDアイコンをダブルクリックして開き、表示される [ ] をダブルクリックします。



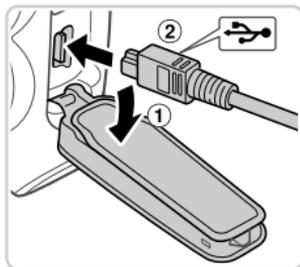
### 2 インストールをはじめる

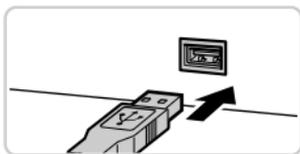
- [おまかせインストール] をクリックし、表示される画面にしたがって操作を進めます。



### 3 カメラの接続をうながすメッセージが表示されたらカメラをパソコンとつなぐ

- カメラの電源が切れた状態でふたを開き (①)、付属のインターフェースケーブル (p.2) の小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます (②)。





- インターフェースケーブルの大きい方のプラグをパソコンのUSB端子に差し込みます。パソコンのUSB端子については、パソコンの使用説明書を参照してください。



#### 4 インストールする

- カメラの電源を入れて、表示される画面にしたがって必要な操作をおこない、インストールを進めます。



- ▶ 最新バージョンへの更新や新しい機能の追加などを行うためインターネットへつながります。そのため、お使いのパソコンやインターネット環境によってはインストールに時間がかかることがあります。

- インストールを終えると表示される画面の[完了]または[再起動]をクリックして、デスクトップ画面が表示されたらCDを取り出します。
- カメラの電源を切ってからケーブルを抜きます。



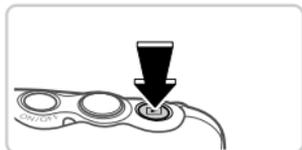
- インターネットに接続していないときは、次のような制限事項があります。
  - 手順3の画面は表示されません。
  - 一部の機能がインストールされないことがあります。
  - はじめてカメラとパソコンをつないだときにドライバーがインストールされるため、操作ができるようになるまでに時間がかかることがあります。
- 付属のCDにImageBrowser EXが入っているカメラを複数お持ちのときは、それぞれのカメラに最適な更新や新しい機能をオートアップデート機能により追加するため、それぞれのCDとカメラを使い、表示される画面にしたがってインストールしてください。

## 画像をパソコンに取り込む

ここでは、Windows 7とMac OS X v10.6を使って説明をしています。

### 1 カメラとパソコンをつなぐ

- p.30の手順3の操作でカメラとパソコンをつなぎます。



### 2 電源を入れてCameraWindow (カメラウィンドウ) を表示する

-  ボタンを押して電源を入れます。
- Macintoshでは、カメラとパソコンが通信できる状態になると、CameraWindowが表示されます。
- Windowsでは、以下の操作を行います。
- 表示された画面で  のプログラムを変更するためのリンクをクリックします。



- [画像をキヤノンカメラからダウンロードします] を選び、[OK] をクリックします。



-  をダブルクリックします。



## CameraWindow



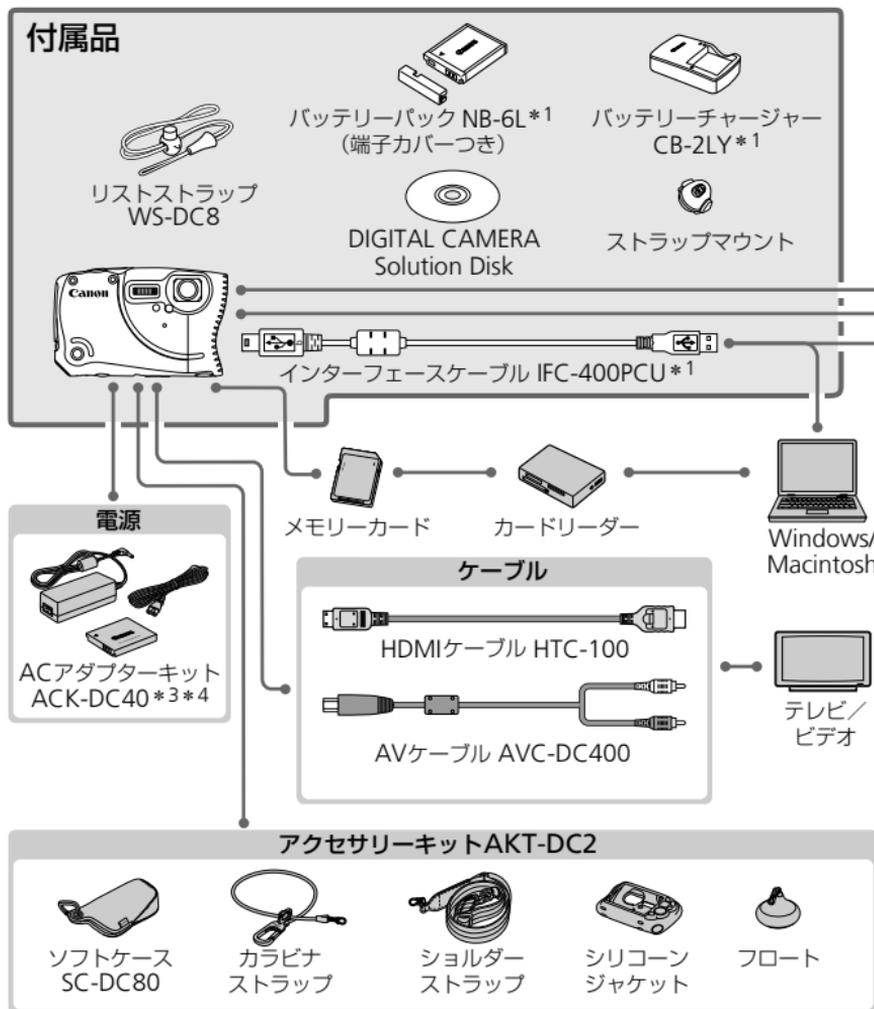
## 3 画像を取り込む

- [カメラ内の画像の取り込み] をクリックしたあと、[未転送画像を取り込む] をクリックします。
- ▶ 画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されます。
- 取り込みが完了したら CameraWindow を閉じ、カメラの  ボタンを押して電源を切ってからケーブルを抜きます。
- パソコンで画像を見る操作は、「ImageBrowser EX ガイド」(p.28) を参照してください。



- Windows 7で手順2の画面が表示されないときは、タスクバーの  をクリックします。
- Windows VistaまたはWindows XPをお使いのときは、手順2でカメラの電源を入れるとパソコンに表示される画面で [画像をキヤノンカメラからダウンロードします] をクリックして、CameraWindowを表示します。この操作で画面が表示されないときは、[スタート] メニュー ▶ [すべてのプログラム] ▶ [Canon Utilities] ▶ [CameraWindow] ▶ [CameraWindow] を選びます。
- Macintosh で手順 2 の操作をしても CameraWindow が表示されないときは、Dock (デスクトップ下部に表示されるバー) の [CameraWindow] アイコンをクリックします。
- 付属のソフトウェアの画像取り込み機能を使わなくても、カメラとパソコンをつなぐだけで画像を取り込むことができますが、次のような制限事項があります。
  - カメラとパソコンをつないでから操作できるようになるまで、数分かかることがあります。
  - 縦位置で撮影した画像が横位置になって取り込まれることがあります。
  - 保護した画像が、パソコン側で解除されることがあります。
  - OSのバージョンや使用するソフトウェア、ファイルサイズによっては、画像や画像に付属する情報が正しく取り込まれないことがあります。
  - GPSログファイル (p.54) は正しく取り込まれないことがあります。
  - 動画編集や書き戻しなど、付属のソフトウェアの機能が一部使えなくなることがあります。

# システムマップ



\*1 別売りも用意されています。

\*2 ハイパワーフラッシュ HF-DC1もお使いになれます。

\*3 付属のDCカバーは使用しません。

\*4 ACK-DC10、ACK-DC30、ACK-DC60、ACK-DC70、ACK-DC80、ACK-DC90もお使いになれます。

## ストロボ

ハイパワーフラッシュ  
HF-DC2\*2

## ケース

ウォータープルーフケース  
WP-DC45ソフトケース  
SC-DC80

## キヤノン製PictBridge対応プリンター



## アクセサリはキヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリと組みあわせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

## 主な仕様

カメラ部有効画素数	約1210万画素
レンズ焦点距離	5倍ズーム：5.0 (W) – 25.0 (T) mm (35mmフィルム換算：28 (W) – 140 (T) mm)
防水性能	JIS/IEC 保護等級 (IPX8) 相当*1 水深10 m以内で60分まで使用可能
防塵性能	JIS/IEC 保護等級 (IP6X) 相当*1
耐衝撃性能	MIL Standard 810F Method 516.5 Selecting Procedure IV (米国国防軍用規格) に準じて当社が独自に設定した基準をクリアー*1*2
液晶モニター	3.0型TFTカラー液晶 有効画素数：約46.1万ドット
ファイルフォーマット	DCF準拠、DPOF対応 (Version 1.1)
データタイプ	静止画：Exif 2.3 (JPEG) 動画：MOV (画像：H.264、音声：リニアPCM (2CH モノラル)) GPSログファイル：NMEA 0183 メッセージ形式に準拠
インターフェース	Hi-Speed USB HDMI出力 アナログ音声出力 (モノラル) アナログ映像出力 (NTSC/PAL)
電源	バッテリーパック NB-6L ACアダプターキット ACK-DC40
動作温度*3	-10 – 40℃
大きさ (CIPA準拠)	112.3 x 70.8 x 28.0 mm
質量 (CIPA準拠)	約228 g (電池・メモリーカード含む) 約205 g (本体のみ)

\*1 当社試験条件によるものであり、無破損や無故障を保証するものではありません。

\*2 試験条件

落下高さ：1.5 m

落下面：木材

落下方向：各面 (6面)、各角 (4角) の計10方向

落下回数：各方向3回、計30回

\*3 -10 – 0℃は、バッテリーパックNB-6Lの推奨使用温度範囲外であるため、一時的にバッテリー性能が低下することがありますが、使用可能です。

## ▶ 撮影できる枚数・時間、再生できる時間

撮影枚数	約280枚
動画撮影時間*1	約1時間
連続時*2	約1時間40分
再生時間	約5時間

\*1 カメラの初期状態で、撮影/一時停止、電源の入/切、ズームなどの操作をしたときの時間です。

\*2 「一度に撮影できる時間まで撮影」、「自動停止」を繰り返したときの時間です。

・撮影枚数は、CIPA（カメラ映像機器工業会）の試験基準によります。

・撮影枚数・時間は、撮影条件により少なくなることがあります。

・フル充電状態での枚数・時間です。

## ▶ 1枚のカードに撮影できる枚数（縦横比4:3のとき）

記録画素数 (ピクセル)	1枚のカードに撮影できる枚数（約・枚）	
	8 GB	32 GB
<b>L</b> （ラージ） 12M/4000x3000	2505	10115
<b>M1</b> （ミドル1） 6M/2816x2112	4723	19064
<b>M2</b> （ミドル2） 2M/1600x1200	12927	52176
<b>S</b> （スモール） 0.3M/640x480	40937	165225

・当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。

・表内の数値は画像の縦横比が4:3のときの値です。縦横比を変えると（p.73）、4:3のときよりも1画像の容量が小さくなるため、撮影できる枚数は多くなります。ただし、**[M2]**では16:9にすると1画像の記録画素数が1920 x 1080になるため、4:3より容量が大きくなります。

## 1枚のカードに撮影できる時間

画質	1枚のカードに撮影できる時間	
	8 GB	32 GB
	29分39秒	1時間59分43秒
	42分11秒*1	2時間50分19秒*2
	1時間28分59秒	5時間59分10秒
	26分24秒	1時間46分35秒
	52分28秒	3時間31分49秒

\*1 iFrame動画 (p.103) では、27分39秒

\*2 iFrame動画 (p.103) では、1時間51分37秒

- 当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。
- 一度の撮影で動画の容量が4 GBになるか、撮影時間が [1920] [1280] では約29分59秒、[640] では約1時間になると、自動的に撮影が終わります。
- カードによっては、連続撮影時間に満たなくても、撮影が終わることがあります。SDスピードクラス6以上のカードを使用することをおすすめします。

## ストロボ調光範囲

もっとも広角側 (  ) にしたとき	30 cm – 3.5 m
もっとも望遠側 (  ) にしたとき	1.0 – 3.0 m

## 撮影距離

撮影モード	フォーカスゾーン	もっとも広角側 (  ) にしたとき	もっとも望遠側 (  ) にしたとき
	-	1 cm – ∞	1 m – ∞
	 MF	1 – 50 cm	-
上記以外		5 cm – ∞	1 m – ∞
	 *	1 – 50 cm	-
	MF*	1 cm – ∞	1 m – ∞

\* 撮影モードによっては、選択できません。

水中で撮影するときは約1.3倍になります。

### 連続撮影の速さ

約1.9枚/秒

### シャッタースピード

<b>AUTO</b> モードで自動設定される範囲	1 – 1/1600秒
すべての撮影モードをあわせた範囲	15 – 1/1600秒

### 絞り

F値	F3.9 / F8.0 (W)、F4.8 / F10 (T)
----	--------------------------------

### バッテリーパック NB-6L

形式	リチウムイオン充電電池
公称電圧	DC 3.7 V
公称容量	1000 mAh
充放電回数	約300回
使用温度	0 – 40℃
大きさ	34.4 x 41.8 x 6.9 mm
質量	約21 g

### バッテリーチャージャー CB-2LY

定格入力	AC 100 V – 240 V (50/60 Hz)、0.085 A (100 V) – 0.05 A (240 V)
定格出力	DC 4.2 V、0.7 A
充電時間	約1時間55分 (NB-6L充電時)
充電表示	充電中：オレンジ色点灯、充電完了：緑色点灯 (2灯式)
使用温度	0 – 40℃
大きさ	58.6 x 86.4 x 24.1 mm
質量	約70 g

- 記載データはすべて当社試験基準によります。
- 製品の仕様および、外観の一部を予告なく変更することがあります。

**注意**

指定外のバッテリーを使うと、爆発などの危険があります。使用済みのバッテリーは、各自治体のルールにしたがって処分してください。



**Li-ion**

- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。  
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。  
ホームページ：<http://www.jbrc.com>
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

# 1

## カメラを知る

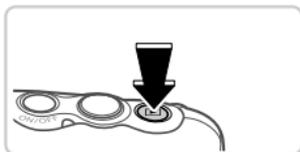
- カメラの基本操作や機能を知って使いこなす

## 電源の入れかた／切りかた



### 撮影モード

- 電源ボタンを押すと電源が入り、撮影できます。
- 電源ボタンをもう一度押すと、電源が切れません。



### 再生モード

-  ボタンを押すと電源が入り、撮影した画像を見ることができます。
-  ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。



- 撮影モードの状態では  ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生モードの状態ではシャッターボタンを半押し (p.43) すると、撮影モードになります。

## 節電機能 (オートパワーオフ)

バッテリーの消耗を防ぐため、カメラを操作しない状態で一定の時間がたつと、自動的に画面を消したり、電源を切ったりする機能です。

### 撮影モードでの節電機能

約1分間カメラを操作しないと画面が消え、ランプ (上面) が緑色に点灯します。さらに約2分たつと電源が切れます。画面が消えた状態でもランプ (上面) が緑色に点灯しているときは、シャッターボタンを半押し (p.43) すると画面が表示され、撮影できます。

### 再生モードでの節電機能

約5分間カメラを操作しないと、電源が切れます。

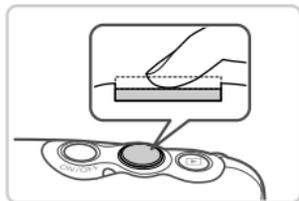


- 節電機能を切ることができます (p.164)。
- 画面が消えるまでの時間を変えられます (p.164)。

## シャッターボタンの押しかた

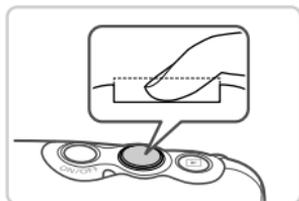
ピントが合った画像を撮るために、必ずシャッターボタンを浅く押す「半押し」をしてピントを合わせてから、「全押し」して撮影します。

なお、シャッターボタンの操作に関する記載は以降「半押し」、「全押し」と表記しています。



### 1 半押し（浅く押してピントを合わせる）

- 電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置にAFフレームが表示されるまで、浅く押します。



### 2 全押し（そのまま深く押して撮影する）

- ▶ シャッター音が鳴り、撮影されます。
- シャッター音が鳴っている間は撮影中のため、カメラを動かさないように注意してください。

- ❗ シャッターボタンを半押ししないで撮影すると、ピントが合わない画像になることがあります。
- シャッター音は撮影にかかる時間に応じて長さが変わります。そのため、撮影シーンによってはシャッター音が長くなり、シャッター音が鳴っている間にカメラを動かしたり、被写体が動いたりすると、ブレの原因になりますので注意してください。

## 撮影時の画面表示の切り換えかた

画面表示は、▼を押して切り換えます。画面に表示される情報の詳細については、p.204を参照してください。



情報表示あり



情報表示なし

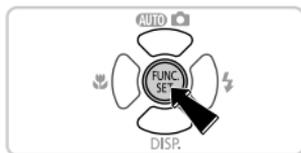


- 暗い場所では、自動的に画面が明るくなって構図確認しやすくなります（ナイトビュー機能）。ただし、撮影される画像の明るさとは異なるほか、粗い感じ、またはややぎこちない表示になることがあります（記録される画像に影響はありません）。
- 再生時の画面表示については、p.129を参照してください。

# FUNC. (ファンク) の表示と操作方法

よく使う機能は、FUNC. で設定できます。

なお、表示されるメニュー項目や項目は、選んでいる撮影モード (p.210～211) や再生モード (p.215) によって変わります。



## 1 FUNC. のメニュー項目を表示する

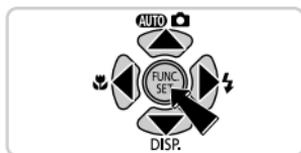
- FUNC. SET を押します。



項目  
メニュー項目

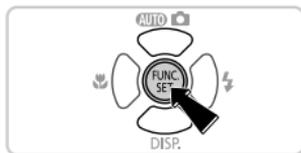
## 2 メニュー項目を選ぶ

- ▲か▼を押してメニュー項目を選び、FUNC. SET か▶を押します。
- メニュー項目によっては、FUNC. SET や▶を押すだけで設定される機能や画面が切り換わる機能もあります。



## 3 項目を選ぶ

- ▲か▼を押して項目を選びます。
- MENU が表示される項目では、MENU ボタンを押して設定することができます。
- メニュー項目に戻るときは、◀を押します。



## 4 設定を終える

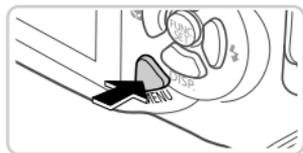
- FUNC. SET を押します。
- ▶ 手順1で FUNC. SET を押す前の画面に戻り、設定した項目が画面に表示されます。



- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます (p.166)。

# MENU（メニュー）の表示と操作方法

カメラの各種機能をメニューで設定できます。メニュー項目はタブで撮影 [📷] や再生 [▶] などの系統に分けられています。なお、表示される項目は、選んでいる撮影モードや再生モード(p.212～215)によって変わります。



## 1 MENUを表示する

- MENUボタンを押します。

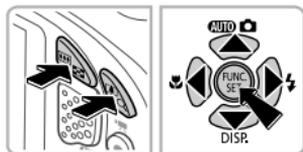


## 2 タブを選ぶ

- ズームボタンを押すか◀か▶を押して、タブを選びます。

## 3 項目を選ぶ

- ▲か▼を押して項目を選びます。
- 内容が表示されていない項目では、(FUNC SET)か▶を押して画面を切り換えたあと、さらに▲か▼を押して項目を選びます。
- MENUボタンを押すと切り替える前の画面に戻ります。

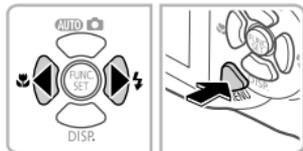


## 4 内容を選ぶ

- ◀か▶を押して内容を選びます。

## 5 設定を終える

- MENUボタンを押すと、手順1でMENUボタンを押す前の画面に戻ります。



- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます (p.166)。

## ランプの表示

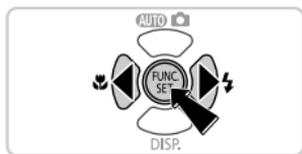
カメラ上面のランプ (p.4) は、カメラの状態に連動して、点灯/点滅状態が変わります。

色	状態	操作状態
緑	点灯	パソコン接続時 (p.32)、ディスプレイオフ時
	点滅	起動中、カードへの記録/読み出し中、各種通信中、長秒時露光中 (p.100)、ロガー機能動作時 (p.54)

- ❗
- ランプ (上面) が緑色に点滅しているときは、「電源を切る」、「カード/バッテリー収納部のふたを開ける」、「振動や衝撃を与える」ことは絶対にしないでください。画像、カメラ、カードが壊れることがあります。

## 時計機能

現在の時刻を確認できます。



- **FUNC SET** を押したままにします。
- ▶ 現在の時刻が表示されます。
- 時刻表示中にカメラを縦にすると縦表示になります。◀か▶を押すと表示色を変えることができます。
- もう一度 **FUNC SET** を押すと時刻表示が消えます。



- **FUNC SET** を押したまま電源を入れることで、時刻表示にすることもできます。



# 2

## GPS機能を使う

- GPS機能の基本操作や機能を知って使いこなす

## GPS機能を使う

GPS衛星から受信した信号を元に、カメラの位置情報（緯度／経度／標高）を撮影した静止画や動画に記録したり、位置情報を画像とは別のデータとして記録できます。また、カメラの時計機能の自動あわせもできます。

なお、GPS機能を使うには、あらかじめ「日付／時刻を設定する」(p.19)で日付／時刻と自宅エリアが正しく設定されていることを確認してください。

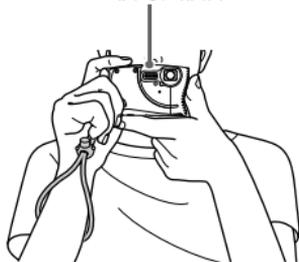
GPSは、Global Positioning System（グローバル ポジショニング システム）の略です。

❗ GPS機能を使うときは、次のことに注意してください。

- 国や地域によっては、GPSの使用などが規制されていることがありますので、お使いになる際は国や地域の法令等の規制にしたがってください。旅行など、国外で使用するときには特に注意してください。
- GPS衛星からの信号を受信するため、電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分注意してください。
- GPS機能を使って撮影した静止画や動画に記録されるカメラの位置情報は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのためGPS機能を使ってカメラの位置情報が記録されている静止画、動画、GPSログファイルを他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。

### GPS機能を使うときの環境とカメラの構えかた

GPS信号受信部



- 空が見通せる屋外にカメラを持っていきます。（屋内などのGPS衛星からの信号が受信できない環境（p.51）では正しく機能しません）
- 図のようにカメラを正しく構えることで、GPS衛星からの信号が受信しやすくなります。
- GPS信号受信部の上に、指や物などをのせないようにします。

### ロガー機能を使うときのカメラの持ち歩きかた

GPS信号受信部をできるだけ空に向けた状態で持ち歩いたり、バックなどに入れて持ち歩くときは、GPS信号受信部が空に向くような状態で、できるだけ外側に収納することで、GPS衛星からの信号が受信しやすくなります。

## ■ GPS衛星からの信号が受信できない環境

- 次のような環境では GPS 衛星からの信号が正しく受信できないため、カメラの位置情報が記録されなかったり、実際とは誤差のある位置情報を記録することがあります。
  - 屋内 ● 地下 ● ビルなどの近くや谷間 ● トンネルや森の中 ● 高圧電線や 1.5 GHz 帯の携帯電話などの近く ● かばんなどにカメラをいれたとき
  - 水中 ● 長い距離を移動したとき ● 周囲の環境が異なる場所へ移動したとき
- GPS 衛星は時間の経過とともに移動するため、上記以外の環境でも、カメラの位置情報が記録されなかったり、実際とは誤差のある位置情報を記録したり、同じ場所でカメラを使っているにもかかわらず移動した位置情報を記録することがあります。
- バッテリーを入れ換えたときやGPS機能を長い時間使わなかったときは、GPS衛星からの信号を受信するのに時間がかかることがあります。

## GPS機能を使う



### 1 設定する

- **[FUNC SET]** を押して、メニュー項目の **[GPS]** を選んだあと、**[ON]** を選びます (p.45)。
- 戻すときは、上記の操作で **[GPS]** を選びます。



### 2 受信状態を確認する

- 空が見通せる屋外にカメラを持っていきます (屋内などの「GPS衛星からの信号が受信できない環境」(p.51) では正しく機能しません)。
- GPS受信状態の表示を確認します。

### 受信状態の表示

(点灯)	GPS衛星の信号が受信できました。測位したカメラの位置情報を記録できます。*
(点滅)	GPS衛星を探しています。*
(点灯)	GPS衛星の信号が受信できません。

\* ロガー機能が使えるよう (p.54) にしているときは、**[LOG]** も表示されます。

### **[GPS]** が表示されるとき

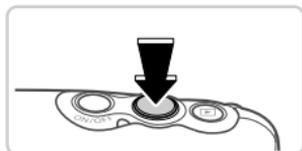
- 屋内などGPS信号が受信できない環境 (p.51) でカメラを使っているときは、空が見通せる屋外にカメラを持って行き、カメラを正しく構える (p.50) か、GPS信号受信部を空へ向けることで受信しやすくなります。
- 空が見通せる屋外など、受信しやすい環境では数分間で (点灯) の表示になりますが、数分間待っても (点灯) が表示されないときは、できるだけ周囲に建物などGPS衛星からの信号を妨げないところへ移動して (点灯) の表示になるまで数分間お待ちください。
- GPS機能はメニューでも設定することができます (p.46)。

## 撮影した画像にカメラの位置情報を記録する

撮影した静止画や動画に、測位したカメラの位置情報（緯度／経度／標高）を記録することができます。記録された位置情報はカメラで確認（p.130）したり、付属のソフトウェア（p.2）を使うと地図上に表示しながら静止画や動画と一緒に確認することもできます。

### 1 GPS機能が使えるようにする

- p.52の手順1～2の操作で設定します。



### 2 撮影する

- 撮影した静止画や動画に、測位したカメラの位置情報が記録され、「GPS情報表示」（p.130）で確認できます。



- 撮影した画像に記録される位置情報と一緒に、UTCによる撮影日時（p.130）を記録することもできます（p.57）。
- 動画に記録されるのは、撮影がはじまったときのカメラの位置情報や撮影日時になります。
- ムービーダイジェスト（p.96）で作成される動画に記録されるのは、1日のはじめに作成された動画が撮影されたときのカメラの位置情報と撮影日時になります。

## カメラの位置情報を記録する（ロガー機能）

GPS衛星からの信号を一定間隔で受信し続けることで、移動の軌跡が記録できます。記録された位置情報や日時は1日分の情報が画像とは別のGPSログファイルとして記録されて、カメラで確認（p.56）したり、付属のソフトウェア（p.2）を使うと地図上で軌跡を確認することもできます。

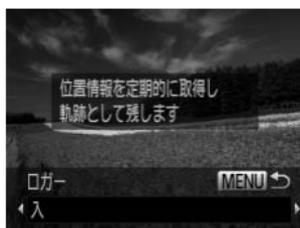
なお、電源が入っているかどうかに関わらず位置情報や日時を記録し続けるため、電源を切っている状態でもバッテリーを消耗し、カメラを使うときにバッテリーの残量が少なくなっていることがあります。そのため、必要に応じてバッテリーを充電するか、充電された予備のバッテリー（別売）の用意をおすすめします。

### 1 GPS機能が使えるようにする

- p.52の手順1～2の操作で設定します。

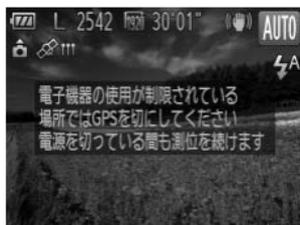
### 2 設定する

- MENUボタンを押したあと、◀か▶を押して[入]を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で[切]を選びます。



### 3 設定を終える

- (FUNC/SET) ボタンを押すとロガー機能に関する内容が表示されますので、内容を確認してください。
- ▶ 撮影画面には、GPSの受信状態に連動して[ ]が表示されます（p.52）。
- ▶ ロガー機能が動作し、一定の間隔でGPS衛星から受信した信号をもとに、測位した結果や日時がカメラに記録されます。
- 電源を切っても、ロガー機能は動作します。



## 4 カードにGPSログファイルを保存する

- 電源を切ると、メッセージが表示され、カメラに記録された位置情報や日時がカードに保存されます。なお、カードに保存された位置情報や日時は、カメラには残りません。
- 電源を切ってロガー機能を使ったあとは、カードを取り出す前に、電源を入れて、もう一度電源を切ってください。
- 以下の操作でもカメラに記録された位置情報や日時がカードに保存されます。
  - ロガー情報一覧を表示しようとしたとき
  - 日付/時刻設定画面を表示しようとしたとき
  - エリア設定画面を表示しようとしたとき

- 
- ❗
- 手順4のあとにバッテリーを取り出すと、ロガー機能は停止します。そのため、バッテリーを入れ換えたときは電源を入れて、もう一度電源を切ってください。
  - カードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっているとGPSログファイルは保存できないため、スイッチを書き込みできる方へ切り換えてください。
  - 位置情報や日時は、電源を切ったときやロガー情報一覧を表示したとき（p.56）に、カードに保存されます。このため、電源を切ってロガー機能を使ったあとは、カードを取り出す前に、電源を入れて、もう一度電源を切ってください。
  - 記録された位置情報や日時は、バッテリーの残量がなくなっても、カードに保存するまではカメラに保存されています。ロガー機能を設定したあと、カメラを他人に渡すときは、十分注意してください。
  - カードを初期化（p.161）するとGPSログファイルも消えます。カードを初期化するときは十分注意してください。
  - ロガー機能はメニューでも設定することができます（p.46）。

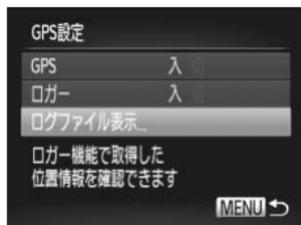
## GPSログファイルを確認する

カードに保存されているGPSログファイルの内容をカメラで確認できます。



### 1 [GPS設定] 画面を表示する

- MENU ボタンを押して、[F/T] タブの [GPS設定] を選びます (p.46)。



### 2 [ログファイル表示] 画面を表示する

- [ログファイル表示] を選び、 を押します (p.46)。



### 3 GPSログファイルを選んで確認する

- ▶ 今日の日付の右側には、最後に測位してからの経過時間が表示されます。



- 目的の日付を選んで を押し、記録された緯度、経度、時刻と、その日に取得した情報の数が表示されます。

## カメラの日付／時刻を自動的に更新する

GPS衛星からの信号を受信して、設定しているエリア (p.19、164) の日時へ、カメラの日付／時刻を自動的に更新します。

また、撮影した画像に記録される位置情報 (p.53) と一緒に、UTCによる撮影日時 (p.130) が記録されるようになります。

### 1 [GPS] を [入] にする

- p.52の手順1～2の操作で設定します。

### 2 設定する

- MENU ボタンを押して、[Y/T] タブの [GPS 自動時刻設定] を選んだあと、[入] を選びます (p.46)。
- サマータイムを設定するとき、p.20の操作で設定します。



### 自動更新されたことを確認する

自動更新されると、p.20の手順2の操作で表示される [日付/時刻] 画面に [自動更新しました] と表示されます。また、GPS衛星からの信号を受信する前は [GPS自動時刻設定：入] と表示されます。



- [GPS 自動時刻設定] を [入] にしているときは、日付／時刻は自動更新されるため、p.21の操作で [日付/時刻] の画面を表示しても、日時を変えることはできません。



# 3

## AUTOモード（こだわりオート）

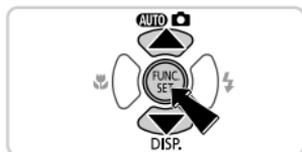
かんたん操作で手軽に撮ったり、いろいろな機能を使ってもう少しこだわった画像を撮る

# AUTOモードで撮る（こだわりオート）

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。



赤い印



## 1 ふたが閉まっていることを確認する

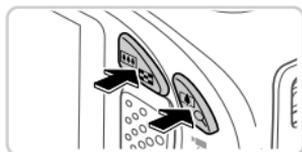
- カード／バッテリー収納部ふたと端子ふたのスイッチ部分が図の位置まで戻り、赤い印が見えていないことを確認します。
- 2カ所のふたが確実に閉まっていないと、カメラが水で濡れたときに、内部に水が入り故障の原因となります。

## 2 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- ▶ 起動画面が表示されます。

## 3 AUTOモードにする

- ▲を押したあと、▲か▼を押して **AUTO** を選び、**FUNC. SET** ボタンを押します。
- ▶ 画面の右上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます（p.65、66）。
- ▶ 被写体が検出されたときは、フレームが表示されてピントを合わせます。

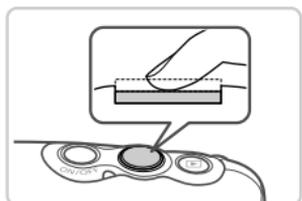


ズームバー



#### 4 撮りたいものの大きさを決める

- ズームボタンの「+」側を押すと撮りたいものが大きくなり、「-」側を押すと小さくなります（ズームの位置を示すズームバーが表示されます）。



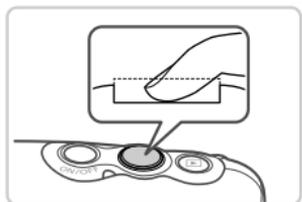
#### 5 撮影する 静止画を撮る

##### ① ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置にAFフレームが表示されます。
- 複数のAFフレームが表示されたときは、表示されたすべてのAFフレームにピントが合っています。

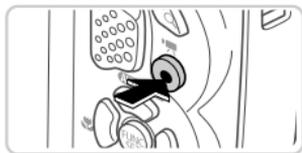


AFフレーム



##### ② 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。
- ▶ シャッター音が鳴り、撮影されます（暗いところでは自動的にストロボが光ります）。
- ▶ 撮影した画像は、約2秒間表示されます。
- 画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを押すと、次の撮影ができます。



撮影時間



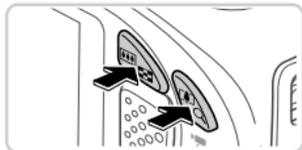
## 動画を撮る

### ① 撮影をはじめると

- 動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」と1回鳴って撮影がはじまり、[●録画]と撮影時間が表示されます。
- ▶ 画面上下に黒い帯が表示されます。この部分は撮影できません。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を離します。

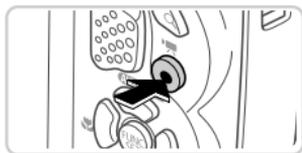
### ② 撮りたいものの大きさを変えたり、構図を変える

- 撮りたいものの大きさを変えるときは、p.61の手順4と同じ操作で変えます。ただし、倍率が青く表示されるときは画像が粗くなり、操作音は録音されます。
- 撮影中に構図を変えると、ピント位置、明るさ、色あいが自動的に調整されます。



### ③ 撮影を終える

- もう一度動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」と2回鳴り、撮影が終わります。
- カード容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終わります。



## ■ 静止画／動画

---

- ❗ ●電源を入れてカメラを操作しても音が鳴らないときは、▼を押したまま電源を入れたため音が鳴らなくなりました。音が鳴るようにするには、MENUボタンを押して、[冫] タブの [消音] を選び、◀か▶を押して [しない] を選びます。

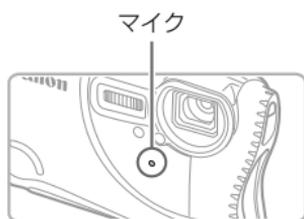
## ■ 静止画

---

- ❗ ● [📷] が点滅表示したときは手ブレしやすいため、カメラが動かないように三脚などでカメラを固定してください。
- ストロボが光ったのに暗い画像になるときは、被写体までの距離が遠すぎます。ストロボ撮影できる範囲については、「主な仕様」(p.36) を参照してください。
- シャッターボタンを半押ししたときに、電子音が「ピッ」と1回鳴るときは、撮りたいものが近すぎる可能性があります。ピントが合う範囲（撮影範囲）は、「主な仕様」(p.36) を参照してください。
- 暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピント合わせのためや人の目が赤く写るのを緩和するため、ランプ（前面）が点灯することがあります。
- 撮影しようとしたときに [⚡] が点滅表示したときは、ストロボ充電中のため撮影できません。充電が終わると撮影できますので、シャッターボタンを全押ししたまま待つか、一度シャッターボタンを離してもう一度押してください。

## 動画

- ❗ 長時間の動画撮影を繰り返し行くと、カメラの温度が高くなる場合がありますが故障ではありません。



- 動画撮影するときは、マイクをふさがないように注意してください。マイクをふさぐと音声は録音されなかったり、こもった音声で録音されることがあります。
- 動画撮影中に動画ボタン以外を操作すると、操作音が録音されるので、注意してください。
- 動画の画質が [1920] のとき (p.76) は、撮影中に構図を変えると色あいが最適にならないことがあります。そのときは動画ボタンを押して撮影を一度止めてから、もう一度動画ボタンを押して撮影してください。



- 音声はモノラルで録音されます。

## シーンのアイコン

**AUTO**モードでは、カメラが判別したシーンを示すアイコンが表示され、ピント合わせや被写体の明るさ、色あいが最適になるよう自動設定されます。

背景	被写体	人			人以外の被写体			背景色
		動いているとき*1	顔の一部が暗いとき*1		動いているとき*1	近いとき		
明るい					AUTO			灰色
	逆光			-				
青空を含む					AUTO			水色
	逆光			-				
夕景		-				-	-	オレンジ色
スポットライト								紺色
暗い				AUTO				
三脚使用時	*2	-			*2	-	-	

\*1 動画撮影では表示されません。

\*2 撮影シーンが暗いときに、三脚などでカメラを固定すると表示されます。

❗ 撮影シーンによっては、実際のシーンと異なるシーンのアイコンが表示されたり、思いどおりの効果、色あい、明るさで撮影できないことがあります。そのときは、**P**モード（p.105）で撮影することをおすすめします。

## 手ブレ補正アイコン

撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定（マルチシーンIS）されます。また、**AUTO**モードでは以下のアイコンが表示されます。

	静止画を撮影するときの手ブレを補正		動画を撮影するときの手ブレを補正し、歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレも補正（ダイナミックIS）
	静止画を流し撮りで撮るときの手ブレを補正*		動画を望遠にして撮影するときなどの、ゆっくりとした手ブレを補正（パワードIS）
	マクロ撮影するときの手ブレを補正（ハイブリッドIS）		三脚などでカメラを固定したときは、手ブレ補正が不要なため停止

\* 動く被写体をカメラで追いながら撮影（流し撮り）するときに表示されます。左右方向に動く被写体を追うと、上下方向の手ブレだけが補正されて、左右方向の補正は停止します。また、上下方向に動く被写体を追うと、左右方向の手ブレだけが補正されます。



- [手ブレ補正] を [切] に設定 (p.124) すると、手ブレが補正されなくなり、アイコンも表示されなくなります。

## 画面に表示される枠

カメラを被写体に向けて被写体を検出すると、画面上にいろいろな枠が表示されます。

- カメラを被写体に向けると主被写体として検出された顔やものには白の枠、その他の顔には灰色の枠が表示されて、一定の範囲で追尾しピントを合わせ続けます。

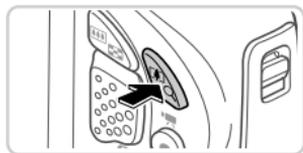
ただし、被写体が動いていると判別したときは、灰色の枠が消えて、白の枠だけになります。

- シャッターボタンを半押しした状態で被写体が動いていると判別したときは、青色の枠が表示されて、ピントと明るさを合わせ続けます（サーボAF）。

- 
- ❗ ● 撮影シーンや被写体によっては、「枠が表示されない」、「撮りたい被写体に枠が表示されない」、「背景などに枠が表示される」ことがあります。そのときは、**P**モード（p.105）で撮影することをおすすめします。

## 被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）

光学ズームで被写体が大きく撮れないときは、デジタルズームを使って最大約20倍まで拡大できます。



### 1 ズームボタンの[🔍]側を押す

- ズームできるところまでボタンを押したままにします。
- ▶ 画像が粗くならない最大の倍率になるとズームが止まり、ボタンから指を離すとズーム倍率が表示されます。

### 2 もう一度[🔍]側を押す

- ▶ デジタルズームで被写体がさらに拡大されます。



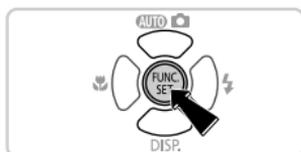
- 設定した記録画素数（p.74）とデジタルズームの倍率によっては、ズーム倍率が青色で表示されて画像が粗くなります。



- 光学ズームとデジタルズームをあわせた焦点距離は以下のとおりです（35mmフィルム換算）。  
28 – 560 mm（光学ズーム時は28 – 140 mm）
- デジタルズームを使わないするには、**MENU**ボタンを押して、**[📷]** タブの **[デジタルズーム]** を選び、**[切]** を選びます。

## セルフタイマーを使う

集合写真などで撮影する人も一緒に写るときは、シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影されるセルフタイマーを使って撮影します。



### 1 設定する

- **FUNC. SET** を押して、メニュー項目の [**Ⓢ**] を選んだあと、項目の [**Ⓢ**] を選びます (p.45)。
- ▶ 設定されると [**Ⓢ**] が表示されます。



### 2 撮影する

- 静止画を撮影するときには、シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを全押しします。
- 動画を撮影するときには、動画ボタンを押します。
- ▶ タイマーがはじまるとランプ (前面) が点滅して、電子音が鳴ります。
- ▶ 撮影の2秒前になると、ランプ (前面) の点滅 (ストロボ発光時は点灯) と電子音が速くなります。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときには、**MENU** ボタンを押します。
- 戻すときは、手順1の操作で [**Ⓢ**] を選びます。



## ■ セルフトイマーを使って手ブレを防ぐ

シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影するため、シャッターボタンを押すときのカメラのブレを防ぐことができます。



### 設定する

- p.69の手順1の操作で [C2] を選びます。
- ▶ 設定されると [C2] が表示されます。
- p.69の手順2の操作で撮影します。

## ■ セルフトイマーの時間と撮影枚数を変える

撮影されるまでのタイマー時間（0 - 30秒）と、撮影枚数（1 - 10枚）を設定できます。

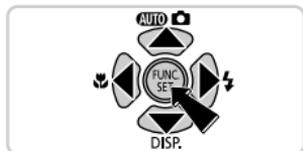
### 1 [C2] を選ぶ

- p.69の手順1の操作で [C2] を選び、MENU ボタンを押します。



### 2 設定する

- ▲か▼を押して [時間] または [枚数] を選びます。
- ◀か▶を押して数値を選び、FUNC/SET を押します。



- ▶ 設定されると [C2] が表示されます。
- p.69の手順2の操作で撮影します。

- ❗ ● 動画ボタンを押して撮影したときは、設定した [時間] で撮影がはじまりますが、[枚数] は反映されません。

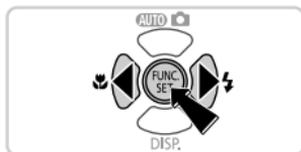


- 撮影枚数を2枚以上にしたときは、明るさや色あいは1枚目の撮影で固定されます。また、ストロボが光るときや撮影枚数が多いときは撮影間隔が長くなったり、カード容量がいっぱいになると自動的に撮影が終わります。
- タイマー時間を2秒以上にしたときは、撮影の2秒前にランプの点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。

## 静止画

## ストロボを光らせない

ストロボを光らせないで撮影することができます。



## 設定する

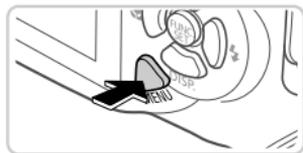
- ▶を押したあと、◀か▶を押して [⚡] を選び、を押します。
- ▶設定されると [⚡] が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [⚡<sup>A</sup>] を選びます。



- 手ブレしやすい暗い場所でシャッターボタンを半押しすると、画面にが点滅表示されることがあります。そのときはカメラが動かないよう三脚などで固定してください。

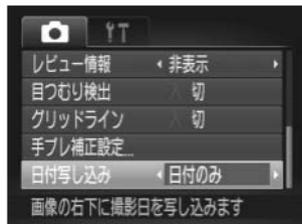
## 日時を入れる

画像の右下に撮影日時を記録できます。ただし、記録された撮影日時は画像から消せません。あらかじめ日付/時刻が正しく設定されていることを確認してください (p.19)。



### 1 設定する

- **MENU** ボタンを押して、**[📷]** タブの [日付  
写し込み] を選び、目的の項目を選びます (p.46)。
- ▶ 設定されると [日付] が表示されます。



### 2 撮影する

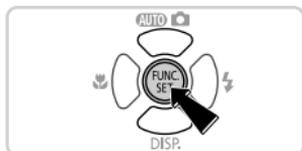
- ▶ 撮影した画像の右下に、撮影日または撮影日時が記録されます。
- 戻すときは、手順1の操作で [切] を選びます。



- 撮影日を入れずに撮った画像でも、次の方法で撮影日を入れて印刷できます。ただし、撮影日を入れて撮った画像に、撮影日を入れる指定をすると、重複して印刷されることがあります。
  - 印刷指定 (DPOF) 機能を使って印刷する (p.188)
  - 付属のソフトウェアを使って印刷する  
「ImageBrowser EX ガイド」(p.28) を参照してください。
  - プリンターの機能を使って印刷する (p.181)

## 縦横比（アスペクト比）を変える

画像の縦横の比率を変えられます。



### 設定する

- **FUNC. SET** を押して、メニュー項目の **[4:3]** を選んだあと、目的の項目を選びます (p.45)。
- ▶ 設定されると画面の縦横比が変わります。
- 戻すときは、上記の操作で **[4:3]** を選びます。



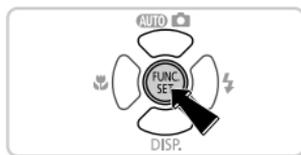
16:9	HD（ハイビジョン）対応テレビなどと同じ縦横比です。HD対応テレビなどのワイド画面へ表示するときに適しています。
3:2	35mmフィルムと同じ縦横比です。2L判、はがきなどでの印刷に適しています。
4:3	このカメラの画面と同じ縦横比です。L判やA判などでの印刷に適しています。
1:1	正方形です。



- **[4:3]** 以外では、**[デジタルズーム]** が **[切]** に固定されるため、デジタルズーム (p.68) は使えません。

## 記録画素数（画像の大きさ）を変える

画像の記録画素数を4種類から選べます。それぞれの記録画素数で1枚のカードに撮影できる枚数については「主な仕様」(p.36)を参照してください。



### 設定する

- **[FUNC SET]** を押して、メニュー項目の **[L]** を選び、目的の項目を選びます (p.45)。
- ▶ 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で **[L]** を選びます。



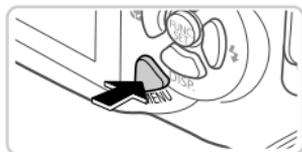
### 用紙の大きさに選ぶときの目安（縦横比4:3のとき）

A2相当	<b>L</b>
A3~A5相当	<b>M1</b>
2L判 はがき L判相当	<b>M2</b>

- **[S]** は、電子メールで画像を送るときなどに適しています。

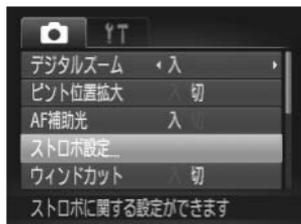
## 赤目自動補正

ストロボ撮影時に目が赤く写る現象を、自動補正して撮影できます。



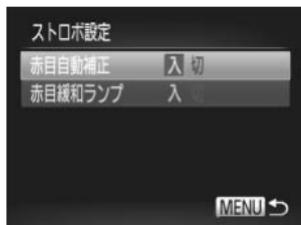
### 1 [ストロボ設定] 画面を表示する

- MENU ボタンを押して、[📷] タブの [ストロボ設定] を選びます (p.46)。



### 2 設定する

- [赤目自動補正] を選んだあと、[入] を選びます (p.46)。
- ▶ 設定されると [👁] が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [切] を選びます。



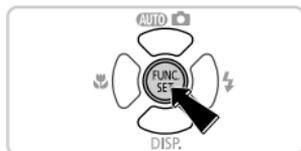
- ❗ ● 化粧などで目の周りが赤いときは、目以外を補正することがあります。



- 撮影した画像を補正することもできます (p.154)。
- ▶ を押してからMENUボタンを押しても、手順2の画面を表示できます。

## 動画の画質を変える

3種類の画質から選べます。それぞれの画質で1枚のカードに撮影できる時間については「主な仕様」(p.36)を参照してください。



### 設定する

- **FUNC SET** を押して、メニュー項目の [1920] を選んだあと、目的の項目を選びます (p.45)。
- ▶ 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [1920] を選びます。



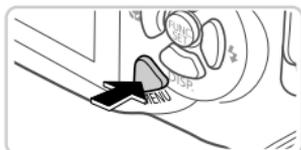
画質	記録画素数	フレーム数	内容
1920	1920 x 1080画素	24フレーム/秒	Full HD (フルハイビジョン) 画質で撮影できます。
1280	1280 x 720画素	30フレーム/秒	HD (ハイビジョン) 画質で撮影できます。
640	640 x 480画素	30フレーム/秒	SD (スタンダード) 画質で撮影できます。



- [1920] [1280] では、画面の上下に黒帯が表示されます。この部分は撮影できません。

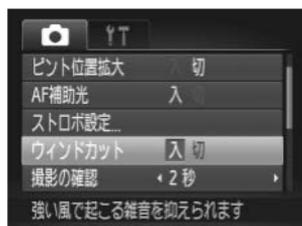
## ウィンドカットを使う

風が強いときに発生する雑音を低減できます。ただし、風がない場所で録音したときは、不自然な音になることがあります。



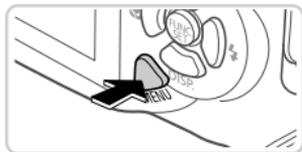
### 設定する

- **MENU** ボタンを押して、**[カメラ]** タブの **[ウィンドカット]** を選び、**[入]** を選びます (p.46)。
- 戻すときは、上記の操作で **[切]** を選びます。



## グリッドラインを表示する

撮影のときに垂直、水平の目安になる格子線を画面上に表示することができます。



### 設定する

- MENUボタンを押して、[📷] タブの [グリッドライン] を選び、[入] を選びます (p.46)。
- ▶ 設定されると格子線が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [切] を選びます。



- 「グリッドライン」は画像に記録されません。

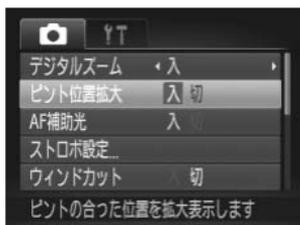
## ピント位置を拡大表示する

シャッターボタンを半押ししたときに、AFフレームの位置を拡大表示してピントを確認することができます。



### 1 設定する

- MENUボタンを押して、[カメラ] タブの [ピント位置拡大] を選び、[入] を選びます (p.46)。



### 2 ピントを確認する

- シャッターボタンを半押しすると、主被写体として検出された顔が、拡大表示されます。
- 戻すときは、手順1の操作で [切] を選びます。

❗ 顔が検出できないときや、顔がカメラに近すぎて画面に対して大きく表示されているときは、シャッターボタンを半押ししても拡大表示されません。

✎ デジタルズーム (p.68) やキャッチAF (p.119) をしているときは拡大表示されません。

## 目をつむった人を確認する

撮影時に目をつむった可能性のある人を検出したときは、[☒] を表示してお知らせします。



### 1 設定する

- MENU ボタンを押して、[📷] タブの [目つむり検出] を選び、[入] を選びます (p.46)。

### 2 撮影する

- ▶ 目をつむった人を検出したときは、枠と [☒] が表示されます。
- 戻すときは、手順1の操作で [切] を選びます。



- [☒] で撮影枚数を 2 枚以上に設定したときは、最後に撮影した画像でのみ動作します。

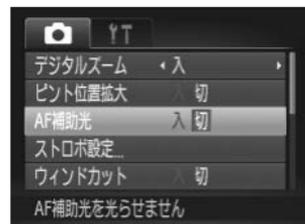
## 自分好みに機能を変える

MENUの「」タブで、カメラの撮影機能を好みの設定に変えることができます。

なお、メニュー機能の操作方法は、「MENU（メニュー）の表示と操作方法」（p.46）を参照してください。

### AF補助光（ランプ）を切る

暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピントを合わせるためにランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。

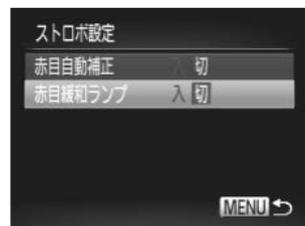


#### 設定する

- MENUボタンを押して、「」タブの「AF補助光」を選び、「切」を選びます（p.46）。
- 戻すときは、上記の操作で「入」を選びます。

### 赤目緩和機能（ランプ）を切る

暗いところでのストロボ撮影では、人の目が赤く撮影されることを緩和するため、ランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。



#### 1 [ストロボ設定] 画面を表示する

- MENU ボタンを押して、「」タブの「ストロボ設定」を選びます（p.46）。

#### 2 設定する

- 「赤目緩和ランプ」を選んでから、「切」を選びます（p.46）。
- 戻すときは、上記の操作で「入」を選びます。

## 撮影直後の画像表示時間を変える

撮影直後に画像が表示される時間を変えられます。



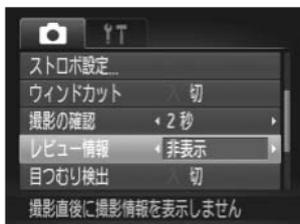
### 設定する

- MENUボタンを押して、[📷] タブの [撮影の確認] を選び、目的の項目を選びます (p.46)。
- 戻すときは、上記の操作で [2秒] を選びます。

2～10秒	設定した時間だけ画像を表示します。
ホールド	シャッターボタンを半押しするまで画像を表示します。
切	画像は表示されません。

## 撮影直後の画面表示を変える

撮影直後の画像表示を変えることができます。



### 設定する

- MENUボタンを押して、[📷] タブの [レビュー情報] を選び、目的の項目を選びます (p.46)。
- 戻すときは、上記の操作で [非表示] を選びます。

非表示	撮影した画像だけを表示します。
詳細表示	詳細情報表示 (p.206) になります。
ピント確認	AFフレームの位置を拡大表示して、ピントを確認することができます。操作方法は、「ピント位置を確認する (フォーカスチェッカー)」 (p.131) と同じです。

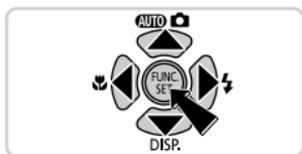
# 4

## いろいろな撮影モード

いろいろなシーンをより効果的に撮ったり、ユニークな効果や特殊な機能で演出された画像を撮る

## いろいろなシーンで撮る

撮影シーンにあったモードを選ぶと、最適な撮影ができるようにカメラが自動的に設定を行います。



### 1 撮影モードを選ぶ

- ▲を押したあと、▲か▼を押して撮影モードを選びます。
- 画面の中央上部にアイコンが複数表示されるときは、◀か▶を押して撮影モードを選びます。
- を押します。

### 2 撮影する



#### 水中で撮る（水中）

- 水中にいる生き物や海中の景色などを、自然な色あいで撮影できます。
- ホワイトバランスを補正して、市販の色補正用フィルターと同じような効果を得ることができます (p.87)。



#### 水中で近くの被写体を拡大して撮る（水中マクロ）

- 水中にいる生き物などに近づき、自然な色あいで撮影できます。デジタルズームを使うことでさらに被写体を拡大して撮影できます。ただし、デジタルズームを使うと、記録画素数 (p.74) によっては画像が粗くなる場合があります。



静止画

動画

### ❄️ 雪景色で撮る（スノー）

- 雪景色を背景に、人を明るく自然な色あいで撮影できます。



静止画

動画

### 👤 人を撮る（ポートレート）

- 人や柔らかい感じで撮影できます。



静止画

### 📷 三脚を使わずに夜景を撮る（手持ち夜景）

- 連続撮影した画像を合成することにより、手ブレやノイズを軽減して夜景をきれいに撮影できます。
- 三脚を使って撮影するときは、**AUTO** モードで撮影することをおすすめします（p.60）。



静止画

### 🌌 暗い場所で撮る（ローライト）

- 暗い場所でも手ブレや被写体ブレをおさえて撮影できます。



静止画

### 🎆 花火を撮る（打上げ花火）

- 打上げ花火を色鮮やかに撮影できます。

- ❗ ● [📷] モードでは連続撮影するため、撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- [📷] モードでは、ブレが大きすぎるなど、シーンによっては合成できなかったり、思いどおりの効果が得られないことがあります。
- [📷] モードでは手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときには、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (p.124)。



- [📷] モードでは、記録画素数は [M] (1984 x 1488画素) に固定されます。
- [📷] モードでは、光学ズームはもっとも広角に固定され、光学ズームは使えません。

## 静止画

### ■ 水中でシャッターチャンスを見逃さずに撮る

[📷] モード (p.84) にしてフォーカスゾーンを [📷] に設定すると、シャッターチャンスを見逃さずに、水中で3 m程度離れた被写体を撮影することができます。特に、動き回る被写体を撮影したいときに有効です。



#### 1 [📷] を選ぶ

- p.84の手順1の操作で [📷] を選びます。

#### 2 フォーカスゾーンを選ぶ

- ◀を押したあと、▶を押して [📷] を選び、[PINK SET] を押します。

#### 3 撮影する

- 中央に表示される枠に被写体を合わせ、シャッターボタンを半押しします。
- シャッターチャンスがきたら、素早く全押しします。

- ❗ ● 被写体が近いときは、ピントが合わないことがありますので、フォーカスゾーンを [MF] に設定してください。



- シャッターボタンを半押ししても、AFフレームの色は白のままです。
- キャッチAF (p.119) にしているときは、設定できません。

静止画

動画

## ホワイトバランスを補正する

【】 【】 モード (p.84) のときにホワイトバランスを手動で補正することができます。この機能を使うと、市販の色補正用フィルターと同じような効果を得ることができます。

### 1 【】 か 【】 を選ぶ

- p.84の手順1の操作で 【】 または 【】 を選びます。



### 2 ホワイトバランスを選ぶ

- を押して、メニュー項目の [AWB] を選び、もう一度 を押します。



### 3 補正する

- ズームボタンを押して B、A の補正量を調整し、 を押します。



- 補正量を設定したあとに手順2でホワイトバランスの項目を変えても、補正量はそのまま保持されますが、マニュアルホワイトバランスで白データを取り込むと初期設定に戻ります。



- Bはブルー、Aはアンバーの意味です。
- マニュアルホワイトバランス (p.110) で白データを取り込んだあとに、上記の操作でホワイトバランスを補正することもできます。

## 効果をつけて撮る

いろいろな効果をつけて撮影することができます。

### 1 撮影モードを選ぶ

- p.84 の手順 1 の操作で撮影モードを選びます。

### 2 撮影する

- ❗ [👤] [📷] [📱] [📺] [📺] モードでは、シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがあるので、事前に試し撮りをするをおすすめします。



静止画

動画

#### 🌈 鮮烈な色で撮る（極彩色）

- 色の濃さを強調して、高彩度の鮮烈な色で撮影できます。



静止画

動画

#### 🎨 イラスト風の効果をつけて撮る（オールドポスター）

- 古いポスターのようなイラスト風の効果をつけて撮影できます。

静止画

## 魚眼レンズのような効果をつけて撮る（魚眼風）

魚眼レンズで撮ったようなデフォルメ効果をつけて撮影します。

### 1 [魚眼] を選ぶ

- p.84の手順1の操作で [魚眼] を選びます。



### 2 効果を選ぶ

- ▼を押したあと、◀か▶を押して効果のレベルを選び、[FUNC/SET]を押します。
- ▶ 設定した効果で画面が表示されます。

### 3 撮影する

静止画

動画

## ミニチュア模型のように撮る（ジオラマ風）

指定した範囲の上下をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影します。

また、「再生時の速さ」を選んで動画を撮影すると、再生時には風景の中の人やものが早送りで動くので、ミニチュア模型のように見えます。なお、音声は録音されません。

### 1 [ジオラマ] を選ぶ

- p.84の手順1の操作で [ジオラマ] を選びます。
- ▶ 画面に白い枠（ぼかさない範囲）が表示されます。



### 2 ピントの合う範囲と位置を指定する

- ▼を押します。
- ズームボタンを押して枠の大きさを変えたり、▲か▼を押して枠の位置を変えます。



### 3 動画を撮るときは再生時の速さを選ぶ

- MENUボタンを押したあと、◀か▶を押して倍速（速さ）を選びます。

### 4 撮影画面に戻り、撮影する

- MENUボタンを押して撮影画面に戻り、撮影します。
- を押して撮影画面に戻り、撮影します。

## 倍速と再生時間の目安（動画を1分間撮影したとき）

倍速	再生時間
5x	約12秒
10x	約6秒
20x	約3秒

-  動画の撮影中は、ズームできません。撮影前に倍率を変えてください。



- 手順2の画面で◀か▶を押すと枠が縦になり、◀か▶を押して位置を変えられます。▲か▼を押すと枠が横に戻ります。
- カメラを縦位置で構えると、枠の向きが変わります。
- 動画の画質は、縦横比で [4:3] を選んだときは [640] に、[16:9] を選んだときは [1280] に固定されます (p.73)。

## トイカメラのような効果をつけて撮る（トイカメラ風）

画像の四隅を暗くぼかして、全体の色調を変えることで、トイカメラで撮影したような効果をつけて撮影できます。

### 1 [☑] を選ぶ

- p.84の手順1の操作で [☑] を選びます。



### 2 色調を選ぶ

- ▼を押したあと、◀か▶を押して色調を選び、**FUNC SET**を押します。
- ▶ 設定した色調で画面が表示されます。

### 3 撮影する

標準	トイカメラ風の画像になります。
暖色	[標準] より暖色系のトイカメラ風画像になります。
寒色	[標準] より寒色系のトイカメラ風画像になります。

## 単色で撮る（モノクロ）

画像を白黒、セピア調、青白にして撮影できます。

### 1 [■] を選ぶ

- p.84の手順1の操作で [■] を選びます。

### 2 色調を選ぶ

- ▼を押したあと、◀か▶を押して色調を選び、  
 を押します。
- ▶ 設定した色調で画面が表示されます。



### 3 撮影する

白黒	白黒で撮影できます。
セピア	セピア調で撮影できます。
青	青白で撮影できます。

## ワンポイントカラーで撮る

画面内の指定した1色のみを残し、それ以外を白黒にして撮影できます。



### 1 [A] を選ぶ

- p.84の手順1の操作で [A] を選びます。

### 2 設定画面を表示する

- ▼を押します。
- ▶ 色を変える前の画像とワンポイントカラーの画像が交互に表示されます。
- ▶ 初期状態では、残る色が緑色に設定されています。



取り込まれた色

### 3 残す色を指定する

- 残したい色が中央の枠いっぱいに入るようにして、◀を押します。
- ▶ 指定した色が取り込まれます。

### 4 残す色の範囲を指定する

- ▲か▼を押して、残したい色の範囲を変えます。
- 指定した色だけを残すときは-の値を大きくします。指定した色に近い色も残すときは+の値を大きくします。
- **FUNC SET**を押すと撮影画面に戻ります。



- ストロボを使うと、思いどおりの画像にならないことがあります。
- 撮影シーンによっては、画像が粗くなったり、思いどおりの色にならないことがあります。

## スイッチカラーで撮る

画面内の指定した1色を別の色に変えて撮影できます。別の色の取り込みは1色のみです。



### 1 【S】を選ぶ

- p.84の手順1の操作で【S】を選びます。



### 2 設定画面を表示する

- ▼を押します。
- ▶ 色を変える前の画像とスイッチカラーの画像が交互に表示されます。
- ▶ 初期状態では、緑色を灰色に変えるよう設定されています。



### 3 変える前の色を指定する

- 中央の枠いっぱいに入るようにして◀を押します。
- ▶ 指定した色が取り込まれます。



### 4 変えたあとの色を指定する

- 中央の枠いっぱいに入るようにして▶を押します。
- ▶ 指定した色が取り込まれます。

## 5 変えたあとの色の範囲を指定する

- ▲か▼を押して、変えたい色の範囲を変えます。
- 指定した色だけを変えるときは-の値を大きくします。指定した色に近い色も変えるときは+の値を大きくします。
- を押すと撮影画面に戻ります。



- ストロボを使うと、思いどおりの画像にならないことがあります。
- 撮影シーンによっては、画像が粗くなったり、思いどおりの色にならないことがあります。

# 特殊なモードでいろいろな画像を撮る

静止画

動画

## 短編動画を自動で作る（ムービーダイジェスト）

静止画を撮影しているだけで、1日をまとめた短編動画ができます。静止画を撮影するたびに、その直前のシーンが動画として自動で記録されます。同じ日に記録された動画は、1つのファイルとして保存されます。



### 1 [📷] を選ぶ

- p.84の手順1の操作で [📷] を選びます。

### 2 撮影する

- シャッターボタンを押して、静止画を撮影します。
- ▶ 撮影直前の約2～4秒間の動画も自動的に記録されます。



- 電源を入れたり [📷] モードを選ぶなど、カメラを操作した直後に静止画を撮影したときは、動画が記録されないことがあります。
- 静止画と一緒に動画が撮影されるため、**AUTO** モードよりバッテリーの消耗が早くなります。
- 動画には、カメラを操作したときの操作音が録音されます。



- [📷] モードで作成された動画の画質は、[640] に固定されます。
- 次のときは、同じ日に [📷] モードで作成された動画でも、別ファイルとして保存されます。
  - 動画の容量が約4 GBになるか、記録時間が約1時間になったとき
  - 動画を保護したとき (p.138)
  - スマートタイムの設定 (p.20) やエリア設定をかえたとき (p.164)
  - フォルダが新しく作成されたとき (p.163)
- シャッターボタンを半押ししたときの音、[操作音]、[セルフタイマー音] (p.159) などの電子音は鳴りません。
- [📷] モードで作成された動画を、日付で選んで見ることができます (p.134)。

## 顔を見つけて撮る（オートシャッター）

### 笑顔を見つけて撮る（スマイル）

シャッターボタンを押さなくても、カメラが笑顔を検出するたびに、自動で撮影します。



#### 1 [😊] を選ぶ

- p.84の手順1の操作で [📷] を選んだあと、▼を押します。
- ◀か▶を押して [😊] を選び、FUNC/SETを押します。
- ▶ 撮影準備に入り、「笑顔を検出中です」が表示されます。



#### 2 カメラを人に向ける

- カメラが笑顔を検出するたびに、ランプ（前面）が光ったあと撮影されます。
- ◀を押すと笑顔の検出を中断できます。もう一度◀を押すと笑顔の検出を再開します。



- 笑顔を検出するたびに撮影し続けるので、撮影が終わったら、他の撮影モードに変えることをおすすめします。



- シャッターボタンを押して撮影することもできます。
- カメラの方を向いて、歯が見えるように口を開けて笑うと、笑顔が検出されやすくなります。
- 手順1で [😊] を選んだあと、▲か▼を押すと、撮影枚数を変えることができます。なお、[目つむり検出] (p.80) は、最後に撮影した画像でのみ動作します。

## ウインクしたら撮る（ウインクセルフタイマー）

カメラを人に向けてシャッターボタンを押したあと、カメラがウインクを検出すると、約2秒後に撮影されます。

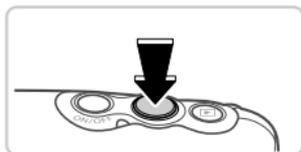


### 1 [ ] を選ぶ

- p.84の手順1の操作で [ ] を選んだあと、▼を押します。
- ◀か▶を押して [ ] を選び、[ ] を押します。

### 2 構図を決めてシャッターボタンを半押しする

- ウインクする人の顔に緑色の枠が表示されていることを確認します。



### 3 シャッターボタンを全押しする

- ▶ 撮影準備に入り、「ウインクすると撮影します」が表示されます。
- ▶ ランプ（前面）が点滅し、電子音が鳴ります。



### 4 カメラに向かってウインクする

- ▶ 枠が表示された人のウインクが検出されると、約2秒後に撮影されます。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、MENUボタンを押します。



- ウインクが検出されないときは、少し長めに、しっかりとウインクしてください。
- 帽子や髪で目が隠れていたり、眼鏡をかけていたりすると、ウインクが検出されないことがあります。
- 両目をつむってもウインクとして検出されます。
- ウインクが検出されないときは、約15秒後に撮影されます。
- 手順1で [ ] を選んだあと、▲か▼を押すと、撮影枚数を変えることができます。なお、[目つむり検出] (p.80) は、最後に撮影した画像でのみ動作します。
- 人がいない構図でシャッターボタンを全押ししたときは、あとから構図に入った人のウインクで撮影がはじまります。

## ■ 人が増えたら撮る（顔セルフタイマー）

シャッターボタンを押した人が構図に入って顔が検出 (p.117) されると、約2秒後に撮影されます。集合写真などで撮影する人も一緒に写りたいときにおすすです。

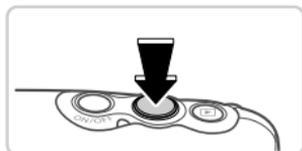


### 1 [顔] を選ぶ

- p.84の手順1の操作で [顔] を選んだあと、▼を押します。
- ◀か▶を押して [顔] を選び、**FUNC/SET** を押します。

### 2 構図を決めてシャッターボタンを半押しする

- ピントが合った顔には緑色、それ以外の顔には白の枠が表示されていることを確認します。



### 3 シャッターボタンを全押しする

- ▶ 撮影準備に入り「顔が増えたら撮影します」が表示されます。
- ▶ ランプ（前面）が点滅し、電子音が鳴ります。



### 4 一緒に写る人が構図に入り顔をカメラに向ける

- ▶ 新しい顔が検出されると、ランプの点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなり、約2秒後に撮影されます。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、**MENU**ボタンを押します。



- 一緒に写る人が構図に入っても顔を検出できないときは、約15秒後に撮影されます。
- 手順1で [顔] を選んだあと、▲か▼を押すと撮影枚数を変えることができます。なお、[目つむり検出] (p.80) は、最後に撮影した画像でのみ動作します。

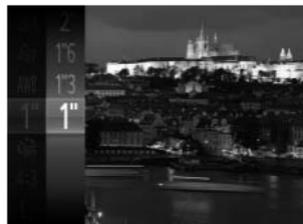
## 長秒時露光で撮る（長秒時撮影）

シャッタースピードを1～15秒の範囲に設定して、長秒時露光撮影ができます。なお、手ブレを防ぐため、三脚などでカメラを固定して撮影します。



### 1 [\*] を選ぶ

- p.84の手順1の操作で [\*] を選びます。



### 2 シャッタースピードを選ぶ

- [FUNC SET] を押して、メニュー項目の [1"] を選んだあと、シャッタースピードを選びます (p.45)。

### 3 露出を確認する

- シャッターボタンを半押しすると、選んだシャッタースピードの露出で画面が表示されます。

### 4 撮影する

- ❗ 手順3でシャッターボタンを半押ししたときの画面の明るさは、撮影される画像と異なることがあります。
- シャッタースピードが1.3秒以上のときは、撮影後にノイズ低減処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。
- 三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (p.124)。



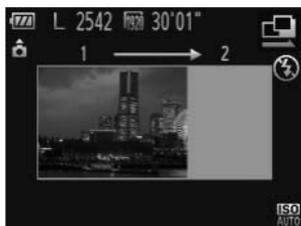
- ストロボが発光すると、白トビした画像になることがあります。そのときは、ストロボを [切] にして撮影します。

## スティッチアシストで撮る

大きな被写体を分割して撮影し、パソコンで付属のソフトウェアを使って合成処理をすると、パノラマ画像が作れます。

### 1 [C] か [D] を選ぶ

- p.84の手順1の操作で [C] または [D] を選びます。



### 2 1枚目の画像を撮影する

- ▶ 1枚目の撮影で、露出や色あいが固定されます。



### 3 2枚目以降を撮影する

- 1枚目の画像に重ねるようにして、2枚目の画像を撮影します。
- 重ねかたが多少ズレても、合成時に自動補正されます。
- 2枚目の撮影と同様の操作で最大26枚まで撮影できます。

### 4 撮影を終える

- [FUNC/SET] を押します。



### 5 パソコンで合成する

- 画像の合成方法については、「ImageBrowser EX ガイド」(p.28) を参照してください。



- テレビに表示しながらの撮影はできません (p.175)。

# いろいろな動画を撮る

## ハイスピード動画を撮る

動きの速い被写体を撮影し、スローモーション再生することができます。なお、音声は録音されません。

### 1 [ ] を選ぶ

- p.84の手順1の操作で [ ] を選びます。



### 2 フレームレートを選ぶ

- [FUNC SET] を押して、メニュー項目の [ ] を選び、フレームレートを選びます (p.45)。
- ▶ 設定した項目が表示されます。



### 3 撮影する

- 動画ボタンを押します。
- ▶ 撮影時間に連動したバーが表示されます。なお、撮影できる時間は、最長約30秒です。
- 動画ボタンをもう一度押すと撮影が終わりです。

フレーム数	画質	再生時間 (30秒間撮影したとき)
[ ] 240フレーム/秒	[ ] (320 x 240画素)	約4分
[ ] 120フレーム/秒	[ ] (640 x 480画素)	約2分



- 撮影中はズームボタンを操作しても、ズームできません。
- ピント、露出、色あいは動画ボタンを押したときに固定されます。



- p.126~127の手順1~3の操作で再生すると、スローモーション再生されません。
- [ ] モードで撮影した動画は、付属のソフトウェアを使うと、再生速度を変えて見ることができます。「ImageBrowser EX ガイド」(p.28) を参照してください。

## iFrame動画で撮る

iFrameに対応したソフトウェアや機器での編集に適した動画が撮影できます。なお、付属のソフトウェアを使うと、iFrame動画の編集や保存などを高速に行うことができます。



### 1 [iF] を選ぶ

- p.84の手順1の操作で [iF] を選びます。
- ▶ 画面上下に黒い帯が表示されます。この部分は撮影できません。

### 2 撮影する

- 動画ボタンを押します。
- 動画ボタンをもう一度押すと撮影が終わります。



- 記録画素数は [1280] (p.76) に固定されます。
- iFrameとは、Apple社が提唱する動画タイプです。



# 5

## Pモード

撮影スタイルにあわせた、  
ワンランク上の画像を撮る

- **P**は、Program AE（プログラムエーイー）の略、AEは、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。
- この章で説明する機能を**P**モード以外で使うときは、それぞれの機能がどのモードで使えるか確認してください（p.208～213）。

## プログラムAEで撮る (Pモード)

いろいろな機能を自分好みに設定して撮影できます。



### 1 Pモードにする

- p.84の手順1の操作で **[P]** を選びます。

### 2 目的に応じて各機能を設定 (p.107 ~124) し、撮影する



- シャッターボタンを半押ししたときに適正露出が得られないと、シャッタースピードと絞り数値がオレンジ色で表示されます。次の設定で、適正露出が得られることがあります。
  - ストロボを発光させる (p.122)
  - ISO感度を高くする (p.108)
- **P** モードでも、動画ボタンを押すと動画が撮影できます。ただし、**FUNC.** や **MENU** の一部が動画撮影の設定にあわせて自動的に変わることがあります。
- **P** モードでの撮影範囲は、「主な仕様」(p.36) を参照してください。

# 明るさ（露出）に関する機能を使う

静止画

## 明るさを変える（露出補正）

カメラが決めた標準的な露出を1/3段ずつ、±2段の範囲で補正できます。



- **FUNC SET** を押して、メニュー項目の **[±0]** を選んだあと、画面の表示を見ながら **▲** か **▼** を押して明るさを補正し、**FUNC SET** を押します（p.45）。  
▶ 設定した補正量が表示されます。

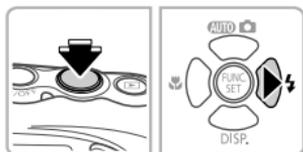
静止画

動画

## 明るさ（露出）を固定する（AEロック）

露出を固定して撮影したり、ピントと露出を個別に設定して撮影することもできます。

### 1 **[AE]** にする（p.71）



### 2 露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押ししたまま、**▶** を押します。
- ▶ **[AEL]** が表示され、露出が固定されます。
- シャッターボタンから指を離してもう一度 **▶** を押すと、**[AEL]** が消え解除されます。

### 3 構図を決めて撮影する



- AEは、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略です。

## 測光方式を変える

撮影シーンにあわせて、測光方式（明るさを測る特性）を変えられます。



- **FUNC/SET** を押して、メニュー項目の **[ ]** を選び、目的の項目を選びます (p.45)。
- ▶ 設定した項目が表示されます。

<b>[ ]</b> 評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。撮影シーンに応じて、被写体が常に適正露出になるように自動補正します。
<b>[ ]</b> 中央部重点平均測光	画面中央部に重点をおいて、画面全体を平均的に測光します。
<b>[ ]</b> スポット測光	画面中央に表示される <b>[ ]</b> (スポット測光枠) の範囲のみを測光します。

## ISO感度を変える



- **FUNC/SET** を押して、メニュー項目の **[ ]** を選び、目的の項目を選びます (p.45)。
- ▶ 設定した項目が表示されます。

## 明るさを補正して撮る（i-コントラスト）

人の顔や背景など、一部が明るすぎたり暗すぎたりするときは、その部分を検出し、適切な明るさに自動補正して撮影することができます。また、画面全体で明暗差が小さいときは、くっきりした印象となるように自動補正して撮影することができます。



- MENUボタンを押して、[📷] タブの [i-コントラスト] を選び、項目の [自動] を選びます (p.46)。
  - ▶ 設定されると [Ci] が表示されます。

❗ ● 撮影シーンによっては画像が粗くなったり、正しく補正されないことがあります。



- 撮影した画像を補正することもできます (p.153)。

# 色や連続撮影に関する機能を使う

静止画

動画

## 色あいを調整する（ホワイトバランス）

ホワイトバランス（WB）は、撮影シーンにあわせて自然な色あいにする機能です。

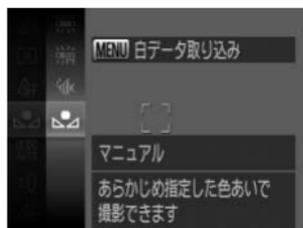


- を押して、メニュー項目の [AWB] を選び、目的の項目を選びます (p.45)。
- ▶ 設定した項目が表示されます。

	オート	撮影シーンに応じて自動設定
	太陽光	晴天の屋外
	くもり	曇り空や日陰、薄暮
	電球	電球、電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3波長型）の蛍光灯
	蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3波長型）の蛍光灯
	水中	水中での撮影に最適なホワイトバランスに設定されます。青みをおさえた自然の色あいで撮影できます。
	マニュアル	マニュアルホワイトバランス（手動設定）

## マニュアルホワイトバランス

撮影場所の光源にあわせてホワイトバランスを変えて、撮影時の光源に適した色あいで撮影できます。撮影場所の光源のもとで設定してください。



- 「色あいを調整する（ホワイトバランス）」の操作で を選びます。
- 画面いっぱいに白い無地の被写体が入るようにして、**MENU** ボタンを押します。
- ▶ 白データが取り込まれて設定されると、画面の色あいが変わります。

- ❗ 白データを取り込んだあとにカメラの設定を変えると、適切な色あいにならないことがあります。

静止画

動画

## 画像の色調を変える（マイカラー）

通常の撮影画像とは違った印象の画像にしたり、セピア調や白黒画像に変えることができます。



- **FUNC/SET** を押して、メニュー項目の **[OFF]** を選び、目的の項目を選びます (p.45)。
- ▶ 設定した項目が表示されます。

<b>OFF</b> マイカラー切	—
<b>Av</b> くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした印象の色調になります。
<b>AN</b> すっきりカラー	コントラストと色の濃さをおさえ、すっきりとした印象の色調になります。
<b>Se</b> セピア	セピア調になります。
<b>BW</b> 白黒	白黒になります。
<b>Ap</b> ポジフィルムカラー	「あざやかブルー」、「あざやかグリーン」、「あざやかレッド」の効果をあわせたもので、ポジフィルムのように自然で色鮮やかになります。
<b>AL</b> 色白肌	人の肌が色白になります。
<b>AD</b> 褐色肌	人の肌が褐色になります。
<b>AB</b> あざやかブルー	青色を強調します。空や海などがより鮮やかになります。
<b>AG</b> あざやかグリーン	緑色を強調します。山や草花などがより鮮やかになります。
<b>AR</b> あざやかレッド	赤色を強調します。赤い被写体がより鮮やかになります。
<b>Ac</b> カスタムカラー	画像の色調を自分好みに設定できます (p.112)。



- **[Se]** **[BW]** では、ホワイトバランス (p.110) は設定できません。
- **[AL]** **[AD]** では、人の肌の色以外が変わることがあります。また、肌の色によっては、思いどおりの色にならないことがあります。

## ■ カスタムカラー

画像のコントラスト（明暗差）、シャープネス（先鋭度）、色の濃さ、赤、緑、青、肌色を、それぞれ5段階から選んで設定できます。



### 1 設定画面を表示する

- 「画像の色調を変える（マイカラー）」(p.111)の操作で [Ac] を選び、**MENU**ボタンを押します。

### 2 設定する

- ▲か▼を押して項目を選び、◀か▶を押して値を設定します。
- 設定値が右側に行くほど強く／濃く／褐色（肌色）になり、左に行くほど弱く／薄く／色白（肌色）になります。
- **MENU**ボタンを押すと設定されます。

## 連続して撮る

シャッターボタンを全押ししたままにすると、連続撮影ができます。連続撮影の速度は「主な仕様」(p.36)を参照してください。



### 1 設定する

- **FUNC SET** を押して、メニュー項目の [□] を選んだあと、項目の [OK] を選びます (p.45)。
- ▶ 設定されると [OK] が表示されます。

### 2 撮影する

- ▶ シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。

- ❗ ● セルフタイマー (p.69)、[目つむり検出] (p.80) とは一緒に使えません。
- 連続撮影中は、シャッターボタンを半押ししたときのピント位置と露出に固定されます。
- 撮影シーン、カメラの設定、ズーム位置によっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 撮影枚数が多くなると、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- ストロボが発光するときは、連続撮影の速度が遅くなる場合があります。

# 撮影範囲やピント合わせに関する機能を使う

静止画

## 近くの被写体を撮る（マクロ撮影）

[🌻] に設定すると、近いものだけにピントを合わせます。ピントが合う範囲は「主な仕様」(p.36) を参照してください。



- ◀を押したあと、◀か▶を押して [🌻] を選び、  
[FUNC SET] を押します。
- ▶ 設定されると [🌻] が表示されます。

❗ ●ズームバーの下にある黄色のバー表示の範囲は、[🌻] が灰色表示になりピントが合いません。

✎ ●手ブレを防ぐため、三脚などでカメラを固定し、[📷] で撮影することをおすすめします (p.70)。

静止画

動画

## マニュアルフォーカスで撮る

オートフォーカスでピントが合わないときは、マニュアルフォーカスを使います。手動でおおよそのピントを合わせてからシャッターボタンを半押しすると、手動で合わせたピント位置の近傍で、もっともピントの合う位置に微調整されます。ピントが合う範囲は「主な仕様」(p.36) を参照してください。



### 1 [MF] を選ぶ

- ◀を押したあと、◀か▶を押して [MF] を選んだあとすぐに▲か▼を押します。



MFインジケーター

## 2 おおよそのピントを合わせる

- MFインジケーターの距離表示とピント位置を示すバーを目安にして、拡大表示を見ながら、▲か▼を押しておおよそのピントを合わせ、**FUNC SET**を押します。

## 3 ピントを微調整する

- シャッターボタンを半押しすると、もっともピントが合う位置に微調整されます（セーフティMF）。



- マニュアルフォーカス中は、AFフレームモードやAFフレームの大きさは変えられません（p.117）。AFフレームモードやAFフレームの大きさを変えるときは、一度マニュアルフォーカスを解除してください。
- デジタルズーム（p.68）、デジタルテレコンバーター（p.116）を使用しているとき、テレビに表示しているとき（p.175）は拡大表示されませんが、ピント合わせはできます。



- 正確なピント合わせを行うには、三脚などでカメラを固定することをおすすめします。
- **MENU** ボタンを押して、**[📷]** タブの **[MF拡大表示]** で **[切]** を選ぶと、拡大表示されなくなります（p.46）。
- **MENU** ボタンを押して、**[📷]** タブの **[セーフティMF]** で **[切]** を選ぶと、シャッターボタンを半押ししてもピントが微調整されなくなります（p.46）。

## デジタルテレコンバーターを使う

レンズの焦点距離を1.5倍 / 2.0倍にできます。ズーム操作（デジタルズーム含む）で同じ倍率に拡大したときよりも、シャッタースピードが速くなるため手ブレを軽減できます。



- MENU ボタンを押して、[📷] タブの [デジタルズーム] を選んだあと、目的の項目を選びます (p.46)。
- ▶ 画面が拡大表示されて、倍率が表示されます。

- ❗ 記録画素数 (p.74) が [L] [M1] のときは、倍率が青色で表示されて画像が粗くなります。
- デジタルズーム (p.68)、ピント位置の拡大表示 (p.79) とは、一緒に使えません。
- デジタルテレコンバーターが使えるのは、縦横比が [4:3] のときのみです。



- 1.5倍 / 2.0倍時の焦点距離はそれぞれ42.0 - 210 mm / 56.0 - 280 mm です (35mmフィルム換算)。
- ズームボタンの [📷] 側を押してもっとも望遠側にしたときのシャッタースピードは、p.68の手順2の操作で被写体を同じような大きさに拡大したときのシャッタースピードと同じになることがあります。

静止画

動画

## AFフレームモードを変える

撮影シーンにあわせて、AF（自動ピント合わせ）フレームモードを変えられます。



- MENUボタンを押して、[📷] タブの [AFフレーム] を選び、目的の項目を選びます (p.46)。

静止画

動画

## 顔優先AiAF

- 人の顔を検出して、ピント、露出（評価測光時のみ）、色あい（[AWB] 時のみ）を合わせます。
- カメラを被写体に向けると、主被写体と判断した顔に白のフレーム、他の顔には最大2つの灰色のフレームが表示されます。
- 検出した顔が動いていると判別したときは、一定の範囲で追尾します。
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った顔には緑色のフレーム（最大9個）が表示されます。

- ❗ 顔が検出されないときや、白のフレームが表示されず灰色のフレームのみが表示されたときは、シャッターボタンを半押しすると、ピントの合った位置に緑色のフレーム（最大9個）が表示されます。
- サーボAF (p.120) が [入] で顔が検出されないときに、シャッターボタンを半押しすると中央にフレームが表示されます。
- 顔として検出できない例
  - 被写体までの距離が遠い、または極端に近い。
  - 被写体が暗い、または明るい。
  - 顔が横や斜めを向いている、または一部が隠れている。
- 人の顔以外を、誤って検出することがあります。
- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、AFフレームは表示されません。

## 中央

AFフレームが中央1点になります。確実なピント合わせに有効です。



- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、黄色のAFフレームと【!】が表示されます。また、ピント位置の拡大表示 (p.79) はできません。



- AFフレームを小さくしたいときは、MENUボタンを押して、[📷] タブの [AF フレームサイズ] で [小] を選びます (p.46)。
- デジタルズーム (p.68) やデジタルテレコンバーター (p.116) 使用時、マニュアルフォーカス (p.114) 時は、[標準] に設定されます。

## 構図を変えて撮る (フォーカスロック撮影)

シャッターボタンを半押ししている間はピントと露出が固定され、そのまま構図を変えて撮影できます。これをフォーカスロック撮影といいます。



### 1 ピントを合わせる

- 撮りたいものを画面の中央にして、シャッターボタンを半押しします。
- AFフレームが、被写体に緑色で表示されていることを確認します。



### 2 構図を変える

- シャッターボタンを半押ししたまま、カメラを動かして構図を変えます。

### 3 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。

## ■ ピントを合わせたい被写体を選んで撮る（キャッチAF）

ピントを合わせたい被写体を選んで、撮影できます。

### 1 [キャッチAF] を選ぶ

- 「AFフレームモードを変える」(p.117) の操作で [キャッチAF] を選びます。
- ▶ 画面中央に [☐] が表示されます。



### 2 ピントを合わせたい被写体を選ぶ

- 被写体に [☐] が重なるようにカメラを動かして ◀ を押します。



- ▶ 被写体が検出されると電子音が鳴り、[⌂] 枠が表示されます（動いていても一定の範囲で追いつけます）。
- ▶ 被写体が検出できなくなったときは、[☐] が表示されます。
- 解除するときは、もう一度 ◀ を押します。

### 3 撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、[⌂] が青色の [□] に変わり、被写体を追いつけながら、ピントと露出を合わせ続けます（サーボAF）(p.120)。
- シャッターボタンを全押しして撮影します。
- ▶ 撮影後も [⌂] が表示され、被写体を追いつけます。

- ❗ [サーボAF] は [入] に固定されます。
- 被写体が小さすぎる、動きが速い、被写体と背景との明暗差や色の差が小さいときは、追尾できないことがあります。
- メニューの [📷] タブの [ピント位置拡大] は設定できません。
- [👉] は設定できません。

- ✎ ● ◀を押さずにシャッターボタンを半押ししても被写体を検出できます。撮影後は、画面中央に [☑] が表示されます。
- [MF] に設定するとき (p.114) は、◀を1秒以上押します。

静止画

## サーボAFで撮る

シャッターボタンを半押ししている間は被写体にピントと露出を合わせ続けるため、動いている被写体のシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。



### 1 設定する

- MENU ボタンを押して、[📷] タブの [サーボAF] を選び、[入] を選びます。(p.46)。

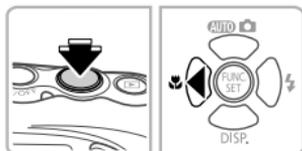
### 2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押ししている間、青色でAFフレームが表示され、ピントと露出を合わせ続けます。

- ❗ ● 撮影シーンによっては、ピントが合わなくなることがあります。
- 暗い場所では、シャッターボタンを半押ししてもAFフレームが青色にならないことがあります。そのときは、設定しているAFフレームモードでピントと露出を合わせます。
- 適正露出が得られなくなると、シャッタースピードと絞り数値がオレンジ色で表示されます。いったんシャッターボタンから指を離して、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。
- AFロック撮影はできません。
- メニューの [📷] タブの [ピント位置拡大] は設定できません。
- セルフタイマー (p.69) 使用時は設定できません。

## AFLロックで撮る

ピントを固定できます。固定後はシャッターボタンから指を離しても、ピント位置は固定されたままになります。



### 1 ピントを合わせて固定する

- シャッターボタンを半押ししたまま、◀ を押します。
- ▶ ピントが固定され、[AFL] が表示されます。
- シャッターボタンから指を離してもう一度 ◀ を押すと、[AFL] が消え解除されます。

### 2 構図を決めて撮影する

## ストロボに関する機能を使う

### ストロボを発光させる

ストロボを常に発光させて撮影できます。ストロボ撮影できる範囲については、「ストロボ調光範囲」(p.38)を参照してください。



- ▶を押したあと、◀か▶を押して [⚡] を選び、  
FUNC SETを押します。
- ▶設定されると [⚡] が表示されます。

### スローシンクロで撮る

人などの主被写体は、ストロボが発光することで明るく撮影され、ストロボの光が届かない背景は、シャッター速度を遅くすることで暗くなるのを軽減することができます。

なお、ストロボ撮影できる範囲は「ストロボ調光範囲」(p.38)を参照してください。



#### 1 設定する

- ▶を押したあと、◀か▶を押して [⚡☆] を選び、  
FUNC SETを押します。
- ▶設定されると [⚡☆] が表示されます。

#### 2 撮影する

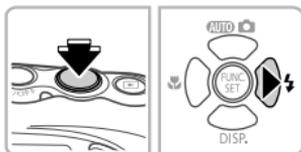
- ストロボが光っても、シャッター音が鳴り終わるまでは主被写体が動かないようにしてください。

- ❗ ● 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正]を[切]にして撮影することをおすすめします (p.124)。

## FEロックで撮る

ストロボ撮影時の露出を、AEロック撮影 (p.107) と同様に固定できます。

### 1 [⚡] にする (p.122)



### 2 ストロボ露出を固定する

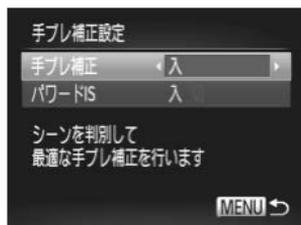
- 露出を固定したい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押ししたまま、▶を押します。
- ▶ ストロボが発光し、[FEL] が表示され、ストロボ発光量が記憶されます。
- シャッターボタンから指を離してもう一度 ▶ を押し、[FEL] が消え解除されます。

### 3 構図を決めて撮影する



- FEは、Flash Exposure (フラッシュエクスポージャー) の略です。

## 手ブレ補正の設定を変える



### 1 設定画面を表示する

- MENU ボタンを押して、[📷] タブの [手ブレ補正設定] を選びます (p.46)。

### 2 設定する

- [手ブレ補正] を選んでから、目的の項目を選びます (p.46)。

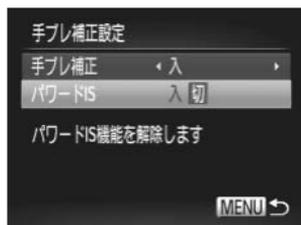
入	撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定 (マルチシーンIS) されます (p.66)。
撮影時*	撮影される瞬間のみ手ブレを補正します。
切	手ブレ補正を切ります。

\*動画を撮影するときは、[入] の設定に変わります。

- ❗ ● 手ブレを補正しきれないときは、三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[切] にすることをおすすめします。

## パワードIS 機能を切る

パワードISは、動画を望遠にして撮影するときのゆっくりとした手ブレを補正します。ただし、歩きながら撮影するときや被写体の動きにあわせてカメラを大きく動かしたときなどは、思いどおりの効果が得られないことがあります。そのようなときは、パワードISを [切] に設定します。



- 「手ブレ補正の設定を変える」 (p.124) の操作で [手ブレ補正設定] 画面を表示します。
- [パワードIS] を選んでから、[切] を選びます (p.46)。

- ❗ ● [手ブレ補正] が [切] のときは、[パワードIS] の設定は反映されません。

# 6

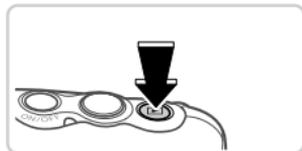
## 再生モード

撮った画像を見て楽しんだり、いろいろな機能を使って画像の検索や編集をする

- ▶ ボタンを押して、再生モードにしてから操作してください。
- ⓘ パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、再生や編集ができないことがあります。

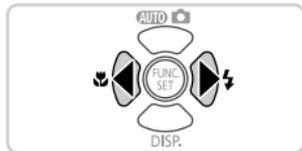
## 見る

撮影した画像を画面で見ることができます。



## 1 再生モードにする

- ボタンを押します。
- ▶ 最後に撮影した画像が表示されます。



## 2 画像を選ぶ

- ◀を押すと前の画像が表示され、▶を押すと次の画像が表示されます。



- ◀か▶を1秒以上押すと左の画面が表示されます (スクロール再生)。この状態で◀か▶を押して画像を選びます。
- を押すと1枚表示に戻ります。
- スクロール再生中に▲か▼を押すと、日付ごとにジャンプして画像を探せます。



- 動画では、[SET] が表示されます。動画を再生するときは手順3に進みます。



### 3 動画を再生する

- **FUNC SET** を押したあと、▲か▼を押して [▶] を選び、もう一度 **FUNC SET** を押すと再生がはじまります。

### 4 音量を調整する

- ▲か▼を押して調節します。



### 5 一時停止する

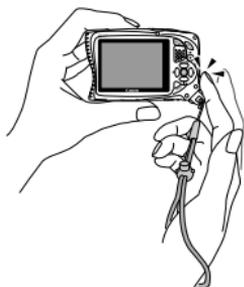
- **FUNC SET** を押すと一時停止し、動画操作パネルが表示されます。◀か▶を押して [▶] を選び、**FUNC SET** を押すと再開します。
- ▶ 再生が終わると [SET] が表示されます。



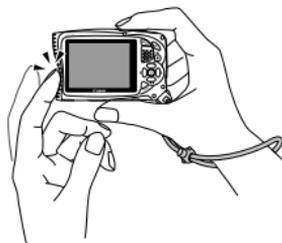
- 再生モードの状態ですらシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。
- スクロール再生を使わないようにするには、**MENU** ボタンを押して [▶] タブの [スクロール再生] を選び、[切] を選びます。
- 前回最後に見た画像から表示したいときは、**MENU** ボタンを押して [▶] タブの [再生開始位置] を選び、[前回の画像] を選びます。
- 画像を切り換えたときの効果を変えるには、**MENU** ボタンを押して [▶] タブの [再生効果] を選び、◀か▶を押して効果を選びます。

## アクティブ再生

画像を表示しているとき、下の図のようにカメラを指で軽くたたくと、画像を切り換えることができます。



次の画像に切り換える



前の画像に切り換える



- 必ずストラップに手首を通した状態で、カメラを落とさないようしっかり持ってください。
- たたき方によっては画像が切り換わらないことがあります。



- MENU** ボタンを押して [▶] タブの [スクロール再生] を [切] にして、p.126 の手順2の操作で画像を選ぶときは、◀を押したままカメラを傾けると画像が速く切り換わります。なお、表示される画像は粗くなります。
- アクティブ再生を使わないときは、**MENU** ボタンを押して [▶] タブの [アクティブ再生] を選び、[切] を選びます (p.46)。

静止画

動画

## 表示を切り換える

画面表示は、▼を押して切り換えます。画面に表示される情報の詳細については、p.204を参照してください。



※ 動画では表示されません。

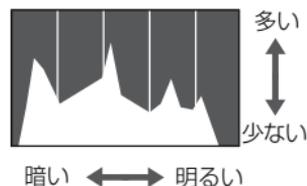


- 撮影直後の画面表示も、▼を押して切り換えられます。ただし、簡易情報表示にはなりません。最初に表示される画面は、MENUボタンを押して [カメラ] タブの [レビュー情報] で変えられます (p.82)。

## ■ 高輝度（ハイライト）警告

「詳細情報表示」にすると、画像上の白トビした部分が点滅表示されます。

## ■ ヒストグラム



- 「詳細情報表示」(p.206) のグラフは、画像中の明るさの分布を示したヒストグラムというグラフです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの量を示していて、露出の傾向を確認できます。

## ■ GPS情報表示



- 「詳細情報表示」の状態では▲を押すと、[GPS] を [入] にして撮影した静止画や動画に記録 (p.53) されている、測位したカメラの位置 (緯度/経度/標高) や撮影日時を確認することができます。表示内容は上から順に緯度、経度、標高、UTC です。
- もう一度▲を押すと「詳細情報表示」に戻ります。

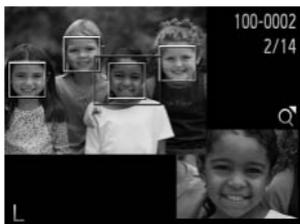
❗ GPS衛星からの信号が受信できないときや正しく測位できなかった項目の数値には [---] が表示されます。



● [UTC] は Coordinated Universal Time の略で、協定世界時であるグリニッジ標準時とほぼ同じ日時です。

## ピント位置を確認する（フォーカスチェッカー）

撮影時にピント合わせをしたAFフレームの位置を、拡大表示することができます。



### 1 ピント位置確認表示にする

- ▼を押します (p.129)。
- ▶ ピント合わせを行ったAFフレームの位置に、白のフレームが表示されます。
- ▶ 再生時に検出された顔の位置には、灰色のフレームが表示されます。
- ▶ オレンジ色のフレームの箇所が拡大表示されます。



### 2 拡大表示する箇所を変える

- ズームボタンのQ側を一度押します。
- ▶ 左の画面が表示されます。
- 複数のフレームが表示されているときは、を押すと別のフレームに移動します。

### 3 拡大率や表示位置を変える

- ズームボタンを押して表示倍率を変えたり、▲▼◀▶を押して表示位置を変えながら確認します。
- MENUボタンを押すと手順1に戻ります。

# 画像を探したり、特定の画像だけを見る

静止画

動画

## 一覧表示で画像を探す

複数の画像を一覧で表示して、目的の画像を素早く探せます。



### 1 一覧表示にする

- ズームボタンの  側を押すと一覧表示になり、さらに押すと表示される画像の数が増えます。
- ズームボタンの  側を押すごとに、表示される画像の数が減ります。



### 2 画像を選ぶ

-  を押して画像を選びます。
- ▶ 選ばれている画像にはオレンジ色の枠が表示されます。
-  を押すと選ばれている画像が1枚表示になります。

静止画

動画

## 条件で検索した画像を表示する

カード内に多くの画像があるときは、条件を指定して表示する画像を検索することができます。この状態で画像をまとめて保護したり (p.138)、消したり (p.142) することができます。

★ お気に入り	お気に入り設定した画像 (p.146) を表示
📅 日付	指定した撮影日の画像を表示
📁 マイカテゴリー	指定したカテゴリーの画像 (p.147) を表示
📷 静止画/動画	静止画、動画、[  ] モードで作成された動画のいずれかを表示



## 1 検索条件を選ぶ

- **[FUNC SET]** を押して、メニュー項目の **[人]** を選び、条件を選びます (p.45)。



## 2 検索した画像を見る

- **▲▼◀▶** を押して表示する対象を選び、**[FUNC SET]** を押します (**[★]** のときを除く)。
- 検索した画像が再生され、黄色の枠が表示されます。
- **◀▶** を押すと選んだ対象の画像のみが表示されます。
- 手順1で **[人]** を選ぶと検索した画像の再生が解除されます。

- !** ● 目的の条件と一致する画像がないときは、検索条件は選べないことがあります。



- 検索した画像を再生の状態 (手順2) で、「一覧表示で画像を探す」(p.132)、「拡大して見る」(p.135)、「スライドショーで見る」(p.135) などで、検索した画像を見ることができます。また、「保護する」(p.138)、「まとめて消す」(p.142)、「印刷指定 (DPOF)」(p.188)、「フォトブック指定」(p.192) で「検索したすべての画像」を指定すると、検索した画像をまとめて操作することができます。
- カテゴリを変えたり (p.147)、画像を編集して新規保存 (p.150~154) などを行うとメッセージが表示され、検索した画像の再生が解除されます。

## ムービーダイジェストモードで作成された動画を見る

[] モード (p.96) で作成された動画を、日付で選んで見ることができます。



### 1 再生する動画を選ぶ

-  を押して、メニュー項目の [ムービーダイジェスト再生] を選び、目的の日付を選びます (p.45)。

### 2 再生する

-  を押すと、動画が再生されます。

## 拡大して見る



### 1 拡大する

- ズームボタンのQ側を押すと拡大表示になり、押し続けると最大約10倍まで拡大できます。
- ズームボタンの  側を押すと縮小表示になり、押し続けると1枚表示に戻ります。



表示位置の目安

### 2 表示位置を移動したり、画像を切り換える

- ▲▼◀▶を押すと、表示位置が移動します。
- [SET]  が表示されている状態で  を押すと [SET]  表示に切り換わり、◀か▶を押すと拡大したまま画像を切り換えられます。もう一度  を押すともとに戻ります。



- 拡大表示のときにMENUボタンを押すと、1枚表示に戻すことができます。
- 拡大表示のときにカメラを指で軽くたたいて (p.128)、画像を切り換えることもできます。

## スライドショーで見る

カードに記録されている画像を自動的に再生します。画像1枚あたりの表示時間は約3秒です。



### 効果を選んでスライドショーをはじめ

-  を押して、メニュー項目の [  ] を選び、目的の項目を選びます (p.45)。
- ▶ [画像読み込み中] が数秒間表示されたあと、スライドショーがはじまります。
- MENUボタンを押すと終わります。

- ❗ スライドショー中に節電機能 (p.42) は働きません。



- 再生中に  を押すと一時停止／再開ができます。
- 再生中に  か  を押すと画像を切り換えられ、 か  を押したままにすると早送りできます。
- 検索 (p.132) しているときは、対象の画像のみが再生されます。

## ■ 設定を変える

スライドショーの繰り返しや再生画像1枚あたりの表示時間、切り換わるときの効果を変えられます。画像を切り換えたときの効果 (再生効果) は6種類から選べます。

### 1 設定画面を表示する

- MENU ボタンを押して、 タブの [スライドショー] を選びます (p.46)。

### 2 設定する

- 設定するメニュー項目を選び、目的の項目を選びます (p.46)。
- [スタート] を選んで  を押すと、設定した内容でスライドショーがはじまります。
- MENU ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

- ❗ [効果] で [バブル] を選んだときは、[再生間隔] は変えられません。

## いろいろな画像を表示する（連想再生）

表示している画像をもとに、4つの画像をカメラが選んで表示します。その中から1つ選ぶとさらに4つの画像が表示されるので、思いがけない順番の再生が楽しめます。いろいろなシーンの画像をたくさん撮ったあとなどにおすすめです。



### 1 連想再生にする

- **FUNC SET** を押して、メニュー項目の [連想再生] を選びます (p.45)。
- ▶ 4枚の画像が候補として表示されます。



### 2 画像を選ぶ

- **▲▼◀▶** を押して次に見たい画像を選びます。
- ▶ 選んだ画像が画面中央に表示され、次の4枚の候補が表示されます。
- **FUNC SET** を押すと画面中央の画像が画面いっぱいに表示されます。もう一度 **FUNC SET** を押すともとの表示に戻ります。
- **MENU** ボタンを押すと1枚表示に戻ります。



- このカメラで撮影した静止画だけが連想再生の対象になります。
- 次のときは連想再生を使えません。
  - このカメラで撮影した静止画が50枚に満たないとき
  - 対象の画像以外を表示しているとき
  - 画像を検索しているとき (p.132)

## 保護する

大切な画像をカメラの消去機能 (p.142) で誤って消さないよう、保護することができます。

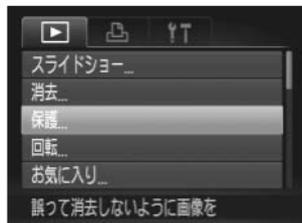


- **FUNC SET** を押して、メニュー項目の **[ON]** を選ぶ (p.45) と、[保護しました] が表示されます。
- 解除するときは、上記の操作でもう一度 **[ON]** を選び、**FUNC SET** を押します。

❗ ● カードを初期化 (p.161、162) すると、保護された画像も消えます。

 ● 保護された画像は、カメラの消去機能では消えません。画像を消すときは、保護を解除してください。

## メニューから操作する



### 1 設定画面を表示する

- **MENU** ボタンを押して、**[▶]** タブの [保護] を選びます (p.46)。



### 2 指定方法を選ぶ

- 目的のメニュー項目を選び、目的の項目を選びます (p.46)。
- **MENU** ボタンを押すとメニュー画面に戻りません。

## 1枚ずつ指定する

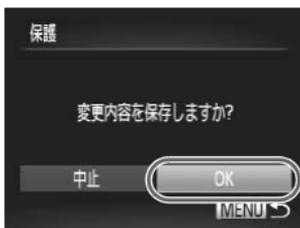
### 1 [画像指定] を選ぶ

- p.138の手順2の操作で [画像指定] を選び、を押します。



### 2 画像を選び指定する

- ◀か▶を押して画像を選び、を押すと [OK] が表示されます。
- もう一度 を押すと [OK] が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。



### 3 保護する

- **MENU** ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- ◀か▶を押して [OK] を選び、を押します。

-  ● 手順3の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、保護されません。

## 範囲で指定する

### 1 [範囲で指定] を選ぶ

- p.138の手順2の操作で [範囲で指定] を選び、**FUNC SET**を押します。

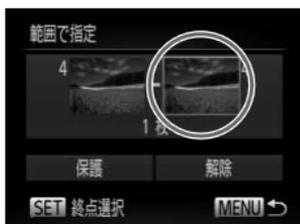


### 2 始点の画像を指定する

- **FUNC SET**を押します。



- ◀▶を押して画像を選び、**FUNC SET**を押します。



### 3 終点の画像を指定する

- ▶を押して [終点選択] にし、**FUNC SET**を押します。



- ◀▶を押して画像を選び、**FUNC SET**を押します。
- 始点より前の画像は選べません。



## 4 保護する

- ▼を押して [保護] を選び、**FUNC SET**を押します。

## すべての画像を指定する

### 1 [すべての画像を指定] を選ぶ

- p.138の手順2の操作で [すべての画像を指定] を選び、**FUNC SET**を押します。



### 2 保護する

- ▲か▼を押して [保護] を選び、**FUNC SET**を押します。



- 「範囲で指定する」の手順4、「すべての画像を指定する」の手順2で [解除] を選ぶと、選んだ画像の保護をまとめて解除することができます。

# 消す

不要な画像を1枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。

## 1 消したい画像を選ぶ

- ◀か▶を押して画像を選びます。



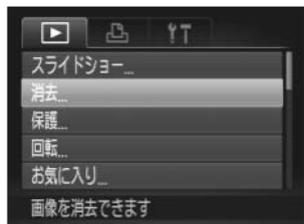
## 2 消す

- **FUNC/SET**を押して、メニュー項目の [⏏] を選びます (p.45)。
- [消去しますか?] が表示されたら、◀か▶を押して [消去] を選び、**FUNC/SET**を押します。
- ▶ 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、◀か▶を押して [キャンセル] を選び、**FUNC/SET**を押します。

## まとめて消す

画像を選んでまとめて消すことができます。消した画像は復元できないので、十分に確認してから消してください。保護された画像 (p.138) は消えません。

### 指定方法を選ぶ



## 1 設定画面を表示する

- **MENU** ボタンを押して、[▶] タブの [消去] を選びます (p.46)。



## 2 指定方法を選ぶ

- 目的のメニュー項目を選び、目的の項目を選びます (p.46)。
- ▲か▼を押して指定方法を選び、**FUNC/SET**を押します。
- **MENU** ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

## 1枚ずつ指定する

### 1 [画像指定] を選ぶ

- p.142の手順2の操作で [画像指定] を選び、**FUNC SET**を押します。



### 2 画像を選ぶ

- p.139の手順2の操作で画像を選ぶと、[✓]が表示されます。
- もう一度**FUNC SET**を押すと [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。

### 3 消す

- **MENU** ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- ◀か▶を押して [OK] を選び、**FUNC SET**を押します。



## 範囲で指定する

### 1 [範囲で指定] を選ぶ

- p.142の手順2の操作で [範囲で指定] を選び、**FUNC SET**を押します。

### 2 画像を指定する

- p.140の手順2～3の操作で指定します。

### 3 消す

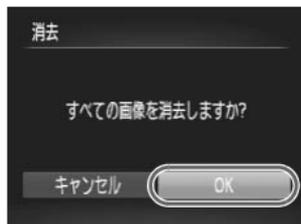
- ▼を押して [消去] を選び、**FUNC SET**を押します。



## すべての画像を指定する

### 1 [すべての画像を指定] を選ぶ

- p.142 の手順2の操作で [すべての画像を指定] を選び、**FUNC SET** を押します。



### 2 消す

- ◀か▶を押して [OK] を選び、**FUNC SET** を押します。

静止画

動画

## 回転する

画像の向きを変えて保存することができます。



### 1 [回転] を選ぶ

- **FUNC SET** を押して、メニュー項目の [回転] を選びます (p.45)。



### 2 回転する

- ◀か▶を押すと指定した方向に90度単位で回転し、**FUNC SET** を押すと設定されます。

## メニューから操作する



### 1 [回転] を選ぶ

- MENUボタンを押して、[▶] タブの [回転] を選びます (p.46)。



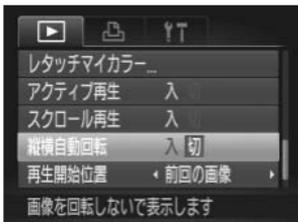
### 2 回転する

- ◀か▶を押して画像を選びます。
- FUNC SET を押すたびに90度単位で回転します。
- MENU ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

- ❗
- 画質が [1920] [1280] の動画は回転できません。
  - [縦横自動回転] が [切] のときは回転できません (p.145)。

## 自動回転機能を切る

縦位置で撮影した画像をカメラで見るときは、自動回転して縦位置で表示されます。この機能を使わないようにできます。



- MENU ボタンを押して、[▶] タブの [縦横自動回転] を選び、項目の [切] を選びます (p.46)。

- ❗
- [切] にすると、画像の回転 (p.144) はできません。また、すでに回転させていた画像も、もとの向きで表示されます。
  - 連想再生 (p.137) では、[切] に設定しても、縦位置で撮影された画像は縦位置で、撮影後に回転させた画像は回転した状態で表示されます。

## 分類する

お気に入りやマイカテゴリー (p.147) を設定して、撮影した画像を分類できます。設定した画像だけを検索して、次の操作をすることができます。

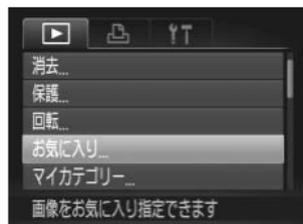
- 見る (p.126)、スライドショーで見る (p.135)、保護する (p.138)、消す (p.142)、印刷指定 (DPOF) (p.188)、フォトブック指定 (p.192)

### お気に入り設定をする



- **FUNC SET** を押して、メニュー項目の [★] を選びます (p.45)。
- ▶ [お気に入り指定しました] が表示されます。
- 解除するときには、上記の操作でもう一度 [★] を選び、**FUNC SET** を押します。

### メニューから操作する



#### 1 【お気に入り】を選ぶ

- **MENU** ボタンを押して、**[▶]** タブの [お気に入り] を選びます (p.46)。

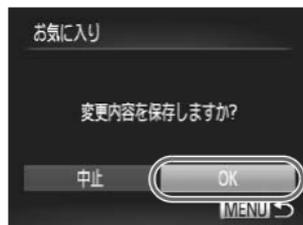


#### 2 画像を選ぶ

- ◀か▶を押して画像を選び、**FUNC SET** を押すと [**★**] が表示されます。
- もう一度 **FUNC SET** を押すと [**★**] が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。

#### 3 設定する

- **MENU** ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- ◀か▶を押して [OK] を選び、**FUNC SET** を押します。



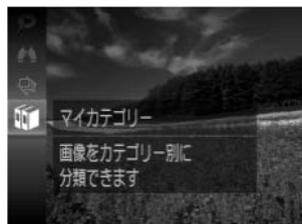
- ❗ 手順3の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、お気に入り設定されません。

-  Windows 7またはWindows Vistaをお使いのときは、お気に入り設定した画像をパソコンに取り込むと、評価が3(★★★☆☆)に設定されます(動画を除く)。

## 画像を分類する(マイカテゴリー)

画像を種類別に分類できます。なお、撮影時には、シーンに応じて自動で分類されます。

-  : 顔が検出された画像、または [Fn] モードで撮影した画像
-  : **AUTO** モード時に [Fn] [Fn] [Fn] と判別された画像、または [Fn] モードで撮影した画像
-  : [Fn] [Fn] [Fn] [Fn] モードで撮影した画像



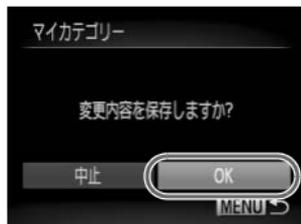
### 1 カテゴリーを選ぶ

-  を押して、メニュー項目の  を選びます (p.45)。



### 2 画像を選び指定する

- ◀か▶を押して画像を選び、▲か▼を押してカテゴリーを選び、 を押すと [✓] が表示されます。
- もう一度  を押すと [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。

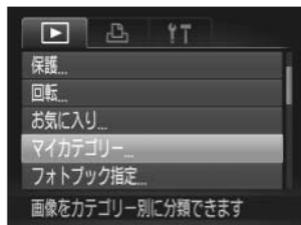


### 3 設定する

- **MENU** ボタンを押すと確認画面が表示されま  
す。
- ◀か▶を押して [OK] を選び、**FUNC SET** を押します。

❗ 手順3の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、マイカテゴリーが設定されません。

## メニューから操作する



### 1 設定画面を表示する

- **MENU** ボタンを押して、**[▶]** タブの [マイ  
カテゴリー] を選びます (p.46)。



### 2 指定方法を選ぶ

- 目的のメニュー項目を選び、目的の項目を選  
びます (p.46)。
- **MENU** ボタンを押すとメニュー画面に戻りま  
す。

## 1枚ずつ指定する

### 1 [画像指定] を選ぶ

- p.138の手順2の操作で [画像指定] を選び、  
**FUNC SET** を押します。

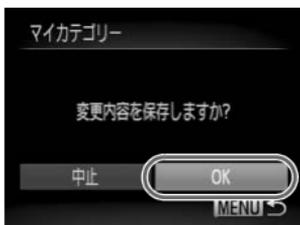
### 2 画像を選ぶ

- ◀か▶を押して画像を選びます。



### 3 カテゴリーを選ぶ

- ▲か▼を押してカテゴリーを選び、**FUNC SET**を押すと [✓] が表示されます。
- もう一度 **FUNC SET** を押すと [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。



### 4 設定する

- **MENU** ボタンを押すと確認画面が表示され、◀か▶を押して [OK] を選び、**FUNC SET** を押します。

❗ 手順4の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、マイカテゴリーが設定されません。

## ■ 範囲で指定する

### 1 [範囲で指定] を選ぶ

- p.148の手順2の操作で [範囲で指定] を選び、**FUNC SET** を押します。

### 2 画像を指定する

- p.140の手順2～3の操作で指定します。



### 3 カテゴリーを選ぶ

- ▼を押して種類の項目を選び、◀か▶を押してカテゴリーを選びます。

### 4 設定する

- ▼を押して [設定] を選び、**FUNC SET** を押します。



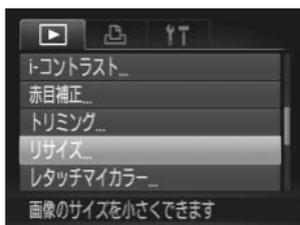
● 手順4で [解除] を選ぶと、[範囲で指定] した画像のカテゴリーを、まとめて解除することができます。

## 静止画を編集する

- ❗ 静止画の編集機能 (p.150~154) は、カードに空き容量がないと使えません。

### 画像を小さくする (リサイズ)

撮影した画像を小さな記録画素数にして、別画像として保存できます。



#### 1 [リサイズ] を選ぶ

- MENU ボタンを押して、 タブの [リサイズ] を選びます (p.46)。

#### 2 画像を選ぶ

- ◀か▶を押して画像を選び、 を押します。

#### 3 大きさを選ぶ

- ◀か▶を押して大きさを選び、 を押します。
- ▶ [新規保存しますか?] が表示されます。



#### 4 新規保存する

- ◀か▶を押して [OK] を選び、 を押します。
- ▶ 別画像として保存されます。



#### 5 画像を確認する

- MENU ボタンを押すと [保存した画像を表示します] が表示されます。
- ◀か▶を押して [はい] を選び、 を押します。
- ▶ 保存した画像が表示されます。

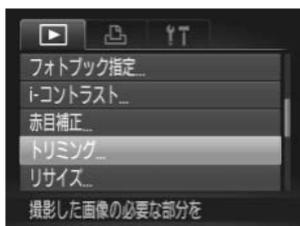


❗ 手順3で [XS] にした画像は、編集できません。

✎ 撮影した画像の記録画素数よりも大きくはできません。

## 画像を切り抜く (トリミング)

撮影した画像の必要な部分を切り抜き、別画像として保存できます。



### 1 [トリミング] を選ぶ

- MENU ボタンを押して、 タブの [トリミング] を選びます (p.46)。

### 2 画像を選ぶ

- ◀▶ を押して画像を選び、 を押します。

### 3 切り抜く範囲を調整する

- ▶ 画像を切り抜く範囲が枠で表示されます。
- ▶ 左上にもと画像、右下に切り抜き後の画像が表示されます。
- ズームボタンを押すと枠の大きさが変わります。
- ▲▼◀▶ を押すと枠の位置が移動できます。
- を押すと枠の縦横が変わります。
- MENU ボタンを押します。

切り抜き範囲



切り抜き範囲の表示

切り抜き後の記録画素数



### 4 新規保存して画像を確認する

- p.150の手順4~5の操作を行います。

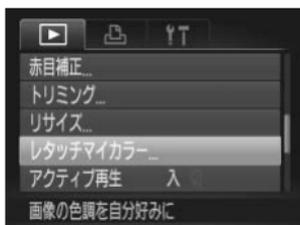
- ❗ 記録画素数が [ S ] の画像 (p.74) や、リサイズした [ XS ] の画像 (p.150) は、編集できません。



- トリミングできる画像の縦横比率は編集前と同じです。
- トリミングした画像の記録画素数は、トリミング前の画像より小さくなります。

## 画像の色調を変える (レタッチマイカラー)

画像の色調を変え、別画像として保存できます。各項目の内容はp.111を参照してください。



### 1 [レタッチマイカラー] を選ぶ

- MENUボタンを押して、[▶] タブの [レタッチマイカラー] を選びます (p.46)。

### 2 画像を選ぶ

- ◀か▶を押して画像を選び、を押します。



### 3 項目を選ぶ

- ◀か▶を押して項目を選び、を押します。

### 4 新規保存して画像を確認する

- p.150の手順4~5の操作を行います。

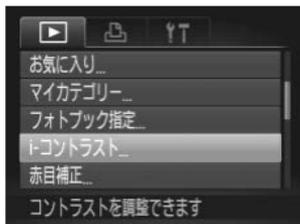
- ❗ 同じ画像に対して色調を繰り返し変えると、画質が徐々に低下したり、思いどおりの色にならないことがあります。



- 撮影時のマイカラー (p.111) と色調が若干異なることがあります。

## 明るさを補正する (i-コントラスト)

人の顔や背景など、一部が暗く撮影された画像は、その部分を検出し、最適な明るさに自動補正します。また、画像全体で明暗差が小さい画像は、くっきりした印象となるように自動補正します。補正方法は4種類から選べ、別画像として保存できます。



### 1 [i-コントラスト] を選ぶ

- MENUボタンを押して、[▶] タブの [i-コントラスト] を選びます (p.46)。

### 2 画像を選ぶ

- ◀か▶を押して画像を選び、を押します。

### 3 項目を選ぶ

- ◀か▶を押して項目を選び、を押します。

### 4 新規保存して画像を確認する

- p.150の手順4~5の操作を行います。



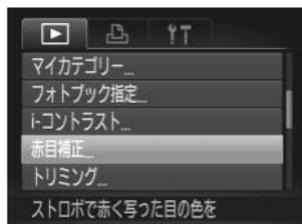
- 画像によっては、画像が粗くなったり、正しく補正されないことがあります。
- 同じ画像に対して補正を繰り返すと、画像が粗くなる場合があります。



- [自動] で思いどおりに補正されないときは、[弱] [中] [強] のいずれかを選んで補正します。

## 赤目を補正する

目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正して、別画像として保存できます。



### 1 [赤目補正] を選ぶ

- MENU ボタンを押して、 タブの [赤目補正] を選びます (p.46)。

### 2 画像を選ぶ

- ◀▶ を押して画像を選びます。

### 3 補正する

- を押します。
- ▶ 検出された赤目部分が補正され、補正した部分に枠が表示されます。
- 「拡大して見る」 (p.135) の操作で画像を拡大／縮小できます。



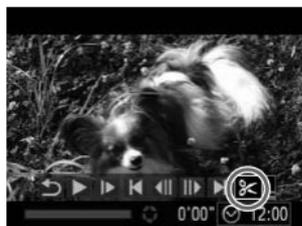
### 4 新規保存して画像を確認する

- ▲▼▶ を押して [新規保存] を選び、 を押します。
- ▶ 別画像として保存されます。
- p.150の手順5の操作を行います。

- ❗ 画像によっては、正しく補正されないことがあります。
- 手順4で [上書き保存] を選んだときは、補正内容で上書きされるため、補正前の画像は残りません。
- 保護されている画像は上書き保存できません。

## 動画を編集する

撮影した動画の前後を削除できます。



動画編集パネル



動画編集バー

### 1 [✂] を選ぶ

- p.126～127の手順1～5の操作で [✂] を選び、**FUNC SET** を押します。
- ▶ 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。

### 2 編集範囲を指定する

- ▲か▼を押して [⏪] または [⏩] を選びます。
- ◀か▶を押して [⇅] を動かすと、編集できるところで [✂] が表示されます。[⏪] を選ぶと [✂] 位置より前部、[⏩] を選ぶと後部が削除されます。
- [⇅] を [✂] 以外の位置に指定しても、[⏪] では1つ左側の [✂] 位置よりも前部、[⏩] では1つ右側の [✂] 位置よりも後部が削除されます。

### 3 編集した動画を確認する

- ▲か▼を押して [▶] を選び、**FUNC SET** を押すと、編集した動画が再生されます。
- もう一度編集するときは手順2の操作を行います。
- 編集を中止するときは、▲か▼を押して [⏪] を選び **FUNC SET** を押したあと、◀か▶を押して [OK] を選び、もう一度 **FUNC SET** を押します。



#### 4 編集した動画を保存する

- ▲か▼を押して [ ] を選び、**FUNC SET** を押します。
- ◀か▶を押して [新規保存] を選び、**FUNC SET** を押します。
- ▶ 別動画として保存されます。

- ❗ 手順4で [上書き保存] を選んだときは、編集内容が上書きされるため、編集前の動画は残りません。
- カードの空き容量が足りないときは、[上書き保存]しか選べません。
- 動画の保存中にバッテリーがなくなると、保存できないことがあります。
- 編集するときは、フル充電されたバッテリーかACアダプターキット（別売）(p.169) を使うことをおすすめします。

# 7

## 設定メニュー

- カメラの基本機能を変えて使いやすくする

## カメラの基本機能を変える

メニューの [Y/T] タブで設定します。ふだん使う上での便利な機能を自分好みに設定することができます (p.46)。

### 音を鳴らさない

カメラの各種動作音や動画再生時の音声を鳴らさないようにできます。



- [消音] を選び、[する] を選びます。



- ▼を押したまま電源を入れても、音を鳴らさないようにできます。
- 音を鳴らさないようにしたときは、動画を再生したとき (p.126) の音声も鳴らなくなります。動画再生中に▲を押すと音声は鳴り、▲か▼を押すと音量を調整できます。

### 音量を変える

カメラの各種動作音の音量を変えられます。



- [音量] を選び、**(FUNC-SET)** を押します。
- 項目を選び、◀か▶を押して音量を変えます。

## 音を変える

カメラの各種動作音を変えられます。



- [音の選択] を選び、**FUNC/SET** を押します。
- 項目を選び、**◀か▶** を押して内容を選びます。

- |   |   |
|---|---|
| 1 | オリジナルの音に登録されています。<br>音は変えられません。           |
| 2 | オリジナルの音に登録されています。<br>付属のソフトウェアを使って変えられます。 |

## 機能の説明を表示しない

FUNC.メニュー (p.45) やメニュー (p.46) で項目を選ぶと、機能の説明が表示されます。この説明を表示しないようにすることができます。



- [機能ガイド] を選び、[切] を選びます。

## 画面の明るさを変える

画面の明るさを変えられます。



- [液晶の明るさ] を選び、◀か▶を押して明るさを変えます。



- 撮影画面や再生モードで1枚表示のときに▼を1秒以上押したままにすると、画面が最高の明るさになります ([↑↑] タブの [液晶の明るさ] 設定は無効になります)。もう一度▼を1秒以上押したままにするか、電源を入れなおすと、もとの明るさに戻ります。

## 起動画面を変える

電源を入れたときに表示される起動画面を変えられます。



- [起動画面] を選び、(FUNC SET)を押します。
- ◀か▶を押して内容を選びます。

[Off]	起動画面は表示されません。
1	オリジナルの画像が登録されています。画像は変えられません。
2	オリジナルの画像が登録されています。撮影した画像を登録したり、付属のソフトウェアを使って変えることができます。

## 撮影した画像を起動画面にする



### 1 再生モードで [起動画面] 画面を表示する

- [▶] ボタンを押します。
- 上記の手順で [2] を選び、(FUNC SET)を押します。



## 2 画像を選んで登録する

- 画像を選んで **FUNC SET** を押すと「登録しますか?」が表示されるので、◀か▶を押して [OK] を選び、**FUNC SET** を押します。

❗ ● 起動画面を登録すると、以前の登録内容は消えます。



- 付属のソフトウェアに用意されている専用の各種動作音や起動画面を、カメラに登録することができます。また、CANON iMAGE GATEWAYからダウンロードした専用の各種動作音や起動画面を、カメラに登録することもできます。詳しくは「ImageBrowser EX ガイド」(p.28)を参照してください。

## カードを初期化する

新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）することをおすすめします。

初期化するとカード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから初期化をしてください。

また、Eye-Fiカード (p.194) では、初期化する前にカード内のソフトウェアをパソコンにインストールしてください。

### カードの初期化

カードを初期化しますか?

7.5GB

32KB 使用

物理フォーマット

キャンセル

OK

## 1 [カードの初期化] 画面を表示する

- [カードの初期化] を選び、**FUNC SET** を押します。

## 2 [OK] を選ぶ

- ◀か▶を押して [OK] を選び、**FUNC SET** を押します。

### カードの初期化

カードに保存されている  
すべてのデータが消去されます

OK

キャンセル

## 3 初期化する

- ▲か▼を押して [OK] を選び、**FUNC SET** を押すと初期化が始まります。
- 初期化が終わると「カードの初期化が完了しました」が表示されるので、**FUNC SET** を押します。

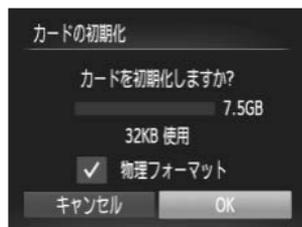
- カード内のデータは、初期化や消去をしてもファイル管理情報が変わるだけで、完全には消えません。カードを譲渡や廃棄するときは注意してください。廃棄するときはカードを破壊するなどして、個人情報流出を防いでください。



- 初期化の画面で表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量よりも少なくなることがあります。

## ■ カードを物理フォーマット（初期化）する

[カードが異常です] のメッセージが表示されたとき、カメラが正しく動作しない、カードへの画像記録／再生時の読み出しや連続撮影速度が遅くなった、動画撮影が途中で止まるなどのときに行います。物理フォーマットをすると、カード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから物理フォーマットをしてください。



### 物理フォーマットする

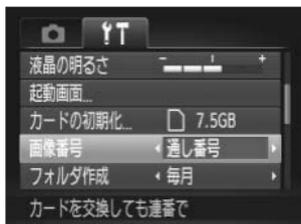
- p.161の手順2の画面で、▲か▼を押して[物理フォーマット]を選び、◀か▶を押して[✓]を表示します。
- ▲▼◀▶を押して [OK] を選び、 を押したあと、p.161の手順3の操作で、初期化（物理フォーマット）します。



- 物理フォーマットはカード内の全記憶領域を初期化するため、「カードを初期化する」(p.161) よりも時間がかかります。
- 物理フォーマット中に [中止] を選ぶと、初期化を中止できます。中止してもデータはすべて消去されますが、カードは問題なく使えます。

## 画像番号のつけかたを変える

撮影した画像には、撮影した順に0001～9999の番号がつけられ、1つのフォルダに2000枚ずつ保存されます。この画像番号のつけかたを変えることができます。



- [画像番号] を選び、内容を選びます。

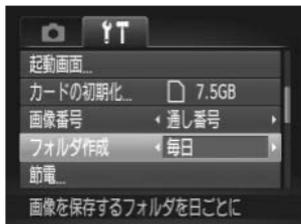
通し番号	画像番号9999の画像が撮影／保存されるまでは、カードを変えて撮影しても連番になります。
オートリセット	カードを変えたり、フォルダが新しく作られたときは、画像番号が0001に戻ります。



- [通し番号] [オートリセット] とともに、変えるカードに画像が入っているときは、その画像番号の続き番号になることがあります。画像番号0001の画像から順に保存したいときは、初期化 (p.161) したカードをお使いください。
- フォルダ構造や保存される画像については、「ImageBrowser EX ガイド」(p.28) を参照してください。

## フォルダを撮影日ごとに作る

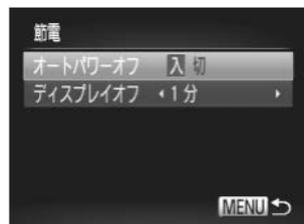
撮影した画像を保存するフォルダは月ごとに作成されますが、撮影日ごとに作成することもできます。



- [フォルダ作成] を選び、[毎日] を選びます。
- ▶ 撮影日ごとに新しいフォルダが作られ、撮影した画像が保存されます。

## 節電機能（オートパワーオフ）の設定を変える

節電機能（オートパワーオフ）を切ったり、画面が消えるまでの時間（ディスプレイオフ）を変えたりできます（p.42）。



### 1 【節電】 画面を表示する

- 【節電】 を選び、**FUNC SET** を押します。

### 2 設定する

- 項目を選んだあと、**◀か▶** を押して設定を変えます。



- バッテリーの消費を防ぐため、通常は、[オートパワーオフ] を [入] にし、[ディスプレイオフ] を [1分] 以下にすることをおすすめします。



- [ディスプレイオフ] は、[オートパワーオフ] が [切] のときも働きます。

## 世界時計を使う

海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先（旅行先）のエリアを登録しておく、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付／時刻を設定しなおす必要がなく便利です。

なお、世界時計を使うには、あらかじめ「日付／時刻を設定する」（p.19）で日付／時刻と自宅エリアを設定してください。



### 1 訪問先のエリアを設定する

- [エリア設定] を選び、**FUNC SET** を押します。
- **▲か▼** を押して [**✖** 訪問先] を選び、**FUNC SET** を押します。
- **◀か▶** を押して訪問先エリアを選びます。
- **▲か▼** を押して [**☀**] にすると、サマータイム（1時間プラスされます）に設定されます。
- **FUNC SET** を押します。



## 2 訪問先のエリアに切り換える

- ▲か▼を押して [訪問先] を選び、MENU ボタンを押します。
- ▶ 撮影画面 (p.204) に [訪問先] が表示されます。



- [訪問先] の状態で日付/時刻を変える (p.21) と、[自宅] の日時も自動的に変わります。

## 日付/時刻を変える

日付/時刻を、現在の設定から変えられます。



### 1 [日付/時刻] 画面を表示する

- [日付/時刻] を選び、FUNC SET を押します。

### 2 設定する

- ◀か▶を押して項目を選び、▲か▼を押して設定します。

## 距離表示や標高表示の単位を変える

MFインジケータ (p.115)、ズームバー (p.61)、GPS機能を使って記録した測位結果の標高 (p.53) などの表示単位を、m/cmからft/in (フィート/インチ) に変えることができます。



- [距離/標高表示] を選び、[ft/in] を選びます。

## 表示言語を変える

画面に表示される言語を変えられます。



### 1 言語画面を表示する

- [言語] を選び、**FUNC SET** を押します。

### 2 設定する

- ▲▼◀▶ を押して言語を選び、**FUNC SET** を押します。



- 再生モードにして、**FUNC SET** を押したまま、すぐに**MENU**ボタンを押すことでも言語画面を表示できます。

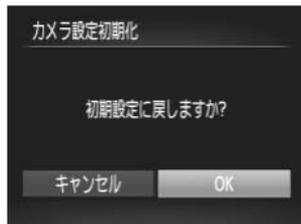
## その他の基本機能を変える

次の機能も [Y/T] タブで設定できます。

- [GPS設定] (p.52)
- [自動時刻あわせ] (p.57)
- [ビデオ出力方式] (p.175)
- [HDMI機器制御] (p.173)
- [Eye-Fi設定] (p.194)

## カメラの設定を初期状態に戻す

カメラの設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます。



### 1 [カメラ設定初期化] 画面を表示する

- [カメラ設定初期化] を選び、**FUNC SET** を押します。

### 2 初期状態に戻す

- ◀▶ を押して [OK] を選び、**FUNC SET** を押します。
- ▶ カメラが初期状態に戻ります。



- 次の機能は初期状態に戻りません。
  - [Y/T] タブの [日付/時刻] (p.21)、[言語] (p.22)、[音の選択] に登録した音 (p.159)、[起動画面] に登録した画像 (p.160)、[エリア設定] (p.164)、[ビデオ出力方式] (p.175)
  - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ (p.110)
  - ワンポイントカラー (p.93)、スイッチカラー (p.94) で指定した色
  - 撮影モード (p.83)
  - ログ機能で記録された位置情報や撮影日時 (p.53)

# 8

## アクセサリー

付属のアクセサリーを上手に使ったり、別売アクセサリーや市販の対応機器を使って楽しみかたを広げる

## 付属アクセサリーの上手な使いかた

### バッテリーとバッテリーチャージャーの上手な使いかた

- **充電は使う前日か当日にする**

充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって少しずつ残量が減っていきます。

充電したバッテリーは▲が見えるように、充電前のバッテリーは▲が隠れるようにカバーを取り付けると、充電状態を見分けることができます。



- **長期間保管する**

バッテリーを使い切ってカメラから取り出し、カバーをつけて保管してください。バッテリーを使い切らずに長期間（1年くらい）保管すると、バッテリー寿命を縮めたり、性能が劣化することがあります。

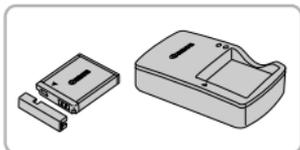
- **バッテリーチャージャーを海外で使う**

バッテリーチャージャーは、AC 100 - 240 V 50/60 Hzの地域で使えます。プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

## 別売アクセサリ

必要に応じてお買い求めの上、ご利用ください。なお、アクセサリは、諸事情により予告なく販売を終了することがあります。また、地域によってはお取り扱いがないことがあります。

### 電源

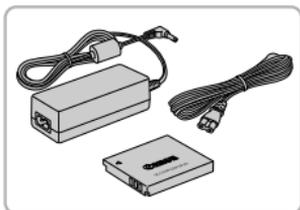


#### バッテリーパック NB-6L

- 充電式のリチウムイオン電池です。

#### バッテリーチャージャー CB-2LY

- バッテリーパック NB-6L用のバッテリーチャージャーです。



#### ACアダプターキット ACK-DC40

- 家庭用電源でカメラを使えます。カメラを長時間連続して使うときや、プリンターやパソコンとつなぐときには、このACアダプターキットをお使いになることをおすすめします（カメラ内のバッテリーは充電できません）。



- バッテリーチャージャーやACアダプターキットは、AC 100 - 240 V 50/60 Hzの地域で使えます。
- プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。なお、海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。



- ACアダプターキット ACK-DC40に付属のDCケーブルは使用しません。
- ACアダプターキット ACK-DC40の他に、ACK-DC10、ACK-DC30、ACK-DC60、ACK-DC70、ACK-DC80、ACK-DC90もお使いになれます。

### ストロボ



#### ハイパワーフラッシュ HF-DC2

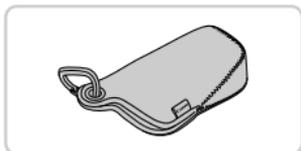
- 被写体が遠すぎて内蔵ストロボの光が届かないときに使う外付けストロボです。なお、HF-DC1もお使いになれます。

## その他



### アクセサリキット AKT-DC2

- カメラを傷から守るケースや持ち運びに便利なストラップ、カメラを沈まないようにするフロートなど、多彩なアクセサリがセットになったアクセサリキットです。



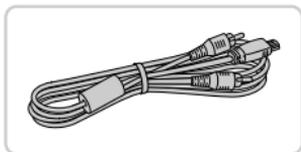
### ソフトケース SC-DC80

- カメラをキズやホコリから守ります。



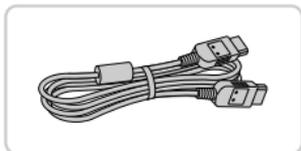
### ウォータープルーフケース WP-DC45

- カメラに取り付けると、雨天時や海辺、スキー場での撮影のほか、水深40 m以内での水中撮影を楽しめます。



### AVケーブル AVC-DC400

- 撮影した画像をテレビに表示して楽しめます。



### HDMIケーブル HTC-100

- カメラとハイビジョンテレビのHDMI端子をつなぐケーブルです。

## プリンター



SELPHY  
シリーズ



PIXUS  
シリーズ

### キヤノン製PictBridge対応プリンター

- キヤノン製のPictBridge対応プリンターをつなぐと、パソコンを使わずに、撮影した画像を印刷できます。

製品の詳細については、ホームページやカタログでご確認いただくか、お客様相談センターへお問い合わせください。

## テレビで見る

カメラとテレビをつなぐと、撮影した画像をテレビで見ることができます。なお、お使いになるテレビとのつなぎかたや入力の切り換えかたについては、テレビの使用説明書を参照してください。

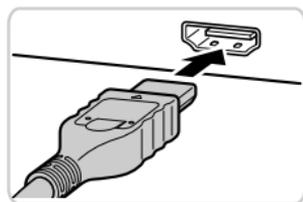


- テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことがあります (p.206)。

## HD (ハイビジョン) 対応テレビで見る

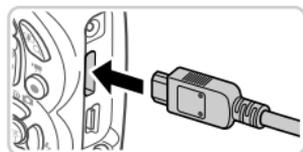
HDMIケーブル HTC-100 (別売) でカメラとHD対応テレビをつないでカメラを操作すると、撮影した画像をテレビで見ることができます。また、[F1920] や [F1280] で撮影した動画はハイビジョン画質で見ることができます。

### 1 カメラとテレビの電源を切る



### 2 カメラとテレビをつなぐ

- ケーブルのプラグを、図のようにテレビの HDMI入力端子へしっかりと差し込みます。



- ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラの端子へしっかりと差し込みます。

### 3 画像を表示する

- p.174～175の手順3～4の操作で画像を表示します。



- 付属のインターフェースケーブルやAVケーブル (別売) と、HDMIケーブル HTC-100は、カメラへ一緒に差し込めません。無理に差し込むと故障の原因になることがあります。



- HD対応テレビにつないだときは、操作音は鳴りません。

## ■ テレビのリモコンで操作する

HDMI機器制御機能（HDMI CEC）対応のテレビとカメラをつなぐと、テレビのリモコンで画像の切り換えや、スライドショーなどの操作ができます。テレビによっては、テレビ側の設定が必要です。詳しくは、テレビの使用説明書を参照してください。



### 1 設定する

- MENUボタンを押して、[**Y/T**] タブの [HDMI機器制御] を選び、[入] を選びます (p.46)。

### 2 テレビとカメラをつなぐ

- p.172の手順1～2の操作でテレビとカメラをつなぎます。

### 3 画像を表示する

- テレビの電源を入れ、カメラの **▶** ボタンを押します。
- ▶ 画像がテレビに表示されます（カメラの画面には何も表示されません）。

### 4 テレビのリモコンで操作する

- リモコンの **◀** **▶** で画像を選びます。
- 決定ボタンを押すとテレビに操作パネルが表示されます。**◀** **▶** で項目を選び、もう一度決定ボタンを押します。

## テレビに表示される操作パネル一覧

 戻る	メニューが消えます。
 動画再生	動画を再生します（動画を選んでいるときのみ表示）。
 スライドショー	画像を自動的に再生します。再生中にリモコンの◀▶を押すと画像を切り換えられます。
 インデックス表示	画像を一覧で表示します。
DISP. 情報表示切り換え	画面の表示を切り換えます（p.44）。

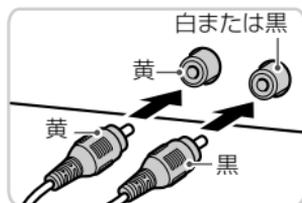


- カメラの**MENU**ボタンを押すなど、カメラを操作して表示を変えたときは、テレビのリモコンでの操作ができなくなります。カメラで1枚表示に戻してからリモコンで操作してください。
- HDMI機器制御機能（HDMI CEC）に対応したテレビであっても、正しく動作しないことがあります。

## HD（ハイビジョン）非対応テレビで見る

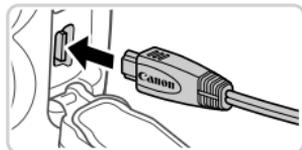
AVケーブル AVC-DC400（別売）でカメラとテレビをつないで、カメラを操作すると、撮影した画像をテレビで見ることができます。

### 1 カメラとテレビの電源を切る



### 2 カメラとテレビをつなぐ

- ケーブルのプラグを、図のようにテレビの外部入力端子へしっかりと差し込みます。
- ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラの端子にしっかりと差し込みます。



### 3 テレビの電源を入れて、外部入力に切り換える

- テレビの入力を、手順2の操作でつないだ外部入力に切り換えます。



#### 4 カメラの電源を入れる

-  ボタンを押して電源を入れます。
- ▶ 画像がテレビに表示されます（カメラの画面には何も表示されません）。
- 見終わったらカメラとテレビの電源を切ってから、ケーブルを抜きます。

---

 ● 出力方式（NTSC/PAL）があわないと、画像が正しく表示されません。**MENU** ボタンを押して、 タブの [ビデオ出力方式] で出力方式を変えてください（日本国内の出力方式は、「NTSC」です）。

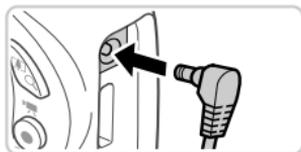
---

 ● カメラとテレビをつなぐと、カメラの画面表示をテレビに表示して撮影できます。撮影操作は、カメラの画面を使ったときと同じです。

## 家庭用電源でカメラを使う

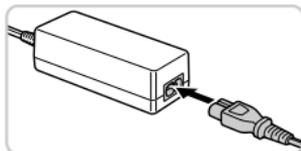
ACアダプターキット ACK-DC40（別売）を使うと、バッテリーの残量を気にせずにカメラを使うことができます。

### 1 カメラの電源を切る



### 2 プラグをカメラにつなぐ

- カバーを開き、アダプターのプラグをカメラの端子にしっかりと差し込みます。



### 3 電源コードを取り付ける

- 電源コードをアダプターに差し込み、プラグをコンセントに差し込みます。
- カメラの電源を入れると、カメラが使えます。
- 使い終わったら、カメラの電源を切ってからプラグをコンセントから抜いてください。

- ❗
- カメラの電源を入れたまま、プラグや電源コードを抜かないでください。撮影した画像が消えたり、カメラが故障することがあります。故障の原因となるためアダプターやコードを固定して使わないでください。

## アクセサリキットを使う

アクセサリキット AKT-DC2 (別売) を使うと、より便利にカメラを使うことができます。

### シリコンジャケットを使う

カメラを傷から守り、海水を含む水中でも使うことができます。



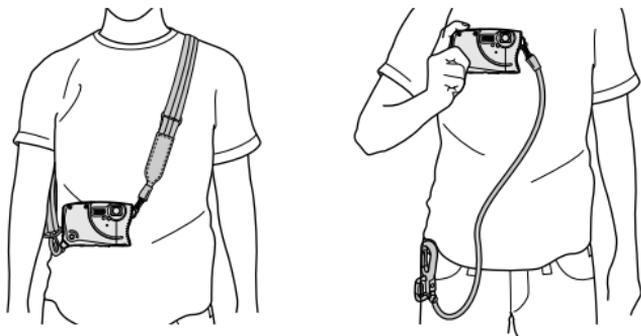
#### 取り付ける

- 図のように矢印の方向にカメラを入れて、取り付けます。
- カメラが傷つくことを防ぐため、カメラとジャケットの間に砂やホコリが入らないよう注意してください。

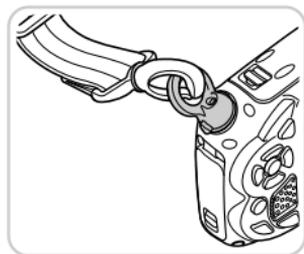
- ❗ ジャケットの取り付け、取り外しは丁寧に行ってください。無理に引っ張ると、ジャケットが破損する恐れがあります。
- カメラとジャケットの間に砂やホコリが入ったときは、カメラが傷つくことを防ぐため必ず取り除いてください。
- 「海水を含む水中」、「砂や泥などが付着するような場所」などで使ったときは、30℃以下の真水（水道水など）で十分に洗い、やわらかい布などで水分を十分に拭き取ってください。

## ■ ストラップを換える

カメラを使うシーンに応じて、ショルダーストラップやカラビナストラップに換えることができます。

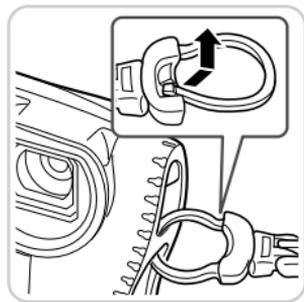


### ショルダーストラップに換える



#### 1 ストラップマウントを取り付ける

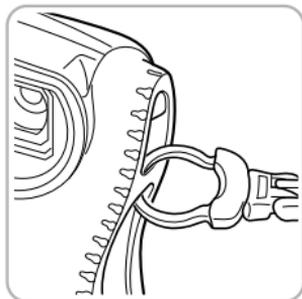
- p.15の方法でカメラに付属のストラップマウントを外し、ショルダーストラップのストラップマウントを取り付けます。



#### 2 小さい方の留め具を取り付ける

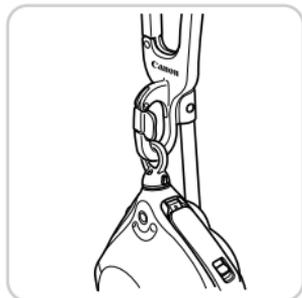
- 図のようにショルダーストラップの小さい方の留め具をカメラに取り付けます。

## カラビナストラップに換える



## カメラに取り付ける

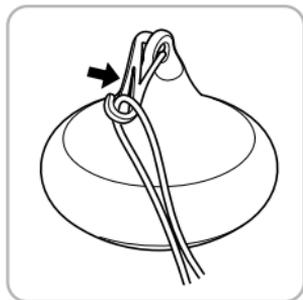
- p.178 の手順2 の方法でカラビナストラップの小さい方の留め具をカメラに取り付けます。
- ショルダーストラップに付いているストラップマウントだけをカメラに取り付けると、カメラを使わないときに、図のようにしてカメラを吊るすことができます。



- ❗ ● ショルダーストラップとカラビナストラップは、水中で使わないでください (p.11)。水中では、本体に付属のリストストラップ (p.2、15) をお使いください。

## ■ フロートを使う

水中でカメラが沈まないようにすることができます。



### リストストラップにフロートを取り付ける

- 本体に付属のリストストラップの先端に、のようにフロートを取り付けます。

- ❗ ● フロートをつぶしたり傷つけると、浮力が低下する原因となることがありますのでご注意ください。

-  ● 使用後は、30℃以下の真水（水道水など）で十分に洗い、やわらかい布などで水分を十分に拭き取ってください。

## 印刷する

撮影した画像は、カメラとプリンターをつないで印刷することができます。また、カメラで画像を指定しておき、一括印刷、写真店への印刷注文、フォトブックの注文や印刷をすることができます。

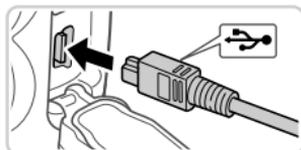
なお、ここでは、キヤノン製コンパクトフォトプリンター SELPHY CPシリーズを使って説明しています。プリンターによっては表示される画面やできることが異なります。プリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

静止画

### かんたん印刷

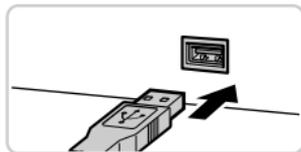
撮影した画像は、カメラとPictBridge（ピクトブリッジ）対応プリンター（別売）を付属のインターフェースケーブル（p.2）でつないで、かんたんに印刷できます。

#### 1 カメラとプリンターの電源を切る



#### 2 カメラとプリンターをつなぐ

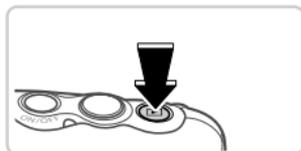
- ふたを開き、ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます。
- ケーブルの大きい方のプラグをプリンターに差し込みます。プリンターとのつなぎかたについては、プリンターの使用説明書を参照してください。



#### 3 プリンターの電源を入れる

#### 4 カメラの電源を入れる

-  ボタンを押して電源を入れます。



#### 5 画像を選ぶ

-   を押して画像を選びます。



## 6 印刷画面を表示する

- **FUNC SET** を押したあと、**[印刷]** を選び、もう一度 **FUNC SET** を押します。



## 7 印刷する

- **▲**か**▼**を押して **[印刷]** を選び、**FUNC SET** を押します。
- ▶ 印刷がはじまります。
- 別の画像を印刷するときには、印刷が終わったあと、手順5～6の操作を繰り返します。
- 印刷が終わったらカメラとプリンターの電源を切り、ケーブルを抜きます。



- キヤノン製 PictBridge 対応プリンター（別売）については、p.171 を参照してください。

## 印刷設定をする



## 1 印刷画面を表示する

- p.181～182の手順1～6の操作で左の画面を表示します。

## 2 設定する

- ▲か▼を押して項目を選び、◀か▶を押して内容を選びます。

📄	標準設定	プリンターの設定にしたいがいます。
	日付	日付を入れて印刷します。
	画像番号	画像番号を入れて印刷します。
	両方	日付と画像番号の両方を印刷します。
	切	—
📷	標準設定	プリンターの設定にしたいがいます。
	切	—
	入	撮影時の情報を使って最適な設定で印刷します。
	赤目1	赤く写った目を補正します。
📄	印刷枚数	印刷枚数を指定します。
トリミング	—	印刷する範囲を指定します (p.184)。
用紙設定	—	用紙サイズやレイアウトなどを指定します (p.185)。

## ■ 画像を切り抜いて印刷する（トリミング）

画像の一部を切り抜いて印刷することができます。



### 1 【トリミング】を選ぶ

- p.183の手順1の操作で印刷画面を表示したあと、【トリミング】を選び、**FUNC SET**を押します。
- ▶ 切り抜く範囲を示す枠が表示されます。



### 2 切り抜く範囲を指定する

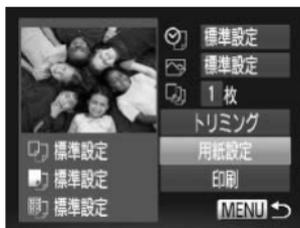
- ズームボタンを押して枠の大きさを変えます。
- ▲▼◀▶を押して枠の位置を変えます。
- **FUNC SET**を押すと枠が回転します。
- **MENU**ボタンを押したあと、▲か▼を押して【領域確定】を選び、**FUNC SET**を押します。

### 3 印刷する

- p.182の手順7の操作で印刷します。

- ❗
- 画像が小さすぎたり、縦横比によっては、トリミングできないことがあります。
  - カメラで【日付写し込み】の指定をして撮影した画像をトリミングすると、日付が正しく印刷されないことがあります。

## 用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する



### 1 [用紙設定] を選ぶ

- p.183の手順1の操作で印刷画面を表示したあと、[用紙設定] を選び、**FUNC SET**を押します。



### 2 用紙サイズを選ぶ

- ▲か▼を押して内容を選び、**FUNC SET**を押します。



### 3 用紙タイプを選ぶ

- ▲か▼を押して内容を選び、**FUNC SET**を押します。



### 4 レイアウトを選ぶ

- ▲か▼を押して内容を選びます。
- [複数画像] を選んだときは、◀か▶を押して印刷枚数を選びます。
- **FUNC SET**を押します。

### 5 印刷する

## レイアウトで設定できる項目

標準設定	プリンターの設定にしています。
フチあり	フチをつけて印刷します。
フチなし	フチなしで印刷します。
複数画像	1枚の用紙に印刷する画像の枚数を選びます。
IDフォト	証明写真用の画像を印刷します。 記録画素数がLで、縦横比が4:3の画像にのみ指定できます。
固定サイズ	印刷する大きさを指定します。 L判、はがき、ワイドサイズでのみ指定できます。

## 証明写真を印刷する

### 1 [IDフォト] を選ぶ

- p.185の手順1～4の操作で [IDフォト] を選び、**FUNC SET**を押します。



### 2 長辺と短辺の長さを選ぶ

- ▲か▼を押して項目を選んだあと、◀か▶を押して長さを選び、**FUNC SET**を押します。



### 3 印刷する範囲を選ぶ

- p.184の手順2の操作で印刷する範囲を選びます。

### 4 印刷する

## 動画を印刷する



### 1 印刷画面を表示する

- p.181～182の手順1～6の操作で動画を選び、左の画面を表示します。

### 2 印刷方法を選ぶ

- ▲か▼を押して [ ] を選び、◀か▶を押して印刷方法を選びます。

### 3 印刷する

## 動画の印刷方法

1コマ	表示されているシーンを静止画として印刷します。
連続コマ	動画から一定の間隔で抜き出したシーンを、1枚の用紙に並べて印刷します。[キャプション] を [入] にすると、フォルダ番号、画像番号、コマの経過時間を同時に印刷できます。



- 印刷中に [ ] を押すと、印刷を中止します。
- CP720/CP730以前のキヤノンPictBridge対応プリンターでは、[IDフォト] や [連続コマ] は指定できません。

## 印刷指定 (DPOF)

カード内の画像から印刷したい画像や印刷枚数などを指定して、一括印刷 (p.191) や写真店への印刷注文をすることができます (最大998画像)。なお、この指定方法は、DPOF (Digital Print Order Format) 規格に準拠しています。

### FUNC.メニューで印刷指定する

撮影直後や画像の再生中に、FUNC.メニューで印刷指定 (DPOF) ができます。

#### 1 画像を選ぶ

- ◀か▶を押して画像を選びます。

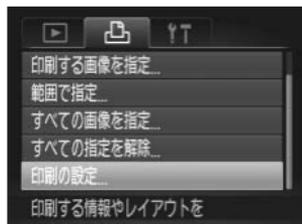
#### 2 印刷指定をする

- **FUNC SET** を押してメニュー項目の **[DPOF]** を選んだあと、もう一度 **FUNC SET** を押します。
- ▲か▼を押して印刷枚数を指定し、◀か▶を押して **[指定する]** を選び、**FUNC SET** を押します。



### 印刷内容を指定する

印刷タイプや日付、画像番号といった印刷内容を設定できます。この設定は、印刷指定したすべての画像に共通して適用されます。



- **MENU** ボタンを押して、**[DPOF]** タブの **[印刷の設定]** を選んだあと、項目を選び、設定します (p.46)。

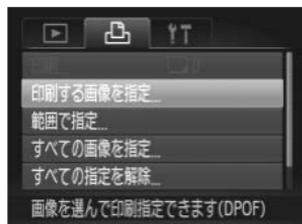
印刷タイプ	スタンダード	1枚の用紙に1枚の画像を印刷
	インデックス	1枚の用紙に縮小画像を複数印刷
	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷
日付	入	撮影日を入れて印刷
	切	—
画像番号	入	画像番号を入れて印刷
	切	—
印刷後指定解除	入	印刷後、画像の印刷指定をすべて解除
	切	—

- ❗
- プリンターまたは写真店によっては、設定した内容が反映されないことがあります。
  - 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、[❗] が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。
  - [日付] を [入] に設定すると、お使いのプリンターによっては、日付が重複して印刷されることがあります。



- [インデックス] に設定したときは、[日付] と [画像番号] の両方を [入] にはできません。
- 日付の並びは、MENU ボタンを押して [Y] タブの [日付/時刻] の設定内容で印刷されます (p.19)。
- 一部のキヤノン製PictBridge 対応プリンター (別売) では、インデックス印刷ができないことがあります。

## 1枚ずつ枚数を指定する



### 1 [印刷する画像を指定] を選ぶ

- MENU ボタンを押して、[ ] タブの [印刷する画像を指定] を選び、[FUNC SET] を押します。

### 2 画像を選ぶ

- ◀▶ を押して画像を選び、[FUNC SET] を押します。
- ▶ 枚数指定ができるようになります。
- [インデックス] では、指定されると [✓] が表示され、もう一度 [FUNC SET] を押すと解除されて [✓] が消えます。



### 3 枚数を設定する

- ▲か▼を押して枚数を指定します（最大99枚）。
- 手順2～3の操作を繰り返して、画像と枚数を指定します。
- [インデックス] では枚数の指定ができません。手順2の操作で画像のみを選んでください。
- MENUボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

## 範囲で指定する



### 1 [範囲で指定] を選ぶ

- p.189の手順1の操作で [範囲で指定] を選び、**FUNC SET**を押します。

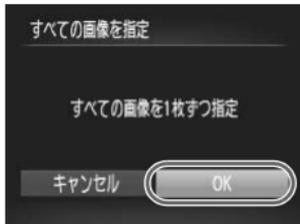
### 2 画像を指定する

- p.140の手順2～3の操作で指定します。

### 3 印刷指定する

- ▲か▼を押して [画像指定] を選び、**FUNC SET**を押します。

## すべての画像を指定する



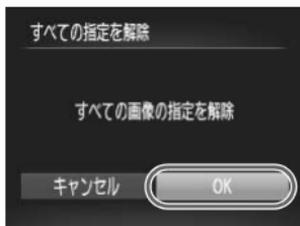
### 1 [すべての画像を指定] を選ぶ

- p.189の手順1の操作で [すべての画像を指定] を選び、**FUNC SET**を押します。

### 2 印刷指定する

- ◀か▶を押して [OK] を選び、**FUNC SET**を押します。

## すべての指定を解除する



### 1 [すべての指定を解除] を選ぶ

- p.189の手順1の操作で [すべての指定を解除] を選び、**FUNC/SET** を押します。

### 2 指定を解除する

- ◀か▶を押して [OK] を選び、**FUNC/SET** を押します。

## 印刷指定 (DPOF) した画像を印刷する



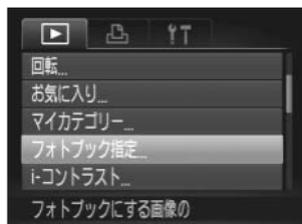
- 印刷指定した画像 (p.188～190) があるときは、カメラとPictBridge対応プリンターをつなぐと左の画面が表示されます。▲か▼を押して [すぐに印刷] を選び、**FUNC/SET** を押すと、印刷指定した画像をかたんに印刷できます。

- 印刷を中断して再開したときは、続きの画像から印刷されます。

## フォトブック指定

カード内の画像からフォトブックに使いたい画像を指定（最大998 画像）し、付属のソフトウェアを使ってパソコンに取り込むと、指定した画像が専用のフォルダにコピーされて、インターネットでのフォトブック注文や、お使いのプリンターでの印刷をするときに便利です。

### 指定方法を選ぶ

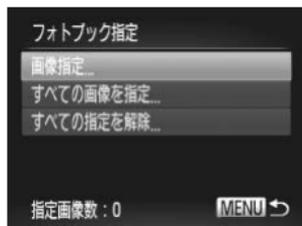


- **MENU** ボタンを押して、 タブの「フォトブック指定」を選んだあと、指定方法を選びます。

● 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、 が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。

● パソコンに取り込んだあとは「ImageBrowser EX ガイド」(p.28) やお使いのプリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

### 1枚ずつ指定する



#### 1 【画像指定】を選ぶ

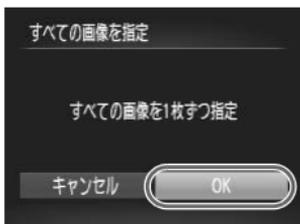
- 上記の操作で【画像指定】を選び、 を押します。



## 2 画像を選ぶ

- ◀か▶を押して画像を選び、**FUNC SET**を押します。
- ▶ [✓] が表示されます。
- もう一度**FUNC SET**を押すと解除され、[✓] が消えます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。
- **MENU**ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

## すべての画像を指定する



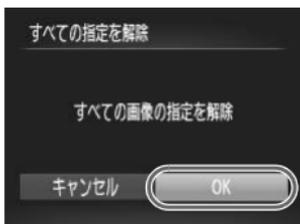
### 1 [すべての画像を指定] を選ぶ

- p.192 の操作で [すべての画像を指定] を選び、**FUNC SET**を押します。

### 2 印刷指定する

- ◀か▶を押して [OK] を選び、**FUNC SET**を押します。

## すべての指定を解除する



### 1 [すべての指定を解除] を選ぶ

- p.192 の操作で [すべての指定を解除] を選び、**FUNC SET**を押します。

### 2 指定を解除する

- ◀か▶を押して [OK] を選び、**FUNC SET**を押します。

## Eye-Fiカードを使う

Eye-Fiカードを使うときは、その国や地域で使用が認められているか、必ず事前にご確認ください (p.3)。

セットアップしたEye-Fiカードをカメラに入れると、撮影した画像をワイヤレスでパソコンに自動転送したり、オンライン上のサービスにアップロードしたりできます。

画像の転送はEye-Fiカードの機能です。カードのセットアップ方法、使用方法、転送時の不具合などについては、カードの使用説明書を参照するかカードメーカーにお問い合わせください。

- ❗ ● Eye-Fiカードの使用中は、次のことに注意してください。
- [Eye-Fi通信] を [しない] に設定 (p.195) しても、電波が発信されることがあります。病院や航空機内など電波の発信が禁止されている場所では、事前にEye-Fiカードを取り出しておいてください。
  - 画像が転送できないときは、カードやパソコンの設定を確認してください。詳しくはカードの使用説明書を参照してください。
  - 無線LANの接続状態によっては、画像の転送に時間がかかったり、転送が中断したりすることがあります。
  - Eye-Fiカードは、通信機能があるため、熱くなることがあります。
  - バッテリーの消耗が早くなります。
  - カメラの動作が遅くなります。[Eye-Fi通信] を [しない] に設定すると解決することがあります。

Eye-Fiカードをカメラに入れると、撮影画面 (情報表示時) や再生画面 (簡易情報表示時) で通信状態を確認できます。

 (灰色点灯)	未接続
 (白点滅)	接続中
 (白点灯)	転送待機
 (アニメーション)	転送中
 (赤X)	中断
 (赤Xと斜線)	通信停止
 (赤Xとエラー)	Eye-Fiカード情報取得エラー (電源を入れなおしてください。繰り返し表示されるときは、カードの異常が考えられます。)

転送された画像には、 が表示されます。



- 画像の転送中は、節電機能が働きません (p.42)。
- [ ] モードを選んでいるときは、Eye-Fi通信が中断されます。他の撮影モードに変えるか、再生モードにすると再開されますが、[ ] モードで作成された動画は重複して転送されることがあります。

## 通信情報を確認する

接続先SSIDや通信状態を確認できます。



- MENUボタンを押して、[ ] タブの [Eye-Fi 設定] を選び、[FUNC SET] を押します。
- [通信情報一覧] を選び、[FUNC SET] を押します。
- ▶ 通信情報一覧が表示されます。

## Eye-Fi通信をしない

Eye-Fi通信をしない設定にできます。



### [Eye-Fi通信] で [しない] を選ぶ

- MENUボタンを押して、[ ] タブの [Eye-Fi 設定] を選び、[FUNC SET] を押します。
- [Eye-Fi通信] を選び、[しない] を選びます。



- Eye-Fiカードを入れていないときや、ライトプロテクトスイッチがあるEye-Fiカードのスイッチを「LOCK」側にして入れているときは、[Eye-Fi設定] が表示されません。そのため、ライトプロテクトスイッチがあるEye-Fiカードのスイッチを「LOCK」側にして入れているときは、設定を変えることができませんので注意してください。



# 9

## 付録

- カメラを使うときに役立つ情報

## 故障かな？と思ったら

「カメラが故障したのかな？」と考える前に、次の例を参考に確認してください。ただし、問題が解決しないときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

### 電源

#### 電源ボタンを押してもカメラが動作しない

- 指定されたバッテリーで、残量があることを確認してください (p.205)。
- バッテリーが正しい向きで入っているか確認してください (p.17)。
- カード／バッテリー収納部ふたが閉じているか確認してください (p.18)。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。

#### バッテリーの消耗が早い

- 低温下ではバッテリー性能が低下します。端子カバーをつけて、ポケットなどでバッテリーを温めてからお使いください。
- 上記を確認しても、充電したのにすぐ使えなくなるときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

#### バッテリーがふくらむ

- バッテリー特性のため安全上は問題ありません。ただし、バッテリーがふくらむことでカメラに入らなくなったときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

### テレビ表示

#### テレビに表示できない／画面が乱れる (p.175)

### 撮影

#### 撮影できない

- 再生モードのとき (p.22) は、シャッターボタンを半押ししてください (p.43)。

#### 暗い場所での画面表示がおかしい (p.44)

#### 撮影中の画面表示がおかしい

次のときは、静止画には記録されませんが、動画には記録されます。注意してください。

- 蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、画面がちらついたり横帯が表示されたりすることがあります。

#### シャッターボタンを押したら、画面に【♂】が点滅表示されて撮影できない (p.63)

**シャッターボタンを半押ししたときに、[ ] が表示される (p.71)**

- [手ブレ補正] を [入] にしてください (p.124)。
- ストロボを [ ] にしてください (p.122)。
- ISO感度を高くしてください (p.108)。
- 三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (p.124)。

**画像がボケて撮影される**

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、撮影してください (p.43)。
- 撮影距離範囲内に被写体をおさめて撮影してください (p.38)。
- [AF補助光] を [入] にしてください (p.81)。
- 意図しない機能 (マクロ撮影など) が設定されていないか確認してください。
- フォーカスロック、AFロックで撮影してください (p.118、121)。

**シャッターボタンを半押ししても、AFフレームが表示されずピントが合わない**

- 被写体の明暗差がある部分を画面中央にしてシャッターボタンを半押しするか、半押しを何度か繰り返すとAFフレームが表示され、ピントが合うことがあります。

**被写体が暗すぎる**

- ストロボを [ ] にしてください (p.122)。
- 露出補正で明るさを補正してください (p.107)。
- i-コントラストで補正してください (p.109、153)。
- スポット測光またはAEロックで撮影してください (p.107、108)。

**被写体が明るすぎる (白トビする)**

- ストロボを [ ] にしてください (p.71)。
- 露出補正で明るさを補正してください (p.107)。
- スポット測光またはAEロックで撮影してください (p.107、108)。
- 被写体にあたっている照明を弱めてください。

**ストロボが光ったのに暗い画像になる (p.63)**

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください (p.122)。
- ISO感度を高くしてください (p.108)。

**ストロボ撮影した画像の被写体が明るすぎる (白トビする)**

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください (p.122)。
- ストロボを [ ] にしてください (p.71)。

**ストロボ撮影時、画像に白い点などが写る**

- 空気中のちりなどにストロボ光が反射しました。

**画像が粗い感じになる**

- ISO感度を低くして撮影してください (p.108)。

## 目が赤く写る (p.75)

- [赤目緩和ランプ] を [入] に設定してください (p.81)。ストロボ撮影のときは、ランプ (前面) (p.4) が点灯して、約1秒間は赤目現象を緩和するため撮影できません。また、写される人がランプを見ているときに効果があります。「室内を明るくする」、「写したい人に近づく」と効果が上がります。
- 赤目補正で補正してください (p.154)。

## カードへの画像の記録時間が長い、または連続撮影速度が遅くなった

- カードをこのカメラで物理フォーマットしてください (p.162)。

## 撮影機能やFUNC.メニューの設定ができない

- 設定できる項目は撮影モードによって変わります。「撮影機能一覧」、「FUNC.メニュー一覧」、「撮影タブメニュー一覧」(p.208~213) で確認してください。

## 動画撮影

### 正しい撮影時間が表示されない、または中断される

- カードをこのカメラで初期化するか、書き込み速度の速いカードを使ってください。撮影時間が正しく表示されないときも、カードには実際に撮影した時間の動画が記録されています (p.38、161)。

### 画面に【🔴】が表示され、撮影が自動的に終わった

カメラの内部メモリーが少なくなりました。次の方法を試してください。

- カードをこのカメラで物理フォーマットする (p.162)。
- 画質を変える (p.76)。
- 書き込み速度の速いカードを使う (p.38)。

### 被写体がゆがんで見える

- 撮影中に被写体がカメラの前を素早く横切ったときは、ゆがんで見えることがあります。これは故障ではありません。

## 再生

### 再生できない

- パソコンでファイル名やフォルダ構造を変えると再生できないことがあります。ファイル名やフォルダ構造については、「ImageBrowser EX ガイド」(p.28) を参照してください。

### 再生が中断する、または音声が途切れる

- このカメラで物理フォーマットしたカードを使ってください (p.162)。
- 動画を、読み込み速度の遅いカードにコピーして再生すると、再生が一瞬中断することがあります。
- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム (コマ) 落ちしたり、音声が途切れたりすることがあります。

## パソコン

### 画像をパソコンに取り込めない

カメラとパソコンをケーブルでつないで取り込むときは、次の操作で画像の取り込み速度を遅くすることで、問題が解決できることがあります。

-  ボタンを押して再生モードにしたあと、**MENU**ボタンを押したまま、▲とを同時に押します。表示された画面で◀か▶を押して [B] を選び、を押します。

## Eye-Fiカード

画像が転送できない (p.194)

## 画面に表示されるメッセージ一覧

画面にメッセージが表示されたときは、次のように対応してください。

### カードがありません

- カードが正しい向きで入っていません。カードを正しい向きで入れます (p.18)。

### カードがロックされています

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード、Eye-Fiカードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えます (p.17、18)。

### 記録できません

- カードが入っていない状態で撮影しました。撮影するときは、カードを正しい向きで入れます (p.18)。

### カードが異常です (p.162)

- 初期化したカードを正しい向きで入れても同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください (p.18)。

### カード残量が足りません

- カードの空き容量がないため、撮影 (p.59、83、105) や編集 (p.150～154) はできません。画像を消して (p.142) 空き容量を作るか、空き容量のあるカードに交換します (p.17)。

### バッテリーを交換してください (p.17)

### 画像がありません

- カードに表示できる画像が入っていません。

### 保護されています (p.138)

### 認識できない画像です／互換性のないJPEGです／画像が大きすぎます／再生できません (AVI)／RAW

- 非対応の画像やデータが壊れている画像は表示できません。
- パソコンで加工したり、ファイル名を変えたりした画像や、このカメラ以外で撮影した画像は、表示できないことがあります。

### 拡大できない画像です／連想再生できない画像です／回転できない画像です／処理できない画像です／登録できない画像です／処理できません／指定できない画像です

- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、以下の機能が使えないことがあります。また、動画では、\*の機能が使えません。拡大 (p.135) \*、連想再生 (p.137) \*、分類 (p.146)、回転 (p.144)、編集 (p.150～154) \*、起動画面への登録 (p.160) \*、印刷指定 (p.188) \*、フォトブック指定 (p.192) \*

---

### 指定範囲が正しくありません

- 画像を範囲指定 (p.140、143、149、190) するとき、始点に終点より遅い番号の画像、または終点に始点より早い番号の画像を指定しようとしてしました。

---

### 指定枚数の上限を超えています

- 印刷指定 (p.188) やフォトブック指定 (p.192) の画像を998枚より多く指定しました。指定する画像を998枚以下にします。
- 印刷指定 (p.188) やフォトブック指定 (p.192) を正しく保存できませんでした。指定枚数を減らして、もう一度指定します。
- 保護 (p.138)、消去 (p.142)、マイカテゴリー (p.147)、印刷指定 (p.188)、フォトブック指定 (p.192) で、501枚以上の画像を指定しようとしてしました。

---

### 通信エラー

- カードに大量の画像 (1000 枚程度) があるため、パソコンに画像を取り込んだり印刷したりできません。パソコンへ取り込むときは、カードリーダー (市販品) を使います。印刷するときは、プリンターのカードスロットにカードを差して印刷します。

---

### ファイル名が作成できません

- フォルダ番号が最大値 (999) で、画像番号も最大値 (9999) になっているときは、フォルダや画像が作成できません。[↑↑] メニューで [画像番号] を [オートリセット] に変えるか (p.163)、カードを初期化します (p.161)。

---

### レンズエラーを検知しました

- レンズの不具合を検知しました。電源ボタンを押して、電源を入れなおします (p.42)。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、別紙の修理受付センターへご相談ください。

---

### カメラがエラーを検知しました (エラー番号)

- 撮影直後に表示されたときは、撮影されていないことがあります。再生して画像を確認してください。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、エラー番号 (Exx) を控えて、別紙の修理受付センターへご相談ください。

---

### ファイルエラー

- パソコンで加工したり、このカメラ以外で撮影した画像は印刷できないことがあります。

---

### 印刷エラー

- 用紙サイズの設定を確認してください。正しく設定されていてもこのエラーが表示されるときは、プリンターの電源を入れなおして、もう一度設定してください。

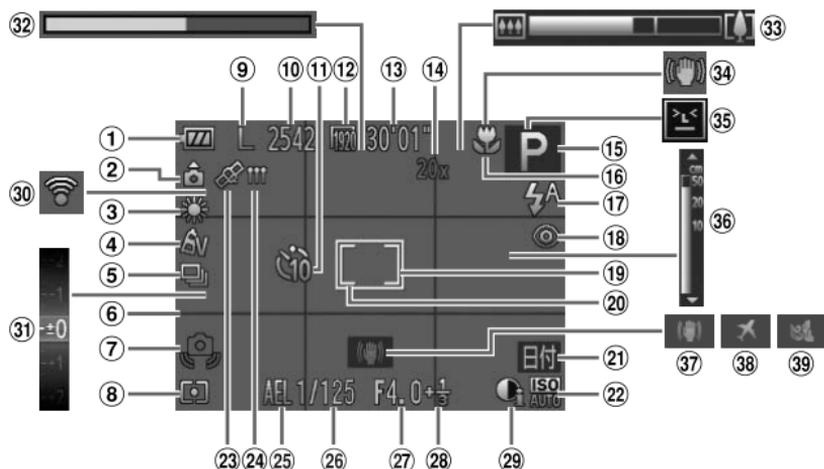
---

### インク吸収体が満杯です

- パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口でインク吸収体の交換を依頼してください。

# 画面の表示内容一覧

## 撮影時（情報表示あり）



- |   |                                  |                        |
|---|----------------------------------|------------------------|
| ① バッテリー残量表示 (p.205)                     | ⑮ 撮影モード (p.208)、シーンアイコン (p.65)   | ⑳ 絞り数値                 |
| ② カメラ位置*                                | ⑯ フォーカスゾーン (p.114)、AFロック (p.121) | ㉑ 露出補正量 (p.107)        |
| ③ ホワイトバランス (p.110)                      | ⑰ ストロボモード (p.71、122)             | ㉒ i-コントラスト (p.109)     |
| ④ マイカラー (p.111)                         | ⑱ 赤目自動補正 (p.75)                  | ㉓ Eye-Fi通信状態 (p.194)   |
| ⑤ ドライブモード (p.113)                       | ⑲ AFフレーム (p.117)                 | ㉔ 露出補正バー (p.107)       |
| ⑥ グリッドライン (p.78)                        | ⑳ スポット測光枠 (p.108)                | ㉕ ハイスピード動画撮影時間 (p.102) |
| ⑦ 手ブレ警告 (p.63)                          | ㉑ 日付写し込み (p.72)                  | ㉖ ズームバー (p.61)         |
| ⑧ 測光方式 (p.108)                          | ㉒ ISO感度 (p.108)                  | ㉗ 手ブレ補正アイコン (p.66)     |
| ⑨ 記録画素数 (p.74)                          | ㉓ GPS受信状態 (p.52)                 | ㉘ 目つむり検出 (p.80)        |
| ⑩ 撮影可能枚数 (p.37)                         | ㉔ ログ情報表示 (p.54)                  | ㉙ MFインジケータ (p.114)     |
| ⑪ セルフタイマー (p.69)                        | ㉕ AEロック (p.107)、FEロック (p.123)    | ㉚ 手ブレ補正 (p.124)        |
| ⑫ 動画の画質 (p.76)                          | ㉖ シャッタースピード                      | ㉛ エリア設定 (p.164)        |
| ⑬ 撮影可能時間 (p.38)                         |                                  | ㉜ ウィンドカット (p.77)       |
| ⑭ デジタルズーム倍率 (p.68)、デジタルテレコンバーター (p.116) |                                  |                        |

\* ㊦：通常、㊦ ㊦：カメラを縦位置に構えたとき

撮影時にカメラの向きを検知して最適な撮影ができるよう制御され、再生時には、カメラが縦向きでも横向きでも、画像が自動的に回転して正位置で見ることが出来ます。

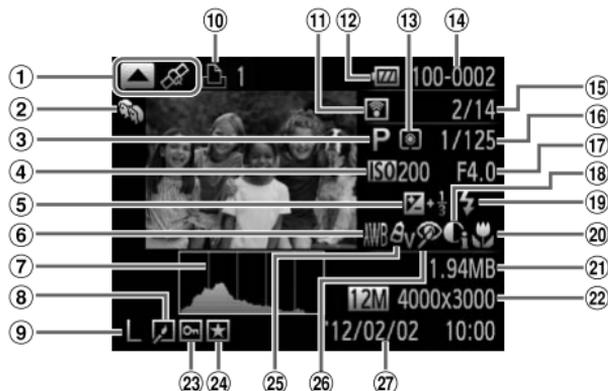
ただし、カメラを真上や真下に向けると正しく検出できないことがあります。

## ■ バッテリーの残量表示

バッテリーの状態は、画面にマークやメッセージで表示されます。

画面表示	内容
	十分です。
	少し減っていますが、まだ使えます。
 (赤く点滅)	残量が少なくなってきました。充電してください。
[バッテリーを交換してください]	残量がありません。すぐに充電してください。

## 再生時（詳細情報表示）



- |  |  |                                       |
|--|--|---------------------------------------|
| ① 動画 (p.60、126)、表示切り換え (GPS情報表示) (p.130) | ⑩ 印刷指定 (p.188)                         | ⑲ ストロボ発光 (p.122)                      |
| ② マイカテゴリー (p.147)                        | ⑪ Eye-Fi転送済み画像 (p.194)                 | ⑳ フォーカスゾーン (p.114)                    |
| ③ 撮影モード (p.208)                          | ⑫ バッテリー残量表示 (p.205)                    | ㉑ ファイルサイズ                             |
| ④ ISO感度 (p.108)、倍速 (p.90)                | ⑬ 測光方式 (p.108)                         | ㉒ 静止画：記録画素数 (p.37)                    |
| ⑤ 露出補正量 (p.107)                          | ⑭ フォルダ番号－画像番号 (p.163)                  | 動画：撮影時間 (p.38)                        |
| ⑥ ホワイトバランス (p.110)                       | ⑮ 再生画像番号／総画像数                          | ㉓ 保護 (p.138)                          |
| ⑦ ヒストグラム (p.130)                         | ⑯ シャッタースピード (静止画)、画質/フレーム数 (動画) (p.76) | ㉔ お気に入り (p.146)                       |
| ⑧ 画像編集 (p.150～154)                       | ⑰ 絞り数値                                 | ㉕ マイカラー (p.111、152)、ホワイトバランス補正 (p.87) |
| ⑨ 記録画素数 (p.74、76)、MOV (動画)               | ⑱ i-コントラスト (p.109、153)                 | ㉖ 赤目補正 (p.75、154)                     |
|  |  | ㉗ 撮影日時 (p.19)                         |



• テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことがあります (p.172)。

## ■ 「見る」(p.126) で表示される動画操作パネル一覧

	終了
	再生
	スロー再生 (◀か▶を押して再生速度を変更) (音声は再生されません)
	前スキップ* (FUNC SETを押したままにすると連続してスキップ)
	フレーム戻し (FUNC SETを押したままにすると早戻し)
	フレーム送り (FUNC SETを押したままにすると早送り)
	次スキップ* (FUNC SETを押したままにすると連続してスキップ)
	編集 (p.155)
	PictBridge対応プリンターとつないだとき (p.181) に表示

\* 約4秒前または後のフレームを表示



- 動画再生中に ◀か▶ を押すか、カメラを指で軽くたたく (p.128) と、前スキップ、次スキップができます。

## 撮影機能一覧

機能		撮影モード						
		AUTO	P					
ストロボ (p.71、122)	 A	○	○	○	○	○	○	○
		—	○	○	○	○	○	○
		*1	○	○	—	—	—	—
		○	○	○	○	○	○	○
AE/FEロック*3 (p.107、123)		—	○	○	—	—	—	—
AFロック (p.121)		—	○	○	—	—	—	—
フォーカスゾーン (p.114)	 A	○	○	○	○	○	○	○
		—	○	○	○	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—
	MF	—	○	○	○	—	—	—
キャッチAF (p.119)		—	○	—	○	—	—	—
画面の表示 (p.44)	情報表示なし	○	○	○	○	—	—	—
	情報表示あり	○	○	○	○	○	○	○

\*1 選択不可。ただし状況に応じて【】\*2 選択不可。ただし発光時は【】\*3 FEロックは【】では不可

📷																	
📷	🔦	🌐	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷
-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	*2	○	-	-	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○
-	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-
○	○	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○選択可能または自動設定 -選択不可

## FUNC.メニュー一覧

機能	撮影モード	📷					
		AUTO	P	📷	📷	📷	📷
GPS設定 (p.52)	切 / 入	○	○	○	○	○	○
測光方式 (p.108)	☉	○	○	○	○	○	○
	☐ ☐	-	○	○	-	-	-
マイカラー (p.111)	🔊	○	○	○	○	○	○
	Av AN Ae *1 Aw *1 Ap AL AD AB AG AR AC *2	-	○	○	-	○	○
ホワイトバランス (p.110)	AWB	○	○	○	○	○	○
	☀️ 🌧️ 🌑 🌒 🌓 🌔 🌕 📷 *3	-	○	○	-	○	○
水中用ホワイトバランス補正 (p.87)		-	-	-	-	-	-
ISO感度 (p.108)	ISO	○	○	○	○	○	○
	ISO 100 200 400 800 1600 3200	-	○	○	-	-	-
露出補正 (p.107)		-	○	○	○	○	○
セルフタイマー (p.69)	🕒	○	○	○	○	○	○
	🕒 🕒 🕒	○	○	○	○	-	-
セルフタイマー設定 (p.70)	時間 *4	○	○	○	○	-	-
	枚数 *5	○	○	-	○	-	-
ドライブモード (p.113)	☐	○	○	○	○	○	○
	📷	-	○	-	○	-	-
静止画アスペクト比 (p.73)	16:9 3:2 4:3 1:1	○	○	-	○	○	○
記録画素数 (p.74)	L	○	○	○	○	○	○
	M1 M2	○	○	○	○	○	○
	M	-	-	-	-	-	-
	S	○	○	○	○	○	○
動画の画質 (p.76)	F20	○	○	○	○	○	○
	F200	○	○	○	○	○	○
	640	○	○	○	○	○	○
	Q40 Q70	-	-	-	-	-	-

\*1 ホワイトバランスは選択不可

\*2 コントラスト、シャープネス、色の濃さ、赤・緑・青・肌色を5段設定

\*3 [☐] [📷] は取り込み不可

\*4 枚数設定不可のモードでは0秒設定不可

\*5 枚数設定不可のモードでは1枚固定

📷																	
📄	🔊	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	✍️	🔊	📷	📷	📷	📷	🔄	📷	📷
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	
-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	-	○	-	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
-	-	-	*6	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	
○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	
-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
○	○	○	*7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
○	○	○	*7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	

\*6 [43] [169] のみ選択可

\*7 縦横比の設定に連動して自動設定 (p.90)

○選択可能または自動設定 -選択不可

## 📷 撮影タブメニュー一覧

機能	撮影モード		📷					
	AUTO	P	📷	📷	📷	📷	📷	
AFフレーム (p.117)	顔優先AiAF*1	○	○	○	○	○	○	
	キャッチAF	-	○	-	○	-	-	
AFフレームサイズ*2 (p.118)	中央	-	○	○	○	-	-	
	標準	-	○	○	○	-	-	
デジタルズーム (p.68)	入	○	○	○	○	○	○	
	切	○	○	○	○	○	○	
	テレコン1.5x / テレコン2.0x	-	○	-	-	-	-	
ピント位置拡大 (p.79)	入	○	○	-	○	○	○	
	切	○	○	○	○	○	○	
サーボAF (p.120)	入	-	○	-	○	-	-	
	切*3	○	○	○	○	○	○	
AF補助光 (p.81)	入	○	○	○	○	○	○	
	切	○	○	○	○	-	○	
MF拡大表示 (p.114)	入	-	○	-	○	-	-	
	切	○	○	○	○	○	○	
セーフティ MF (p.115)	入	-	○	○	○	-	-	
	切	○	○	○	○	○	○	
ストロボ設定 (p.75、81)	赤目自動補正	入	○	○	○	○	○	
		切	○	○	○	○	○	
	赤目緩和ランプ	入	○	○	○	○	○	
		切	○	○	○	○	○	
i-コントラスト (p.109)	自動	○	○	○	-	-	-	
	切	-	○	○	○	○	○	
ウィンドカット (p.77)	入/切	○	○	○	○	○	○	
撮影の確認 (p.82)	切/2~10秒/ホールド	○	○	○	○	○	○	
レビュー情報 (p.82)	非表示	○	○	○	○	○	○	
	詳細表示/ピント確認	○	○	○	○	○	○	
目つわり検出 (p.80)	入	○	○	○	○	○	○	
	切	○	○	○	○	○	○	
グリッドライン (p.78)	入	○	○	○	○	○	○	
	切	○	○	○	○	○	○	
手ブレ補正設定 (p.124)	手ブレ補正	切	○	○	○	○	○	
		入	○	○	○	○	○	
		撮影時	-	○	-	○	○	
	パワードIS	入	○	○	○	○	○	
切		○	○	○	○	○		
日付写し込み (p.72)	切	○	○	○	○	○	○	
	日付のみ/日付+時刻	○	○	○	○	○	○	

\*1 顔が検出されないときの動作は撮影モードによって異なる \*2 AFフレームで [中央] 選択時に可

\*3 AUTOモードでは動きを検出したときは [入]



## ▶ 設定タブメニュー一覧

項目	参照ページ	項目	参照ページ
消音	p.158	エリア設定	p.164
音量	p.158	日付 / 時刻	p.21
音の選択	p.159	GPS自動時刻設定	p.57
機能ガイド	p.159	GPS設定	p.52
液晶の明るさ	p.160	距離 / 標高表示	p.165
起動画面	p.160	ビデオ出力方式	p.175
カードの初期化	p.161、162	HDMI機器制御	p.173
画像番号	p.163	Eye-Fi設定	p.194
フォルダ作成	p.163	言語 	p.22
節電	p.42、164	カメラ設定初期化	p.166

## ▶▶ 再生タブメニュー一覧

項目	参照ページ	項目	参照ページ
スライドショー	p.135	トリミング	p.151
消去	p.142	リサイズ	p.150
保護	p.138	レタッチマイカラー	p.152
回転	p.144	アクティブ再生	p.128
お気に入り	p.146	スクロール再生	p.127
マイカテゴリー	p.147	縦横自動回転	p.145
フォトブック指定	p.192	再生開始位置	p.127
i-コントラスト	p.153	再生効果	p.127
赤目補正	p.154		

## 印刷タブメニュー一覧

項目	参照ページ	項目	参照ページ
印刷	—	すべての画像を指定	p.190
印刷する画像を指定	p.189	すべての指定を解除	p.191
範囲で指定	p.190	印刷の設定	p.188

## 再生モードのFUNC.メニュー一覧

項目	参照ページ	項目	参照ページ
回転	p.144	ムービー ダイジェスト再生	p.134
印刷指定	p.188	連想再生	p.137
保護	p.138	画像の検索	p.132
お気に入り	p.146	スライドショー	p.135
消去	p.142	マイカテゴリー	p.147
動画再生	p.126		

## 日ごろの取り扱いについて

- カメラは精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- カメラを磁石やモーターなどの、強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像が消えたりすることがあります。
- カメラや画面に水滴や汚れがついたときは、眼鏡拭きなどのやわらかい布で拭き取ってください。ただし、強くこすったり、押ししたりしないでください。
- 有機溶剤を含むクリーナーなどでは、絶対にカメラや画面を拭かないでください。
- レンズにゴミがついているときは、市販のプロアーで吹き飛ばすだけにしてください。汚れがひどいときは、別紙の修理受付センターにご相談ください。
- カメラを寒いところから急に暑いところへ移すと、カメラに結露（水滴）が発生することがあります。カメラを寒いところから暑いところへ移すときは結露の発生を防ぐため、カメラをビニール袋に入れて袋の口を閉じ、周囲の温度になじませてから取り出してください。
- 結露が発生したときは、故障の原因となりますのでカメラを使わないでください。バッテリー、カードをカメラから取り出し、水滴が消えてから、カメラを使ってください。

## 【英数字】

AC アダプターキット	169, 176
AE ロック	107
AF フレーム	24, 61, 117
AF ロック	121
AF →ピント合わせ	
AUTO モード (撮影モード)	23, 60
AV ケーブル	172
DIGITAL CAMERA Solution Disk	2
DPOF	188
Eye-Fi カード	3, 194
FE ロック	123
FUNC. メニュー	
一覧	210, 215
基本操作	45
GPS	50, 130
iFrame 動画 (動画モード)	103
ISO 感度	108
i-コントラスト	109, 153
PictBridge (ピクトブリッジ)	171, 181
P (撮影モード)	106
SD/SDHC/SDXC カード →カード	

## 【あ】

赤目補正	75, 154
アクセサリ	169
アクティブ再生	128
色あい (ホワイトバランス)	110
印刷	181
インターフェース	
ケーブル	2, 181
ウインセルフタイマー (撮影モード)	98
打上げ花火 (撮影モード)	85
エラー表示	202
オートシャッター (撮影モード)	97
オールドポスター (撮影モード)	88
お気に入り設定	146
音	158

## 【か】

カード	3
海外で使う	164, 168
回転	144
顔セルフタイマー (撮影モード)	99
顔優先 AiAF (AF フレームモード)	117
拡大表示	135
画像	
消す	142
再生 →見る	
表示時間	82
保護	138
画像番号	163
家庭用電源	176
カメラ	
設定初期化	166
画面	
表示一覧	204, 206
メニュー →FUNC. メニュー、 メニュー	
キャッチ AF	119
魚眼風 (撮影モード)	89
記録画素数 (画像の大きさ)	74
クリエイティブフィルター (撮影モード)	88
グリッドライン	78
消す	142
極彩色 (撮影モード)	88
故障	198

## 【さ】

サーボ AF	120
再生 →見る	
撮影	
撮影情報	204
撮影日時 →日付/時刻	
ジオラマ風 (撮影モード)	89
消去 →消す	
初期状態 →設定初期化	
白黒画像	111

水中（撮影モード）	84
水中マクロ（撮影モード）	84
スイッチカラー（撮影モード）	94
ズーム	24, 61, 68
スティッチアシスト （撮影モード）	101
ストラップ	2
ストロボ	
常時発光	122
スローシンクロ	122
発光禁止	71
スノー（撮影モード）	85
スマイル（撮影モード）	97
スライドショー	135
世界時計	164
設定初期化	166
節電	42
セピア調画像	111
セルフタイマー	69
2秒セルフタイマー	70
ウイנקセルフタイマー （撮影モード）	98
顔セルフタイマー （撮影モード）	99
タイマー時間と撮影枚数を 変える	70
全消去	142
測光方式	108
ソフトウェア	
DIGITAL CAMERA Solution Disk	2
インストール	30

## 【た】

縦横比を変える	73
端子	172, 174, 181
中央（AF フレームモード）	118
長秒時撮影（撮影モード）	100
デジタルズーム	68
デジタルテレコンバーター	116
手ブレ	124

手持ち夜景（撮影モード）	85
テレビで見る	172
電源 → バッテリー、AC アダプター キット	
電池	
→ 日付／時刻（日付／時刻用電池） 節電	42
トイカメラ風（撮影モード）	91
動画	
画質（記録画素数/ フレーム数）	76
編集	155
時計機能	47
ドライブモード	113
トリミング（画像の切り抜き）	151

## 【な】

日時 → 日付／時刻

## 【は】

ハイスピード動画（動画モード）	102
バッテリー	
残量表示	205
充電	16
節電	42
バッテリーチャージャー （充電器）	2, 169
花火 → 打上げ花火	
パスワードIS	124
ピクトブリッジ（PictBridge）	181
日付／時刻	
画像への記録	72
世界時計	164
設定	19
変更	21
表示言語	22
ピント合わせ	
AF フレーム	117
AF ロック	121
サーボ AF	120
ピント位置拡大	79

フォーカスゾーン		基本操作.....	46
クイック .....	86	メモリーカード →カード .....	3
マクロ .....	114	モノクロ (撮影モード) .....	92
マニュアルフォーカス .....	114		
フォーカスチェッカー .....	131	<b>[5]</b>	
フォーカスロック .....	118	ランプ .....	47, 81
フォトブック指定 .....	192	リサイズ (画像を小さくする) .....	150
付属品 .....	2	リストストラップ →ストラップ	
プリント →印刷		レタッチマイカラー .....	152
プログラム AE .....	106	連想再生 .....	137
編集		連続撮影 (連写) .....	113
i-コントラスト .....	153	ローライト (撮影モード) .....	85
赤目補正 .....	154	露出	
トリミング		AE ロック .....	107
(画像の切り抜き) .....	151	FE ロック .....	123
リサイズ		補正 .....	107
(画像を小さくする) .....	150		
レタッチマイカラー .....	152	<b>[わ]</b>	
ポートレート (撮影モード) .....	85	ワイド (記録画素数) .....	74
保護 .....	138	ワンポイントカラー	
ホワイトバランス (色あい) .....	110	(撮影モード) .....	93
<b>[ま]</b>			
マイカテゴリー .....	147		
マイカラー .....	111		
マクロ (フォーカスモード) .....	114		
マニュアルフォーカス			
(フォーカスモード) .....	114		
マニュアルホワイトバランス .....	110		
見る			
1 枚表示 .....	25		
インデックス表示 .....	132		
拡大表示 .....	135		
絞り込み再生 .....	132		
スライドショー .....	135		
テレビで見る .....	172		
連想再生 .....	137		
ムービーダイジェスト			
(撮影モード) .....	96		
目つむり検出 .....	80		
メニュー			
一覧 .....	208		

# MEMO

MEMO

# MEMO

MEMO

# MEMO

MEMO

# MEMO

## ■ アフターサービス期間について

本製品のアフターサービス期間は、製品の製造打ち切り後5年間です。  
なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の仕様の製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。

## ■ 妨害電波自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド（本書）にしたがって正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

## ■ 商標、ライセンスについて

- DCFは、(社)電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
  - SDXCロゴはSD-3C, LLC.の商標です。
  - 本機器は、MicrosoftからライセンスされたexFAT技術を搭載しています。
  - HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing,LLCの商標または登録商標です。
  - iFrameロゴおよびiFrameシンボルはApple Inc.の商標です。
  - This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.
- \* 規定により英語で表記しています。

## ■ このガイドについて

- 内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- このカメラを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

# Canon

キヤノン株式会社

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

## 製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター

050-555-90005

受付時間：平日 9：00～20：00

土・日・祝日 10：00～17：00

(1月1日～1月3日は休ませていただきます)

※上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9630をご利用ください。

※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

## 修理受付窓口

別紙でご確認ください。

## キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノンデジタルカメラ製品情報

<http://canon.jp/cdc>

キヤノンサポートページ

<http://canon.jp/support>

CANON IMAGE GATEWAY

<http://www.imagegateway.net>

リチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」にご注意下さい  
国内・国外を問わず、ネットオークションでリチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」が頻繁に出回っておりますので十分にご注意ください。詳細は以下のURLよりご覧ください。

<http://cweb.canon.jp/e-support/info/battery-anno.html>



リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

Li-ion